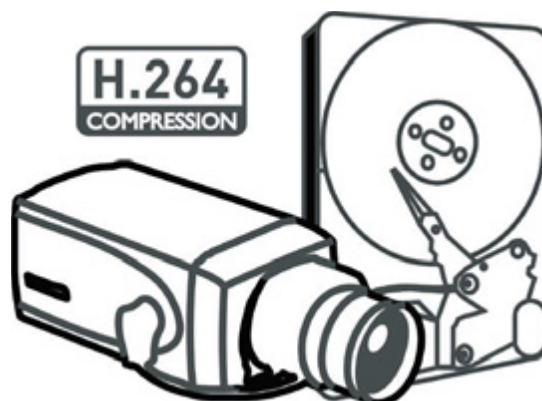


HDx Series H.264 DVR

取扱説明書

- **H.264 Stand-Alone DVR**
- **Superior Video Quality**
- **S-ATA Hard Disc Drive**
- **USB Mouse & Backup**
- **Advanced Network Features**



Version:1.9.4

.....

この製品をお買上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品を快適にご使用いただく為に、この取扱説明書を注意してお読み下さい。
また、後日もお使いいただけます様に、本書を大切に保管して下さい。

著作権／認証／商標／限定保証

著作権

このマニュアルは著作権法により、事前の許可なしでいずれのコンテンツも転載や複写機によるコピーは認められておりません。
Copyright 2009

認証

CE、FCC、KCC

商標

Ethernet(TM)は富士ゼロックス社の登録商標です。
マイクロソフト(TM)、Microsoft(TM)、Windows(TM)、Excel(TM)、Internet Explorer(TM)は米国および他の国におけるマイクロソフト社の登録商標です。
QuickTime(TM)は米国および他の国におけるアップルコンピューター社の登録商標です。





限定保証

製造業者、輸入業者、および販売店は偶発的な損害(負傷も含む)また、不適切な使用や操作をした場合、一切の責任は負いません。

この取扱説明書は、製品に関する現時点での仕様にに基づき記載されています。
現在、メーカーでは新機能を兼ね備え、新技術で製品をアップグレードさせています。
全ての仕様がユーザーへの予告なしで変更する場合がございます。

注意

製品を適切に操作していただく為に、製品を操作する前にすべての安全上の注意事項をよくお読み下さい。
表示されている警告は安全情報を含んでいますので、完全に理解し従って下さい。
警告は、Danger、Warning、Caution、および Important に分類されています。

| | |
|--|---|
|  Danger | 死亡や大怪我の危険性あり。 最大の危険警告。 |
|  Warning | 損傷の危険性あり。 製品やその周りの物的損害をもたらす危険性あり。 |
|  Caution | 軽傷または損害の危険性あり。 |
|  Important | 操作に関する要件または制限。 お客様が怪我なく適切に製品を操作出来ますように関連詳細を注意してお読み下さい。 |

上記の警告はシステム誤用のために起こるかもしれない損害の程度を示します。



死亡や大怪我の危険性あり。
最大の危険警告。

- 電池を交換する際に誤った種類のもので交換しますと、爆発する可能性があります。
使用済の電池は正しい方法に従って処分して下さい。
- この製品および全ての配線・コネクタ等は室内の使用のみを意図して作られています。
- 取扱説明書または製品仕様書で示されている電源電圧のみをご使用下さい。
また、付属の電源ケーブル以外は使用しないで下さい。感電や発火する恐れがあります。
- 感電の恐れがありますので、火や水の近く、また湿気の多いところでは使用しないで下さい。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないで下さい。電源ケーブルへの損害は発火や感電の原因となります。
- 製品の上に容器に入った液体やどんな小さな金属物も置かないで下さい。それらが製品の中に入ると発火や感電、故障を起こす原因となります。
- 電源ケーブルを切り付ける、曲げる、ねじる、引っ張る、または加熱するなどの行為はしないで下さい。
電源コードへの損害は発火と感電につながります。
- 製品の天板は取り除かないで下さい。感電する恐れがあります。
内部検査やメンテナンスが必要である場合、ご購入いただいた販売代理店にご連絡下さい。
- いかなる場合でも分解や改造など、製品に手を加えることはしないで下さい。発火や感電の原因となります。
- 雷の時にはすみやかに、システムをシャットダウンして、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
発火や感電の原因となります。
- 付属のDCアダプター以外にはご使用にならないで下さい。他のアダプターをご使用になりますと発火や感電の原因となります。
- 異臭・発煙・異常音を感じた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、コンセントから電源コードを抜いて下さい。電源を切らずに、そのまま使い続けると発火や感電する恐れがあります。
ご購入いただいた販売代理店までメンテナンスサービスをご依頼して下さい。
- 製品を落下させたり、破損させた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、コンセントから電源コードを抜いて下さい。電源を切らずに、そのまま使い続けると発火や感電する恐れがあります。
ご購入いただいた販売代理店までメンテナンスサービスをご依頼して下さい。
- ぬれた手で製品に触れないで下さい。感電する恐れがあります。



損傷の危険性あり。
製品やその周りの物的損害をもたらす危険性あり。

- 電源コードやその他のケーブルの整理は、十分に気を付けて下さい。
コードにつまづき、怪我をする恐れがあります。
- 水、飲料、または液体との接触を避けて下さい。修理不可能な損害をもたらす原因となります。
- 雷の時には即座にシャットダウンして、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
製品の破損の原因となります。
本製品には電源スイッチがありません。
- 製品またはカメラからの過度電流により感電の恐れがあります。
電源が入った状態で外部装置を設置しないで下さい。



軽傷または損害の危険性あり。

- ・異物が製品に付いてしまった場合、やわらかな布地を使用して取除いて下さい。
異物を取除く際、化学薬品は使用しないで下さい。
- ・以下の場所に製品を設置したり、操作を行わないで下さい。
 - 極端に高温/低温、温度差が激しい場所
 - 湿度の多い場所・エアコン付近・温度変化の激しい場所
 - ほこりの多い場所
 - 製品の上面や側面にある換気孔から放熱することができない場所
- ・クレジットカード／テレホンカード／銀行口座通帳／チケットなどの磁気特性のある物を、機器のそばに置かないで下さい。
- ・静電気は製品内部に損傷をもたらす恐れがあります。リヤパネルと製品内部の電子部品に触れる前に、身体から静電気を取り除いて下さい。
- ・この製品を処分する際は、各地域の廃棄物処分の規則に従って正しく行って下さい。



操作に関する要件または制限。
お客様が怪我なく適切に製品を操作出来ますように関連詳細を
注意してお読み下さい。

- ・電源が不安定な状態や感電が起こる状態では、製品は正常に作動しません。
適切な定格出力であることをご確認ください。
- ・製品は、停電の際に設定を保持するように設計されていますが、停電による電源電圧変化などにより
設定データの破損などの損害を受ける可能性があります。データ保護や録画を正常に継続するには
無停電電源装置(UPS)をご利用下さい。
- ・本製品には無停電電源装置(UPS)に連動して自動的にシステムをシャットダウンする機能がありますが、
復電までの十分なランタイムを持続できる無停電電源装置(UPS)をご利用下さい。
ハードディスクの破損などの損害を受ける可能性があります。
- ・製品は、ビデオデータをハードディスクに録画できるように設計されていますが、ハードディスクや
その他のエラーにより、適切に録画されない可能性があります。製品の定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ・製品は使用者が設定を変更できるように設計されていますが、設定の誤りは誤動作に繋がります。
- ・製品は公認された設置業者によってのみセットアップして下さい。
- ・製品が接続されてから、外部アクセサリ（カメラ、センサー、LAN、ハードディスクなど）の結合は
外部不良のリスクを招きます。公認された設置業者によって定期メンテナンスを行って下さい。
- ・製品のラックへの設置には、専用のラック取付金具をご使用下さい。
- ・この製品は、1KByteと1,000Byte、1 MByte と1,000,000 Byte、1 GByteと1,000,000,000 Byteが同等です。

警 告

- 日光が直接当たる場所や発熱電機から近い場所への製品の設置は避けて下さい。(出火の原因となります)
- 商品の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、クスリ、また液体を入れた入れ物などを置かないで下さい。
(落下により、出火、感電、また人・物に障害を与える恐れがあります)
- どんな金属物(コイン、ヘアピン)や可燃物(マッチ、紙)も通気孔に挿入したり、落としたりしないで下さい。
(出火や感電を引き起こす原因となります)
- 商品の上に重い物などを置かないで下さい。(落下や破壊によって、人・物に損傷を負わせる原因となります)
- 電源プラグを動かないようにしっかりと差し込んで下さい。(出火の原因となります)
- 稲妻や雷が鳴っている場合、システムをシャットダウンして下さい。(感電や雷の影響を受ける場合があります)
- 製品をクリーニングする時は、乾いたタオルで表面を拭いて下さい。
化学薬品やクリーナーを使用すると、色に変色したり塗料が剥げる恐れがあります。
- 一度にいくつかのプラグを使用しないで下さい。(感電の恐れがあります) 煙や異臭を感じた場合、
操作をお止め下さい。この場合、直ぐに電源を切り、プラグを抜いて下さい。
その後、ご購入いただいた販売代理店にご連絡下さい。
(そのまま引き続きご使用になりますと、出火や感電の原因となります)
- コードを引っ張ってプラグを抜かないで下さい。
(コードが破損する恐れがあり、出火や感電の原因となります)
- 濡れた手でプラグを抜いたり差し込んだりしないで下さい。(感電の原因となります)
- 電源コードをねじったりしないで下さい。(出火や感電を引き起こす原因となります)
- 適切なアダプターをご使用下さい。
(あまりに多くの電力を使用しますと、出火や感電を引き起こす原因となります)
- 雨風が当たる場所に設置しないで下さい。(出火、感電、またその他の故障の原因となります)
- 火、また出火しやすい場所から離してください。(出火の原因となります)
- 分解や改造などはしないで下さい。(感電や故障の原因となります)
- 可燃性スプレーのような可燃性のものを側に置かないで下さい。(出火の原因となります)
- ほこりの多い場所に設置しないで下さい。(出火の原因となります)
- 揺らぐテーブル上や傾斜場所のような不安定な場所に設置をしないで下さい。
(落下により人・物に障害を与える危険性があります)
- 重い物を電源コードの上に置いたり、またデバイスの圧迫にもご注意ください。
(出火や感電の原因となります)
- エクステンションコードをご使用になる時は、同時に数台のデバイスのご使用は避けて下さい。
(異常な加熱により発火する恐れがあります)
- 電源プラグピンまたはコンセントの上に土ぼこりがあるときには、丁寧に掃除して下さい。
(出火の原因となります)
- 電源コードやプラグを、曲げたり、ねじったり、または引っ掛けたりしないで下さい。
また、熱い場所に置かないで下さい。コンセントが挿入部分にピッタリと入らない場合は、
使用しないで下さい。(出火や感電の原因となります)
- 製品を落下させたり衝撃を与えたりしないで下さい。
(人に障害を与えたり製品の故障の原因となります)
- 電源アダプターまたは信号コントローラーに触れないで下さい。(感電する恐れがあります)
- 冷却用ファンの開口部を塞がないで下さい。(発火の原因となります)
- 不適当な電池交換をしますと、爆発する危険性があります。
- ご使用済の電池は、正しい方法により処分して下さい。
- 幼児が間違って電池を口にしない様に、気を付けて下さい。
(もし幼児が電池を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師にご連絡して下さい)

目 次

| | |
|---|----|
| 著作権／認証／商標／限定保証 | 2 |
| 警 告 | 5 |
| 目 次 | 6 |
| 1章. はじめに | 9 |
| 1-1. システム | 9 |
| 1-2. 一般的な特徴 | 9 |
| 1-3. 仕様 | 10 |
| 2章. システム設定 | 13 |
| 2-1. 梱包内容 | 13 |
| 2-2. HDDの取り付け手順 | 14 |
| 2-3. 接続デバイス | 15 |
| 2-4. 外部機器接続概要図 HDE2412／HDS4824 | 17 |
| 2-4-1. カメラコントロールとセンサー入力／アラーム出力配線図 | 17 |
| 2-5. 外部機器接続概要図 HDF1212DV | 18 |
| 2-5-1. カメラコントロールとセンサー入力／アラーム出力配線図 | 18 |
| 詳解機能編 | 21 |
| 3章. DVRの仕様 | 22 |
| 3-1. 基本操作 | 22 |
| 3-1-1. フロントパネルと IRリモートコントローラー操作 | 22 |
| 3-1-2. リモコン操作方法 | 26 |
| 3-2. システムの動作 | 27 |
| 3-3. ステータスバー | 27 |
| 3-4. アイコン表示 | 27 |
| 3-5. ユーザー／管理者のログイン | 28 |
| 3-6. メインメニュー | 28 |
| 3-7. ライブコンテクシャルメニュー | 30 |
| 4章. DVR構成 | 31 |
| 4-1. システム | 31 |
| 4-1-1. MENU＞システム＞情報 | 31 |
| 4-1-2. MENU＞システム＞日付・時間 | 32 |
| 4-1-3. MENU＞システム＞ユーザー | 33 |
| 4-1-4. MENU＞システム＞簡易設定 | 34 |
| 4-1-5. MENU＞システム＞システムログ | 34 |
| 4-2. デバイス | 38 |
| 4-2-1. MENU＞デバイス＞カメラ | 38 |
| 4-2-2. MENU＞デバイス＞音声 | 41 |
| 4-2-3. MENU＞デバイス＞アラーム | 41 |
| 4-2-4. MENU＞デバイス＞コントローラー | 41 |
| 4-2-5. MENU＞デバイス＞RS232 & RS485 | 42 |
| 4-3. ディスプレイ | 42 |
| 4-3-1. MENU＞ディスプレイ＞表示 | 42 |
| 4-3-2. MENU＞ディスプレイ＞メイン・スポット | 43 |
| 4-4. 録画 | 45 |
| 4-4-1. MENU＞録画＞記録装置 | 45 |
| 4-4-2. MENU＞録画＞録画 | 47 |
| 4-4-3. MENU＞録画＞データ保管機能 | 48 |
| 4-4-4. MENU＞録画＞その他 | 50 |

| | |
|---|----|
| 4-5. ネットワーク | 50 |
| 4-5-1. MENU>ネットワーク>アドレス | 50 |
| 4-5-2. MENU>ネットワーク>ダイナミックDNS | 52 |
| 4-5-3. MENU>ネットワーク>遠隔通知 | 53 |
| 4-5-4. MENU>ネットワーク>映像配信 | 54 |
| 4-6. イベント | 55 |
| 4-6-1. MENU>イベント>センサー | 55 |
| 4-6-2. MENU>イベント>モーション | 58 |
| 4-6-3. MENU>イベント>ビデオロス | 60 |
| 4-6-4. MENU>イベント>テキスト | 61 |
| 4-6-5. MENU>イベント>システム | 63 |
| 4-7. ログアウト | 65 |
| 4-8. シャットダウン | 65 |
| 5章. 録画再生 | 66 |
| 5-1. 時間設定 | 66 |
| 5-2. カレンダー検索 | 67 |
| 5-3. イベント検索 | 68 |
| 5-4. テキストイン検索 | 69 |
| 5-5. バックアップデータ再生 | 70 |
| 5-6. プレイバックコントロール | 70 |
| 6章. クリップ作成・バックアップ | 71 |
| 6-1. バックアップ | 71 |
| 6-2. 簡易バックアップ | 73 |
| 6-3. クリップ作成 | 73 |
| 7章. ネットワーク監視 | 74 |
| 7-1. Webビューアー | 74 |
| 7-1-1. Login | 74 |
| 7-1-2. Live | 75 |
| 7-1-3. Playback | 75 |
| 7-1-3-1. カレンダー検索 | 76 |
| 7-1-3-2. イベント検索 | 76 |
| 7-2. HDxビューワー | 77 |
| 7-2-1. クイックスタート | 80 |
| 7-2-1-1. ライブ | 81 |
| 7-2-1-2. 検索 | 82 |
| 7-2-2. セットアップ | 83 |
| 7-2-3. サーバーリスト表示 | 83 |
| 7-2-4. プログラムの終了／ボリューム／PTZコントロール／サーバー接続／切断 | 84 |
| 7-2-5. 分割画面、全画面表示、および切り換え | 84 |
| 7-2-6. イベントログ画面 | 85 |
| 7-2-7. シングルチャンネルプレーヤー、ネットワーク録画、プリセット | 85 |
| 7-2-8. 権限確認 | 86 |
| 7-2-9. スクリーンキャプチャー | 87 |
| 7-2-10. サーバーリスト | 88 |
| 7-2-10-1. サーバー接続 | 88 |
| 7-2-10-2. サーバー切断 | 89 |
| 7-2-10-3. 全サーバー接続 | 89 |
| 7-2-10-4. ビデオ監視 | 89 |
| 7-2-10-5. ビデオ監視しない | 89 |

| | |
|--|------------|
| 7-2-11. サーバリストの使用 | 89 |
| 7-2-12. シングルチャンネルプレイヤー | 90 |
| 7-2-13. プリセット | 90 |
| 7-2-14. セットアップ | 90 |
| 7-2-14-1. ローカルセットアップ | 91 |
| 7-2-14-2. リモートセットアップ | 91 |
| 7-2-15. 検索 | 91 |
| 7-2-16. バックアップビューワー | 92 |
| 7-3. コールバックサーバー | 96 |
| 7-3-1. 遠隔通知設定 | 96 |
| 7-3-2. 設定 (Set up) | 99 |
| 7-3-3. 機能 | 100 |
| APPENDIX | 105 |
| A-1. DDNS (Dynamic Domain Name Server) | 105 |
| A-1-1. autoipset.comにお申し込み後、ダイナミックDNSサービスを利用 | 105 |
| 1. autoipset.comにお申し込み下さい | 105 |
| 2. ログイン | 106 |
| 3. ダイナミックDNS 登録・更新 | 107 |
| 4. ダイナミックDNS マネジメント | 107 |
| 5. 登録の削除ダイナミックDNS | 107 |
| A-1-2. autoipset.comにお申し込みせずに、ダイナミックDNSサービスを利用 | 108 |
| B. スマートフォン (iPhone / Android) での閲覧について | 109 |
| 録画時間計算値 | 118 |
| HDS4848DV | 118 |
| HDE2424DV | 119 |
| HDF1212DV | 120 |
| FCCの承諾通知 | 121 |
| 保証書 | 122 |
| メモ | 123 |

1. はじめに

1-1. システム

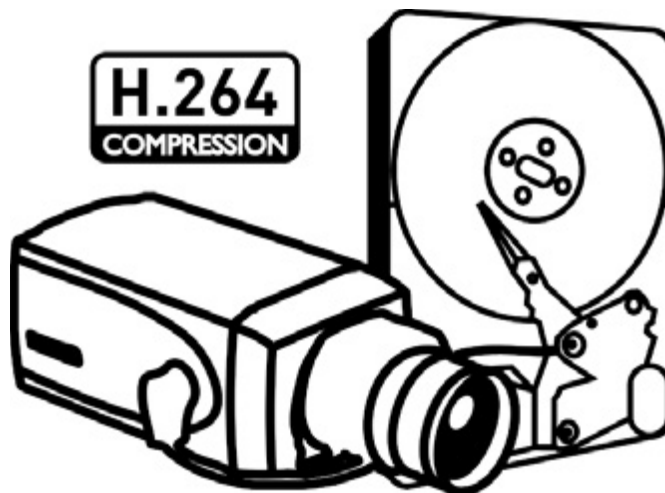
この製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

最新の圧縮方式であるH.264を基にした高性能のリアルタイムDVRをご利用下さい。

この製品は明確に録画データを区別でき、MPEG4と比較して、大きな違いがあります。

1-2. 一般的な特徴

- H.264の標準画像圧縮
- Embedded Linux システムによる最高の信頼性
- 安定性のある専用DB構造
- 多様な録画解像度D1/Half D1/CIF
- CMS (中央監視システム)
- CMSのDVR、GUIによる簡単なセットアップ
- Webモニター、検索およびセットアップ
- バックアップ再生のためのメディアプレーヤー
- マウス操作のためのUSBポート、マルチUSB Hubまたはバックアップのための合計 4 USBポート (4Ch.DVRは合計2USBポート)
- 最大3台のSATA HDD 接続 (容量制限なし) (4Ch.DVRでは最大1SATA HDD)
- 2 Way音声双方向
- 1 台のキーボードコントローラーから複数のDVRを操作 (別途SC3100キーボードコントローラーが必要)
- ASCIIテキスト入力とリレー出力サポート (出力はTTLレベルのものもありますのでご注意ください)
- リアルタイム録画と複数チャンネル再生
- 8/16音声入力 (4Mic入力) サポート (4Ch.DVRは4Line入力)
- 録画データの高い安定性を保証するための機能を搭載
- 4スポット出力とイベントポップアップ機能 (4Ch.DVRは 1 スポット出力)
- 再生時のPIP (ピクチャーインピクチャー) とデジタルズーム機能
- センサー入力による外部機器とのシャットダウン連動機能を搭載
- UPnPサポート



1-3. 仕 様

| Model | | HDE2412 | HDS4824 |
|----------|--------------|--|--|
| 映像 | 入力 | 8 BNC | 16 BNC |
| | 出力 | 1VGA & 1 BNC Main, 4Spot 出力 | |
| オーディオ | 入力 | 4 RCA (4Line-in) | |
| | 出力 | 1 RCA (Line-Out) | |
| デバイス | センサー入力 | 8 TTL | 16 TTL |
| | アラーム出力 | 2 Relay + 2 TTL | |
| | I/Oインターフェース | RS232, RS485, USB2.0 x 3, USB1.1 x 1 for Mouse | |
| 表示 | スピード | リアルタイム | |
| | 解像度 | 720 x 480 (NTSC) | |
| | 分割スクリーン | 1 (PIP、デジタルズーム)、4、9 | 1 (PIP、デジタルズーム)、4、9 |
| 録画 | 圧縮 | H.264 Codec , 音声ADPCM方式 (4kB/s) | |
| | スピード／ 解像度 | 120ips@CIF(NTSC) 60ips@Half D1(NTSC) 30ips@D1(NTSC) | 240ips@CIF(NTSC) 120ips@Half D1(NTSC) 60ips@D1(NTSC) |
| | 画質 | 最高、高、標準、中 | |
| | モード | 連続、イベント、連続&イベント、緊急(パニック) | |
| 再生 | 表示 | 1 (デジタルズーム)、4、9 | 1 (デジタルズーム)、4、9、13、16 |
| | 検索モード | カレンダー検索、イベント検索、テキスト入力検索、時間 | |
| | 再生モード | 標準マルチチャンネル&逆再生 RW & FF (x2, x4, x8, x16, x32)、フレームからフレーム、停止 | |
| ネットワーク | インターフェース | イーサネット (10/100Base) | |
| | プロトコル | TCP/IP, HTTP, DHCP, NTP, SMTP, UPnP | |
| | アプリケーション | ライブ、再生、リモート、セットアップ、通知(コールバック、E-Mail) | |
| | ウェブブラウザ | Internet Explorer 7以上 (Internet Explorer 9は推奨されません。) | |
| ストレージ | | 3x SATA HDD & 1x SATA ODD | |
| バックアップ | | ODD、外付けHDD(USB)、外付けUSBフラッシュメモリー | |
| コントロール | | フロントパネルボタン、USBマウス (付属) IRリモートコントローラー (付属)、キーボードコントローラー (別売) | |
| OSD | | グラフィックユーザーインターフェース (多言語) | |
| Approval | | FCC, CE, KCC | |
| ROHS | | ROHS Compliance | |
| 消費電源 | | DC12V、6.67A(80W) | |
| 動作温度 | | 5℃～40℃ | |
| 動作湿度 | | 0%～80% | |
| 外形寸法 | | 430(W)x88(H)x428(D)mm | |
| 重量 | | 6kg (ODD、HDDは除く) | |

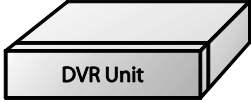




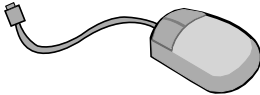



| Model | | HDF1212H/HDF1212DV |
|----------|--------------|--|
| 映像 | 入力 | 4 BNC |
| | 出力 | 1VGA & 1 BNC Main, 1Spot 出力 |
| オーディオ | 入力 | 4 RCA (ライン入力) |
| | 出力 | 1 RCA (ライン出力) |
| デバイス | センサー入力 | 4 TTL |
| | アラーム出力 | 2 Relay + 2 TTL |
| | I/Oインターフェース | RS232, RS485, USB2.0 x 1, USB1.1 x 1 for Mouse |
| 表示 | スピード | リアルタイム |
| | 解像度 | 720 x 480 (NTSC) |
| | 分割スクリーン | 1 (PIP、デジタルズーム)、4 |
| 録画 | 圧縮 | H.264 Codec, 音声ADPCM方式 (4kB/s) |
| | スピード/ 解像度 | 120ips@CIF(NTSC) 60ips@Half D1(NTSC) 30ips@D1(NTSC) |
| | 画質 | 最高、高、標準、中 |
| | モード | 連続、イベント、連続&イベント、緊急 (パニック) |
| 再生 | 表示 | 1 (デジタルズーム)、4 |
| | 検索モード | カレンダー検索、イベント検索、テキスト入力検索、時間 |
| | 再生モード | 標準マルチチャンネル&逆再生 RW & FF (x2, x4, x8, x16, x32)、フレームからフレーム、停止 |
| ネットワーク | インターフェース | イーサネット (10/100Base) |
| | プロトコル | TCP/IP, HTTP, DHCP, NTP, SMTP, UPnP |
| | アプリケーション | ライブ、再生、リモート、セットアップ、通知 (コールバック、E-Mail) |
| | ウェブブラウザ | Internet Explorer 7以上 (Internet Explorer 9は推奨されません。) |
| ストレージ | | 1x SATA HDD & 1x SATA ODD (HDF1212Hは2x SATA HDD) |
| バックアップ | | ODD (HDF1212Hは搭載しない)、外付けHDD(USB)、外付けUSBフラッシュメモリー |
| コントロール | | フロントパネルボタン、USBマウス (付属) IRリモートコントローラー (付属)、キーボードコントローラー (別売) |
| OSD | | グラフィックユーザーインターフェース (多言語) |
| Approval | | FCC, CE, KCC |
| ROHS | | ROHS Compliance |
| 消費電源 | | DC12V, 3.33A(40W) |
| 動作温度 | | 5℃~40℃ |
| 動作湿度 | | 0%~80% |
| 外形寸法 | | 340(W)x67(H)x265(D)mm |
| 重量 | | 2kg (ODD、HDDは除く) |

| Model | | HDE2424DV | HDS4848DV |
|----------|--------------|--|---|
| 映像 | 入力 | 8 BNC | 16 BNC |
| | 出力 | 1VGA & 1 BNC Main, 4Spot 出力 | |
| オーディオ | 入力 | 8 RCA (4Mic in, 4Line-in) | 16 RCA (4Mic in, 12Line-in) |
| | 出力 | 1 RCA (Line-Out) | |
| デバイス | センサー入力 | 8 TTL | 16 TTL |
| | アラーム出力 | 4 Relay + 4 TTL | 4 Relay + 12 TTL |
| | I/Oインターフェース | RS232, RS485, USB2.0 x 3, USB1.1 x 1 for Mouse | |
| 表示 | スピード | リアルタイム | |
| | 解像度 | 720 x 480 (NTSC) | |
| | 分割スクリーン | 1 (PIP、デジタルズーム)、4、9 | 1 (PIP、デジタルズーム)、4、9、13、16 |
| 録画 | 圧縮 | H.264 Codec , 音声ADPCM方式 (4kB/s) | |
| | スピード／ 解像度 | 240ips@CIF(NTSC) 120ips@Half D1(NTSC) 60ips@D1(NTSC) | 480ips@CIF(NTSC) 240ips@Half D1(NTSC) 120ips@D1(NTSC) |
| | 画質 | 最高、高、標準、中 | |
| | モード | 連続、イベント、連続&イベント、緊急 (パニック) | |
| 再生 | 表示 | 1 (デジタルズーム)、4、9 | 1 (デジタルズーム)、4、9、13、16 |
| | 検索モード | カレンダー検索、イベント検索、テキスト入力検索、時間 | |
| | 再生モード | 標準マルチチャンネル&逆再生 RW & FF (x2, x4, x8, x16, x32)、フレームからフレーム、停止 | |
| ネットワーク | インターフェース | イーサネット (10/100Base) | |
| | プロトコル | TCP/IP, HTTP, DHCP, NTP, SMTP, UPnP | |
| | アプリケーション | ライブ、再生、リモート、セットアップ、通知 (コールバック、E-Mail) | |
| | ウェブブラウザ | Internet Explorer 7以上 (Internet Explorer 9は推奨されません。) | |
| ストレージ | | 3x SATA HDD & 1x SATA ODD | |
| バックアップ | | ODD、外付けHDD(USB)、外付けUSBフラッシュメモリー | |
| コントロール | | フロントパネルボタン、USBマウス (付属) IRリモートコントローラー (付属)、キーボードコントローラー (別売) | |
| OSD | | グラフィックユーザーインターフェース (多言語) | |
| Approval | | FCC, CE, KCC | |
| ROHS | | ROHS Compliance | |
| 消費電源 | | DC12V、6.67A(80W) | |
| 動作温度 | | 5℃～40℃ | |
| 動作湿度 | | 0%～80% | |
| 外形寸法 | | 430(W)x88(H)x428(D)mm | |
| 重量 | | 6kg (ODD、HDDは除く) | |

2. システム設定

2-1. 梱包内容

以下の部品は製品に含まれています。

| | |
|-------------------------------------|---|
| DVRユニット |  |
| DCアダプター |  |
| 電源コード |  |
| CD (取扱説明書クライアントS/W) |  |
| IRリモートコントローラー |  |
| USBマウス |  |
| 取扱説明書(本説明書) |  |
| 別売 ラックマウントキット (EIA規格) |  |
| 別売 キーボードコントローラー SC3100 |  |

2-2. HDDの取り付け手順(HDE2412、HDE2424DV、HDS4824、HDS4848DV)

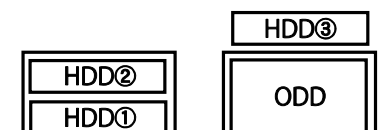
1. 天板を外し、HDDマウンタを固定しているネジを外します。



2. HDDマウンターにHDDを固定します。マウンタをベースに固定します。



3. メインボード上のSATAポート0番とHDD①を付属のSATAケーブルで接続します。



4. SATA電源コネクタをHDDに接続します。



HDDの取り付け手順(HDF1212H／HDF1212DV)

1. 天板を外し、HDDマウンタを固定しているネジを外します。



2. マウンタにHDDを固定します。



3. マウンタをベースに固定します。



※HDF1212HのODDベイ(5インチベイ)にHDDを取り付けるには別売のSATAケーブルが必要となります。

2-3. 接続デバイス

ビデオ入力



カメラからBNC映像コネクタまで同軸ケーブルを接続して下さい。

ループスルービデオ



Loop BNCコネクタから別のデバイスまで同軸ケーブルを接続して下さい。

他の自動終端装置に接続しない場合は、Loop BNCコネクタにケーブルを接続しないで下さい。
ビデオの画質が劣化します。

音声入力



MIC INチャンネルはDVR内部にプリアンプを備えており、OSD上で音声調節が行えます。

Audio-In RCAコネクタに音源を接続して下さい。

LINE INチャンネルは外部のアンプが必要です。地域法と規則に基づき、録音を行って下さい。

トラブルがあった場合には、全て使用者の責任となります。

MIC INチャンネルコネクタは直接マイクをつなぐために内蔵プリアンプを備えています。

映像出力



VIDEO OUT(コンポジットビデオ信号)コネクタ かVGA出力コネクタのどちらかを
メインモニターに接続して下さい。必要に応じてスポットモニターをSPOT OUTコネクタに
接続して下さい。VIDEO OUT(コンポジットビデオ信号)コネクタとVGA出力コネクタは
同時に同じ表示内容を出力しています。

その他入出力



音声出力：DVRには増幅したオーディオ出力がありませんので、スピーカーにはアンプが必要です。

RS-232C：テキストイン機能のためにATMやPOSとの接続を提供します。DVRに接続するために
DB9(female)コネクタのあるケーブルをご使用下さい。ケーブルは接続装置に合わせた仕様のものを
別途でご用意下さい。

ネットワーク：リモートモニター、リモート再生、リモートセットアップのために、
RJ-45コネクタと共にCat5ケーブルをDVRコネクタへ接続して下さい。

その他入出力

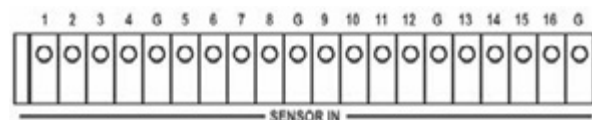


USB：HDD、ODD、バックアップやシステムアップグレードのためのフラッシュメモリ、または外部デバイスを接続するための2つのUSBポートを提供します。

Reset：DVRには全ての設定を出荷時設定に戻すResetスイッチがありますが使用にならないで下さい。DVRが初期値設定になるまでリセットホールに真っすぐにしたペーパークリップを刺し続けるとDVRユニットをリセットするパスワードを入力する必要があります。株式会社店舗プランニングは、このパスワードを公開提供しません。あらかじめご了承ください。

電源コネクタ：リヤパネルの電源コネクタに同梱のDCアダプター(DVR専用品)を接続して下さい。(電圧は100V～240V、50/60Hz)

センサー入力



外部装置を接続するために16(8)センサー入力コネクタを提供します。

イベントでDVRに信号を送るのにセンサーを使用できます。

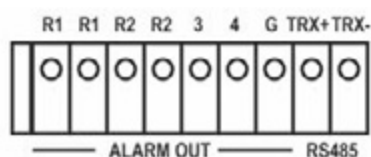
ターミナル・ブロックに接続する場合は、ボタンを押しながらボタンの下の穴にケーブルを挿入して下さい。ボタンを離したらケーブルを軽く引いて正しくロックされていることを確認します。

ケーブルを外す場合はボタンを押しながらケーブルを引き抜いて下さい。

※センサー入力に異なる仕様の入力を接続するとセンサー入力に反応しないばかりかDVRを破損する恐れがあります。

例えばCNBカメラ製品ではTTL出力が3.3V仕様で、センサー入力にはTTLレベル(5V/10mA)が印加されているので接続には無電圧接点への変換が別途必要となります。ご注意ください。

アラーム出力



サイレンやライトなどの外部アラームの接続のために4アラーム出力コネクタを提供します。

2アラーム出力コネクタには内部リレーがあり、その他はTTL信号です。

PTZカメラを制御するためにRS485コネクタを使用できます。また、コントロールキーボードはDVRから離れた距離で制御できます。

※コントロールキーボードから制御できるDVR本体は1台のみとなります。FW1.7.0よりコントロールキーボード制御ポートとしてRS485に加えてRS232が使用できるようになりました。ご注意ください。

Front USB

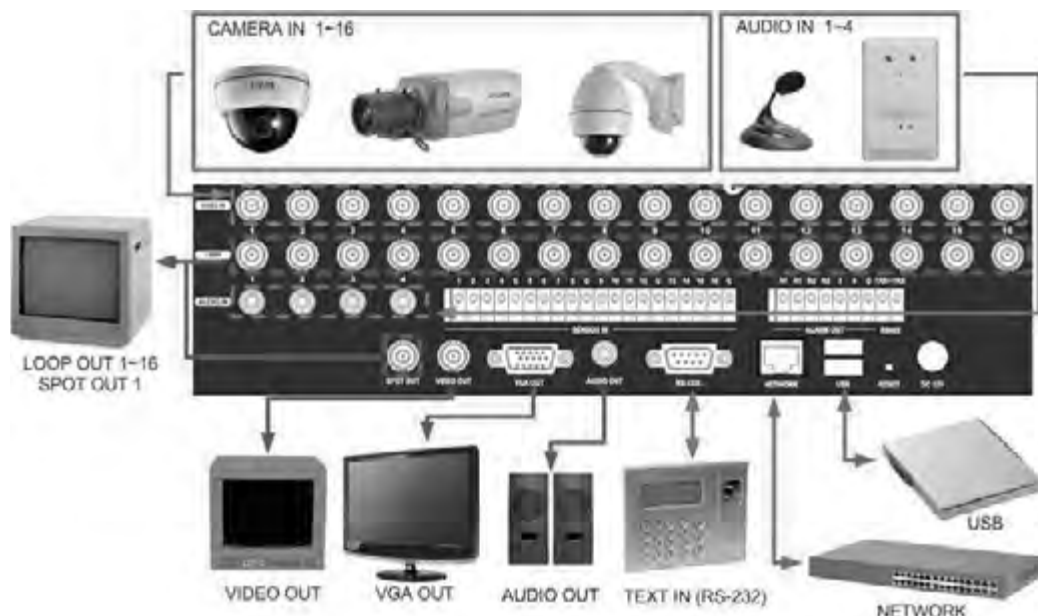
HDD、ODD、バックアップやシステムアップグレードのためのフラッシュメモリ

(USBフラッシュメモリのフォーマットはFAT32でなければなりません。異なる場合はPCからFAT32に再フォーマットし直してご使用下さい)、またはフロントパネル上のUSBマウスのような外部デバイスを接続するために、2つのUSBポートを提供します。USBマウスは専用マウスによってフロントパネルUSBポート下側のみ接続可能です。

注意：DVRsはカメラ、音声入力、およびアラームの数を除き、同様です。

この取扱説明書のイラストと記述は16チャンネルをモデルに作成。

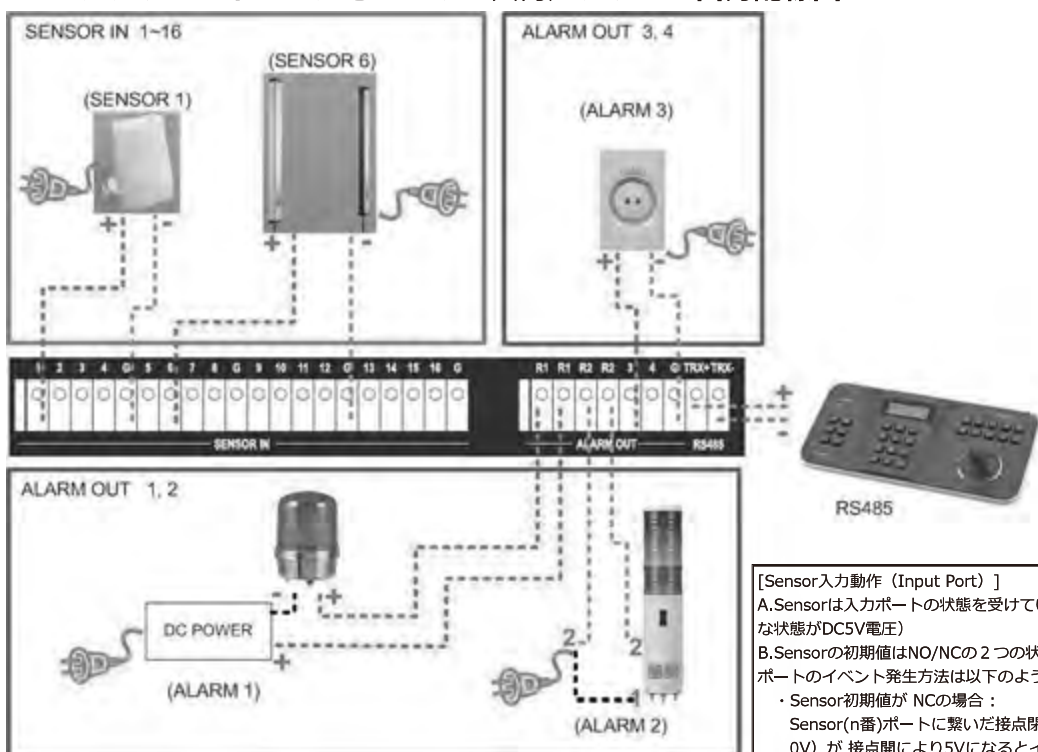
2-4. HDE2412/HDS4824 外部機器接続概要図



※Input : CAMERA IN 1~16/AUDIO IN 1~16/TEXT-IN RS-232C

※Output : VIDEO LOOP 1~16/VIDEO SPOT OUT 1~4/VIDEO OUT (CVBS)/VGA OUT/AUDIO OUT

2-4-1. カメラコントロールとセンサー入力/アラーム出力配線図



※Input : SENSOR IN 1~16

1~16番 : TTL入力 (HDE2412DVの場合 1~8番 : TTL入力)

※Output : ALARM OUT 1, 2 (RELAY operation)/ALARM OUT T 3, 4 (TTL operation)

1~2番 : Relay 出力 (24V DC 1A/125V AC 0.5A)

3~4番 : TTL出力

A. Alarmの初期値はNO/NC 2つあります。

RelayポートNO=R1, R1 (Normal Open)

RelayポートNC=R1, R1 (Normal Close)

TTLポートNO=電圧が5V出力

TTLポートNC=電圧が0V出力

B. Alarmが発生すると設定されているポートより初期化値が反転されます。

Relayポート初期値NOの場合 : R1, R1間が導通に変化

Relayポート初期値NCの場合 : R1, R1間が絶縁に変化

TTLポート初期値NOの場合 : 電圧が5Vより0Vに変化

TTLポート初期値NCの場合 : 電圧が0Vより5Vに変化

[Sensor入力動作 (Input Port)]

A.Sensorは入力ポートの状態を受けています (基本的な状態がDC5V電圧)

B.Sensorの初期値はNO/NCの2つの状態があり、入力ポートのイベント発生方法は以下のようになります。

・Sensor初期値が NCの場合 :

Sensor(n番)ポートに繋いだ接点閉 (入力ポートが0V) が 接点開により5Vになるとイベント発生

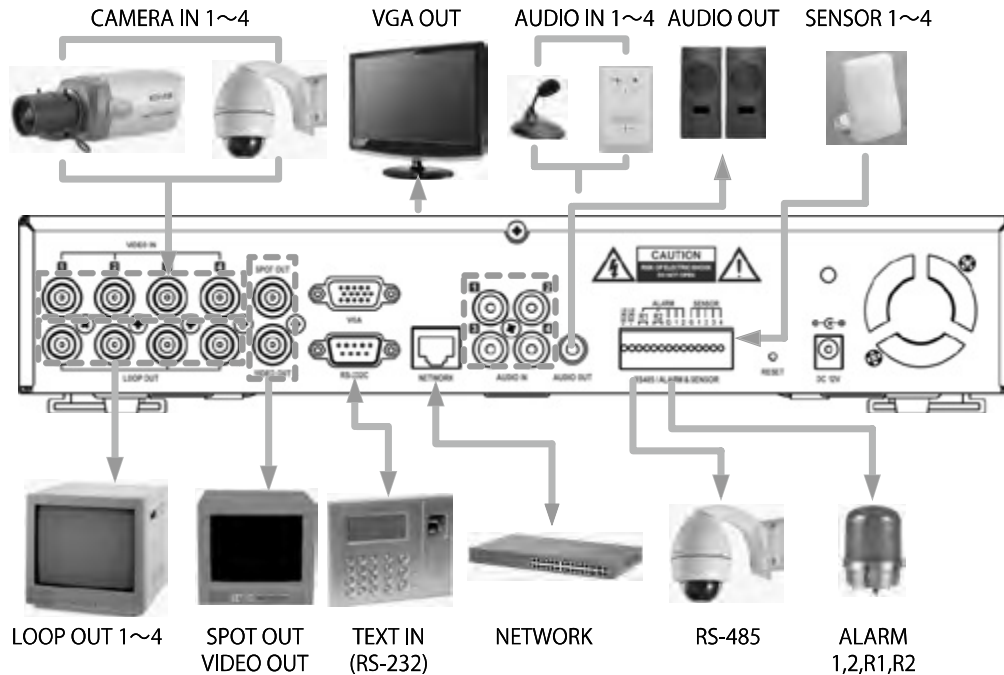
・Sensor初期値が NOの場合 :

Sensor(n番)ポートに繋いだ接点開 (入力ポートが5V) が 接点閉により0Vになるとイベント発生

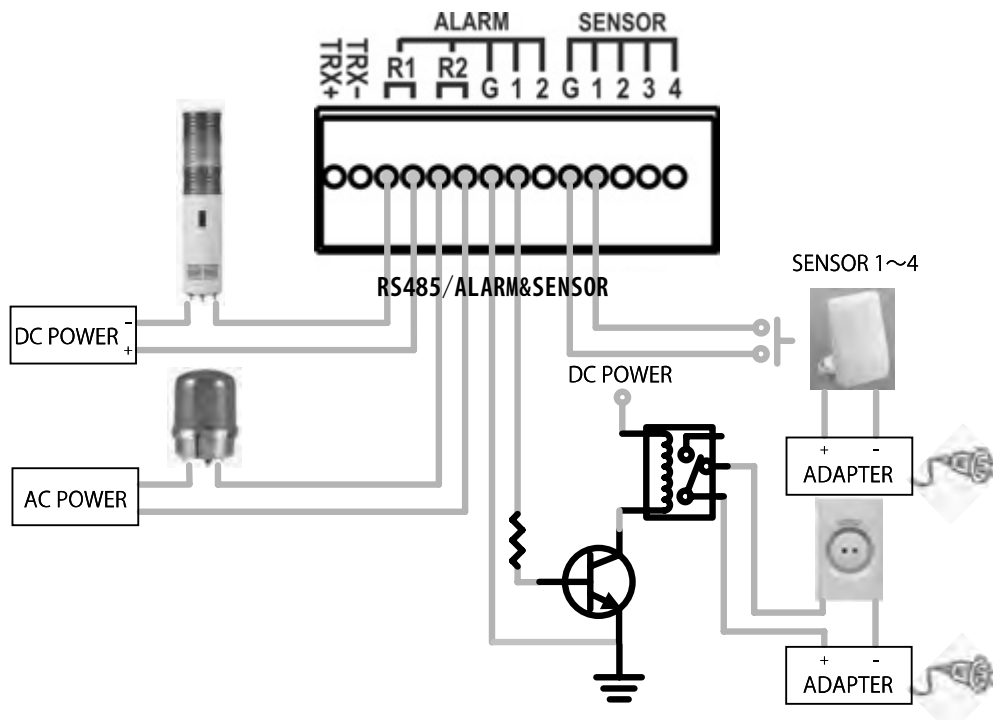
※Sensor初期値が NCの場合 :

Sensorポートに繋いだ端子がない(開放)と入力ポートは常に5Vなのでイベント発生

2-5. HDF1212DV 外部機器接続概要図



2-5-1. カメラコントロールとセンサー入力／アラーム出力配線図



1~4番：TTL入力

[Sensor入力動作 (Input Port)]

A. Sensorは入力ポートの状態を受けています (基本的な状態がDC5V電圧)

B. Sensorの初期値は NO / NCの2つの状態があり、入力ポートのイベント発生方法は以下になります。

- ・ Sensor初期値が NCの場合：Sensor(n番)ポートに繋いだ接点閉 (入力ポートが0V) が 接点開により5Vになるとイベント発生
- ・ Sensor初期値が NOの場合：Sensor(n番)ポートに繋いだ接点開 (入力ポートが5V) が 接点閉により0Vになるとイベント発生

※Sensor初期値が NCの場合：Sensorポートに繋いだ端子がない(開放)と 入力ポートは常に5Vなのでイベント発生

1~2番：TTL出力

3~4番：Relay出力 (24V DC 1A / 125V AC 0.5A)

A. Alarmの初期値はNO/NC 2つあります。

RelayポートNO=R1, R1 (Normal Open)

RelayポートNC=R1, R1 (Normal Close)

TTLポートNO=電圧が5V出力

TTLポートNC=電圧が0V出力

B. Alarmが発生すると設定されているポートより初期化値が反転されます。

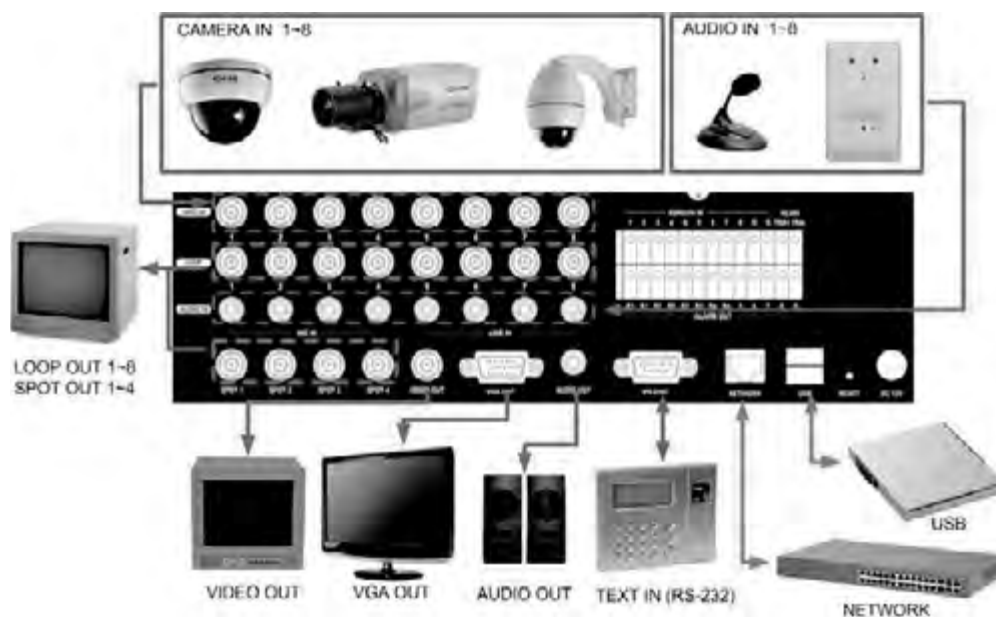
Relayポート初期値NOの場合：R1, R1間が導通に変化

Relayポート初期値NCの場合：R1, R1間が絶縁に変化

TTLポート初期値NOの場合：電圧が5Vより0Vに変化

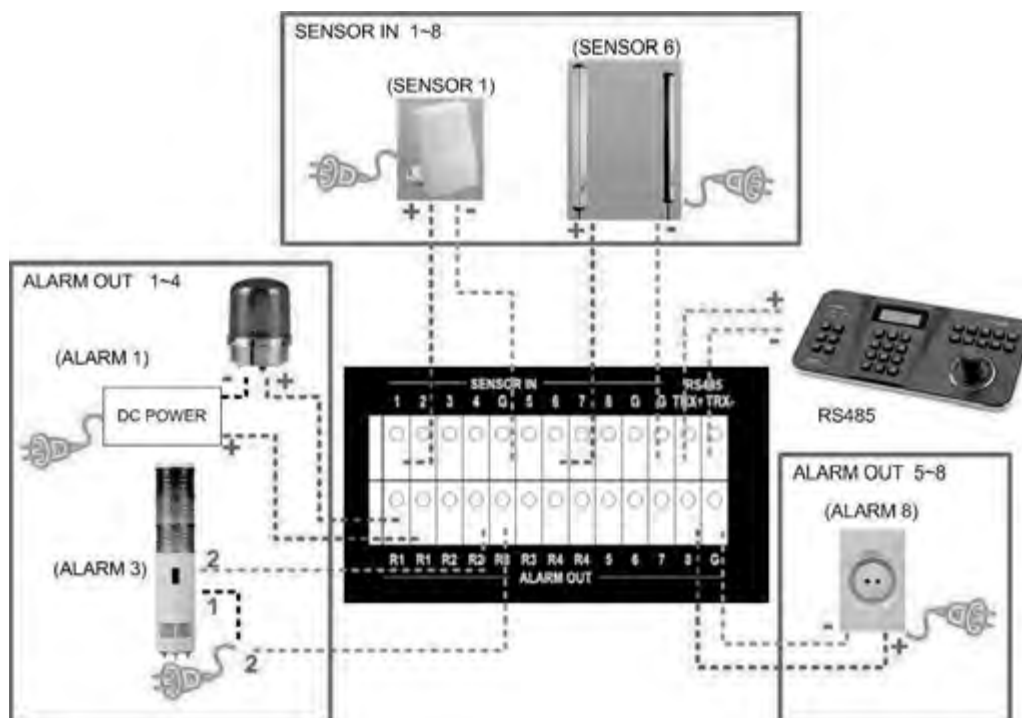
TTLポート初期値NCの場合：電圧が0Vより5Vに変化

外部機器接続概要図



※Input : CAMERA IN 1~8/AUDIO IN 1~8/TEXT-IN RS-232C

※Output : VIDEO LOOP 1~8/VIDEO SPOT OUT 1~4/VIDEO OUT (CVBS)/VGA OUT/AUDIO OUT



※Input : SENSOR IN 1~8
1~8, 16番 : TTL入力

[Sensor入力動作 (Input Port)]

A. Sensorは入力ポートの状態を受けています (基本的な状態がDC5V電圧)

B. Sensorの初期値は NO / NCの2つの状態があり、入力ポートのイベント発生方法は以下になります。

- ・ Sensor初期値が NCの場合 : Sensor(n番)ポートに繋いだ接点閉 (入力ポートが0V) が 接点開により5Vになるとイベント発生
- ・ Sensor初期値が NOの場合 : Sensor(n番)ポートに繋いだ接点開 (入力ポートが5V) が 接点閉により0Vになるとイベント発生

※Sensor初期値が NCの場合 : Sensorポートに繋いだ端子がない(開放)と 入力ポートは常に5Vなのでイベント発生

※Output : ALARM OUT 1~4 (RELAY operation)/ALARM OUT 5~8 (TTL operation)

1~4番 : Relay 出力 (24V DC 1A/125V AC 0.5A)

5~8, 16番 : TTL出力

A. Alarmの初期値はNO/NC 2つあります。

RelayポートNO=R1, R1 (Normal Open)

RelayポートNC=R1, R1 (Normal Close)

TTLポートNO=電圧が5V出力

TTLポートNC=電圧が0V出力

B. Alarmが発生すると設定されているポートより初期化値が反転されます。

Relayポート初期値NOの場合 : R1, R1間が導通に変化

Relayポート初期値NCの場合 : R1, R1間が絶縁に変化

TTLポート初期値NOの場合 : 電圧が5Vより0Vに変化

TTLポート初期値NCの場合 : 電圧が0Vより5Vに変化

.....

.....

詳解機能編

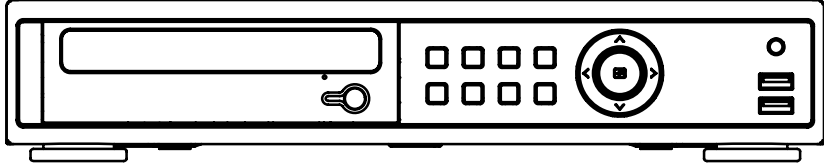
3. DVRの仕様



















3-1. 基本操作

3-1-1. フロントパネルとIRリモートコントローラー操作

DVRは操作する前に正しく設置して下さい。DVRモデルにより、ボタンの位置や形が異なることがあります。

【HDF1212H／HDF1212DV】 ※HDF1212HはODDを搭載していません。



| 制 御 | | 説 明 |
|--|------------------------------------|---|
|   | USB ポート | 2つのUSBポートはフロントパネル上にあります。USBマウスはUSBマウス専用ポート(下側)と接続して下さい。 |
| | Camera ボタン | カメラボタンを押すと、カメラが選択されフルスクリーン表示されます。ボタンはパスワードを入力する際にも使用します。  PTZ機能時のフォーカス操作  PTZ機能時のフォーカス操作  PTZ機能時のズームアウト操作  PTZ機能時のズームアウト操作 |
|  | MENU ボタン | Setup Menuを表示/消去します。Menuボタンを押しセットアップを行う場合はパスワードを入力する必要があります。Playbackモードから、MENUボタンを押すとPlayback Menuを表示します。 |
|  | PLAYBACK ボタン | ライブモードから再生モードへ変更します。 |
|  | DISPLAY ボタン | 現在画面または再生画面でスクリーン表示モードを変更します。  PTZ機能時のプリセット設定操作 |
|  | BACKUP ボタン | 外部記憶装置に録画データをバックアップします。  PTZ機能時のプリセット呼出操作 |
|  | Up,Down,Left,Right Arrow,ENTER ボタン | 方向操作と単画面表示時のライブチャンネルを順番に表示します。(左/下:CH減、右/上:CH増)(パン、チルトでは向きの表示に使います)  再生時のR.PLAY操作  再生時のR.コマ逆再生操作  再生時のF.コマ再生操作  再生時のPLAY操作  再生時のPAUSE操作 |

| | | |
|---|------------|--|
|  | E.REC ボタン | 全てのカメラチャンネルが緊急録画 (E.REC) モードで録画されます。 E.REC中は①を画面上に表示します。もう一度E.RECボタンを押すと、E.RECモードは解除され、通常の録画モードに復帰します ※MENU>録画>録画>"緊急録画"項目にチェックがないとボタンを押しても動作しません。 |
|  | ▲EJECT ボタン | ODDのディスクトレイを開閉します。 ※HDF1212HはODDを搭載しておりません。 |
|  | Status LED | 電源、HDD、ネットワーク、アラームの動作状態を表示します。 |

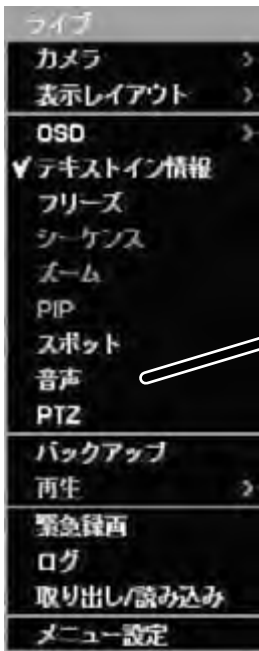
※HDF1212H／HDF1212DVにはAUDIOボタンがありません。
カメラCHの音声を選択するには、後述のP30のライブコンテクシャルメニューから音声を指定して音声メニューを表示させて操作するか、製品に付属しているIRリモートコントローラーの音声選択ボタンで操作する必要があります。



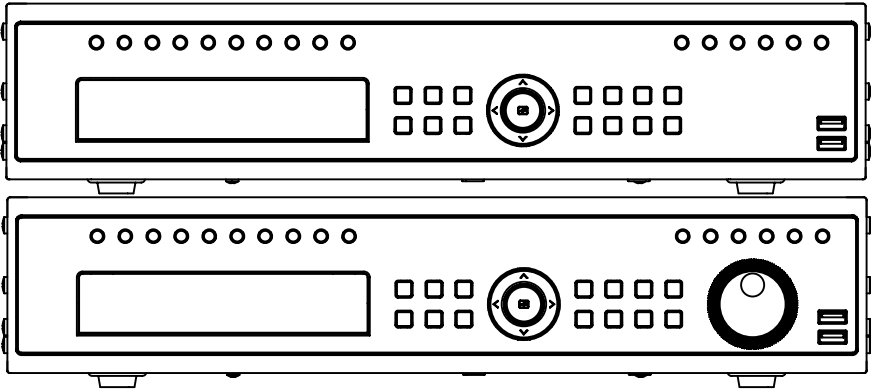
ENTERボタン



音声選択／ミュート操作



【HDE2412/ HDE2424DV / HDS4824/ HDS4848DV】



| 制 御 | 説 明 |
|------------------|---|
| USB ポート | 2つのUSBポートはフロントパネル上にあります。USBマウスはUSBマウス専用ポート（下側）と接続して下さい。 |
| Camera ボタン (1～0) | カメラボタンを押すと、カメラが選択されフルスクリーン表示されます。ボタンはパスワードを入力する際にも使用します。 |
| DISPLAY ボタン | 現在画面または再生画面でスクリーン表示モードを変更します。 |
| SEQUENCE ボタン | ライブチャンネルを連続して表示します。 |
| PIP ボタン | ライブ画面からPIP画面モードへの変更をします。 |
| ZOOM ボタン | 画面上で現在画面をデジタルズームさせます。 |
| INFO ボタン | OSD表示ステータスバー表示のon/off切り替えをします。 |
| LOG ボタン | システムログ画面を表示します。 |
| MENU ボタン | Setup Menuを表示/消去します。Menuボタンを押しセットアップを行う場合はパスワードを入力する必要があります。Playbackモードから、MENUボタンを押すとPlayback Menuを表示します。 |
| PLAYBACK ボタン | ライブモードから再生モードへ変更 |
| BACKUP ボタン | 外部記憶装置に録画データをバックアップします。 |
| PTZ ボタン | ライブモードからPTZ制御モードを変更します。 |
| SPOT ボタン | SPOT出力チャンネルの割り当てをします。 |
| AUDIO ボタン | ライブまた再生オーディオ出力のためにカメラを選択します。音声消去（ミュート）も選択できます。 |
| FREEZE ボタン | 現在画像をフリーズさせます。 |

| | | |
|--|---|--|
|  | E.REC ボタン | <p>全てのカメラチャンネルが緊急録画 (E.REC) モードで録画されます。</p> <p>E.REC中は①を画面上に表示します。もう一度E.RECボタンを押すと、E.RECモードは解除され、通常の録画モードに復帰します</p> <p>※MENU>録画>録画>”緊急録画”項目にチェックがないとボタンを押しても動作しません。</p> |
|  | Up,Down,Left,Right Arrow,ENTER ボタン | <p>方向操作と単画面表示時のライブチャンネルを順番に表示します。(左/下:CH減、右/上:CH増) (パン、チルトでは向きの表示に使用します)</p> |
|  | ◀R.PLAY ボタン | <p>映像を逆再生します。繰り返しボタンを押して、最大32倍速 (1、2、4、8、16、32倍) で逆再生することが出来ます。</p> <p>■ PTZ機能時のズームアウト操作</p> |
|  | R. コマ逆再生ボタン | <p>1 コマ直前の再生に戻ります。</p> <p>■ PTZ機能時のズームイン操作</p> |
|  | PAUSE ボタン | <p>再生モードで、再生画面をポーズする為に使用します。</p> <p>■ PTZ機能時のプリセット設定操作</p> |
|  | F. コマ逆再生ボタン | <p>1 コマ直後の再生に戻ります。</p> <p>■ PTZ機能時のフォーカス操作</p> |
|  | ▶PLAY ボタン | <p>映像を再生します。繰り返しボタンを押して、最大32倍速 (1、2、4、8、16、32倍) で再生することが出来ます。</p> <p>メニューを設定する際、このボタンを使用し右に移動して下さい。</p> <p>■ PTZ機能時のフォーカス操作</p> |
|   | ▲EJECT ボタン | <p>ODDのディスクトレイを開閉します。</p> <p>- PTZモードによりPTZプリセットをロードする為にメニューを表示します。</p> <p>■ PTZ機能時のプリセット呼出操作</p> |
|  | Status LED | <p>電源、HDD、ネットワーク、アラームの動作状態を表示します。</p> |
|  | ジョグダイヤル HDE2424DV HDS4848DV のみ装備 | <p>外側リングを操作することで正逆1倍～32倍速のシームレスな再生操作が行えます。</p> <p>内側ダイヤルの回転で正逆コマ送りが行えます。</p> <p>シーンの頭出しなどで操作性が格段にアップします。</p> |

※ドライブ自体のEJECTボタンはドライブベイで隠れており、押すことは出来ません。

3-1-2. IRリモートコントローラー操作方法(付属IRリモートコントローラーは全機種共通です)

| | | |
|--|------------------------------|-----------------------------|
| | E.REC(緊急録画)の on/off | ID(リモコンIDウインドウでID番号選択) |
| | 数字の1を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) | 数字の2を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) |
| | 数字の3を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) | 数字の4を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) |
| | 数字の5を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) | 数字の6を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) |
| | 数字の7を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) | 数字の8を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) |
| | 数字の9を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) | 数字の0を押す。 (全画面切替え数字入力に使用) |
| | シーケンシャル画面切替え | 分割画面切替え |
| | 方向(上) | 方向(下) |
| | 方向(左) | 方向(右) |
| | 決定ボタン | |
| | 設定メニュー画面 | OSD(オンスクリーン表示)のON/OFF |
| | PTZメニュー画面 | バックアップ画面 |
| | 逆再生 PTZ機能時のズームアウト操作 | 一時停止 PTZ機能時のプリセット設定操作 |
| | 再生 PTZ機能時のフォーカス操作 | 1コマ直前へ PTZ機能時のズームイン操作 |
| | ODDトレイ開閉 PTZ機能時のプリセット呼出操作 | 1コマ直後へ PTZ機能時のフォーカス操作 |
| | デジタルズームのON/OFF | 再生メニュー画面 |
| | ピクチャーインピクチャーのON/OFF | 音声選択/ミュート操作 |
| | スポットの切替え | システムログ画面呼出 |

HDF1212H/HDF1212DVではStatusLEDの上部に、HDE2412/HDE2424DV/HDS4824/HDS4848DVではFrontUSBコネクタの上部にIRリモートコントローラーの受光部があります。IRリモートコントローラーが正常に動作するために、この部分が遮られないようにして下さい。

IRリモートコントローラーのミスプリント品混入のご注意

- E.RECがPANICになっていますが、機能は変わりありません。
- 「再生」ボタンに【PTZ操作時のズームイン操作】の印刷になっておりますが、実際にはズームアウト動作します。
- 「1コマ直前へ」ボタンに【PTZ操作時のズームアウト操作】の印刷になっておりますが、実際にはズームイン動作します。

3-2. システムの動作

電源コードを接続すると、DVRの電源が入ります。システムが初期化されるには約10～30秒かかります。起動時、初期化完了時までライブ画面はマスク表示されています(ファームウェア1.7.0以降)。

システムの初期化が正常に終了すると、ライブ画面が表示され、自動的に入力映像を録画し始めます。
注意:システムをoffにする時は、メインメニューからシャットダウン(MENU>シャットダウン)を選択して、シャットダウンのメッセージが表示されたら電源コードのプラグを抜いて下さい。

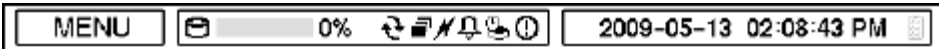








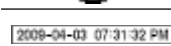

 シャットダウン操作を行わずに電源コードを抜いたりすると、HDDが破損する場合があります。

注意:初めてHDDをインストールする時、HDDを最初にフォーマットして下さい。














“MENU>録画>記録装置>フォーマット”

弊社からの出荷時に搭載しているHDDは、フォーマット済です。

3-3. ステータスバー ステータスバーは画面下部に表示されます。

| | |
|--|--------------------------------------|
|  | |
|  | MenuをUSBマウスでクリックするとメインメニューリストが出てきます。 |
|  0% | 使用されているHDDの使用率(%)を表示します。 |
|  | HDDが上書き設定されている時に表示されます。 |
|  | シーケンシャル表示モードの時に表示されます。 |
|  | システムがネットワークに接続される時に表示します。 |
|  | アラームが作動している時に表示されます。 |
|  | ミラーリングモードまたはファイル保存モードを表示します。 |
|  | E.REC(非常時の録画)モード |
|  2009-04-03 07:31:32 PM | 日付と時間表示。 |
|  | IRリモートコントローラー動作中表示します。 |

3-4. アイコン表示

| | |
|---|--|
|  | 録画なし |
|  | 録画(赤) [I] モードで連続録画時表示 |
|  | E.REC(非常時の録画) |
|  | イベント録画(赤) [E] モードでイベント録画時表示 |
|  | プライベート録画(青) [E] モードでイベント録画時表示 |
|  | モーション検出 |
|  | センサー検出 |
|  | テキストイン(トランザクション受信) |
|  | PTZカメラ設定しているカメラCH |
|  | 簡易バックアップ |
|  | クリップメーカー(青) |
|  | バックアップ(赤) |
|  | ビデオロス |

3-5. ユーザー／管理者のログイン

フロントキーの MENU ボタンまたはステータスバーの MENU ボタンを押し、メインメニュー画面に入ってください。ログイン画面が表示されましたら、ID（管理者またはユーザー）とパスワードを入力してください。ソフトウェアキーボードの全文字の組み合わせによって最大 8 桁のパスワード文字列を設定できます。（大文字小文字は区別されます）
パスワードセットアップオプション（MENU＞システム＞ユーザー）によって自動ログアウト（分）を設定できます。

※ iMon2 for iPhone を利用する際のパスワードについて（注意）

iMon2 for iPhone（2.1.1）では、パスワード入力で文字を入力できません。このため文字を使用しないで 0～9 の数字を使用するか、もしくは「メモ」アプリケーション等にパスワードを入力しコピー、そのパスワードを iMon2 のパスワード欄にペーストしてご使用下さい。
（iMon2 for Andoroid は文字列を入力できるインターフェースを備えているため、キーボードから入力してください）

セキュリティに関する注意事項

ネットワークに接続された DVR の Admin 権限のパスワードを、デフォルトパスワードのままご使用になれますと Admin 権限と関係付けられている Administrator グループ（固定、変更不可）でネットワーク設定が有効に設定されているため、お客様の DDNS アドレスもしくは固定 IP アドレスが外部流出してしまった場合、リモートで操作される可能性がございます。これはビデオデータが潜在的脅威に晒されることを意味します。
Admin 権限のデフォルトパスワードを変更しなかったことによりセキュリティの問題が起こった場合は、お客様の責任となります。弊社は一切の責任を負いません。
製品インストール後に Admin 権限のパスワードを変更して運用されることをおすすめします。
なお、変更したパスワードはお忘れになりませんよう、お客様ご自身の責任で厳重に管理してください。

また、変更したパスワードを忘れてしまって DVR にログイン出来なくなった場合には、DVR の設定を工場出荷状態に初期化する以外に再ログインできません。初期化手順はお客様への手順開示を行っておりませんので、株式会社店舗プランニングまでご連絡ください。

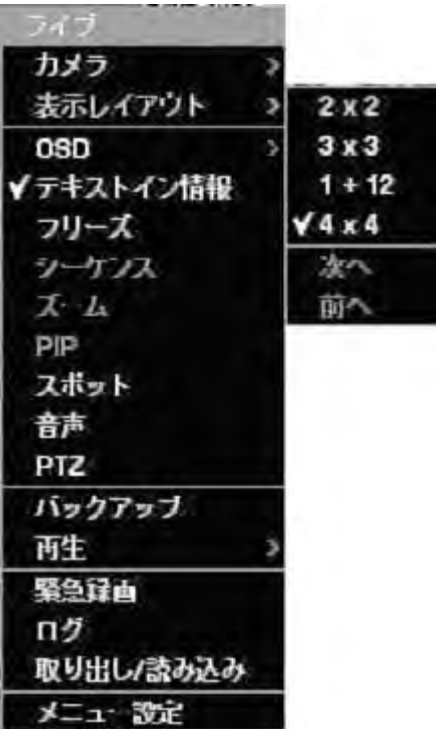
本製品に修理が必要となりました場合、ログインのために Admin 権限のパスワードが必要となります。Admin 権限のパスワードを弊社修理担当窓口がお伺い致しますので、修理をご依頼の際は Admin 権限のパスワードを準備されまして、ご連絡ください。

3-6. メインメニュー

メインメニューはシステム、デバイス、ディスプレイ、録画、ネットワーク、およびイベントから成り立っています。また、各メニューはシステムの詳細セットアップを設定するサブメニューから成り立っています。各メニューへのアクセスにマウス、リモコンまたはフロントパネルボタンを使用して下さい。

| | | |
|---------|---------|-------------|
| メインメニュー | システム | 情 報 |
| | | 日付・時間 |
| | | ユーザー |
| | | 簡易設定 |
| | | システムログ |
| | デバイス | カメラ |
| | | 音 声 |
| | | アラーム |
| | | コントローラー |
| | | RS232&RS485 |
| | ディスプレイ | 表 示 |
| | | メイン・スポット |
| | 録 画 | 記録装置 |
| | | 録 画 |
| | | データ保管機能 |
| | | 録画ツール |
| メインメニュー | ネットワーク | アドレス |
| | | ダイナミックDNS |
| | | 遠隔通知 |
| | | 映像配信 |
| | イベント | センサー |
| | | モーション |
| | | ビデオロス |
| | | テキスト |
| | | システム |
| | ログアウト | |
| | シャットダウン | |

3-7. ライブコンテクシャルメニュー



4-3-1. MENU>ディスプレイ>表示レイアウトで表示位置番号とカメラCH番号を同一番号で割り付けている場合は、上記のような順番での表示となります。変更されている場合は、この限りではありません。また、画面分割表示の変更はフロントの‘DISPLAY’ボタンやIRリモートコントローラーの‘分割画面切換えボタン’を使用しての変更もできます。前後ページへの移動は‘方向ボタン’に相当します。

- コンテクシャルメニュー画面は、ライブ画面でフロントパネルのEnterボタンを押すか、マウスを右クリックすることによって表示されます。レイアウト表示は、モニター上でカメラ表示を変更します。モニター上でご希望のカメラ表示を選択して下さい。
- カメラ:** 表示したいカメラ番号の選択
- 表示レイアウト:** 表示モード(分割画面)の選択(8/16ch.DVRのみ)
- OSD:** OSD(オンスクリーンディスプレイ)の表示の選択
- テキストイン情報:** Text-In OSD表示のon/off選択
- フリーズ:** 現在の画像表示をフリーズ
- シーケンス:** シーケンシャル表示の開始 (分割シーケンシャル表示も上記の表示レイアウトの表示位置番号と画面割りの表示順番で分割シーケンシャル表示されます。カメラの信号入力が無い場合のカメラチャンネル表示位置もスクリーン上にグレー表示され表示を飛ばしたりする機能はありません。シーケンシャル表示の間隔は、MENU>ディスプレイ>メイン・スポットのメインタブのシーケンス間隔(秒)で指定した秒数毎に順次切り替わります。)
- ズーム:** 画像の2倍ズームを行います。表示位置は方向操作キーで変更します。
- PIP:** PIPモードに変更します
- スポット:** 各スポットモニター表示の選択
- 音声:** オーディオアウトの選択
- PTZ:** PTZカメラの選択
- バックアップ:** バックアップオプションの選択
- 再生:** 録画データの再生
- 緊急録画:** 非常時の録画開始
- ログ:** システムログの表示
- 取り出し/読み込み:** ODDからのディスクの取出し
- メニュー設定:** セットアップメニュー表示

4. DVR構成

4-1. システム

システムメニューから一般的なDVR設定、ユーザー、簡単設定およびシステム履歴のシステム構成オプションを選択できます。

4-1-1. MENU>システム>情報



情報スクリーンから、DVR 名、ファームウェアバージョン、アップグレード、Macアドレスおよびシステム設定を選択できます。ハイライトを付け入力、またはDVR名を変更するためにDVR 名を押して下さい。その際、画面上のバーチャルキーボードを使用して下さい。

(最大32文字まで、入力文字制限はありません)

注意: HDx ビューワー、インターネットブラウザーからの設定はできません。


システムのアップグレードをする為には、USB フラッシュメモリーにアップグレードファイルを保存してDVRに接続します。アップグレードボタンを押して、認識したデバイス上のアップグレードファイル名を指定するとシステムアップグレードが始まります。アップグレードには約5分かかります。注意: アップグレード中はUSBフラッシュメモリーを取り外したりシステムをoffにしないで下さい。アップグレード中にUSBフラッシュメモリーを取り外したりシステムをoffにしますと、システムの誤動作を引き起こしたり、起動できなくなる場合があります。


リモコン ID

リモコン IDから個別に複数のDVRを制御して下さい。IRリモートコントローラーを使用するとき、リモコン IDが0ならリモートIDを選択する必要はありません。どのリモコンにも作動し、リモコンはどのID0のDVRとも通信できます。

リモコンIDが0  の場合、例えばリモコンの  ボタンを押したときモニター画面にはMENUが表示されます。

リモコンIDが1  の場合、例えばリモコンの  ボタンを押したとき、リモコン側のIDは0なのでモニター画面にはMENUが表示されません。

このような場合には、リモコンのIDボタン  を押すとリモコンIDとリモコンのID選択を合致させるためのウィンドウが表示されます。

この場合、DVRに設定されているリモコンIDは1であるので、ID選択を1に設定すると  ボタンを押したときモニター画面にMENUが表示されるようになります。



映像信号規格

本DVRは自動的にカメラ信号タイプNTSC/PALを検出することができます。
(NTSC/PALを手動で選択することもできます。)
弊社での出荷時に明示的にNTSCに設定しています。

システム設定

システム設定をUSBフラッシュメモリーに保存、またロードすることが出来ます。

出力：USB フラッシュメモリーに設定を保存

入力：USB フラッシュメモリーに保存した設定をロード

初期化：工場出荷時設定をロード

※ 弊社での出荷時に設定している項目も初期化され、英語表記になります。

注意：システム設定を使用して、システム情報とネットワーク項目の設定変更は出来ません。また、初期値の設定を行ってもNetwork設定は初期化されません。

4-1-2. MENU>システム>日付・時間



日付・時間では、時間帯、日付、時間を選択できます。
NTPサーバーでは、自動調時(ネットワーク接続が必要です)を選択でき、休日では任意の休日を選択できます。右の時間帯を選択するのに、ハイライトを付け時間帯[]を押して下さい。
サマータイムの設定された地域でご利用頂く場合は'サマータイム'を選択して下さい。ローカルのサマータイム期間の最初と最後の日/時間を設定して下さい。
日本国内ではサマータイムの設定は必要ありません。

日付と時間を設定するために、[]ボタンを押して下さい。[表示形式変更]ボタンを押して日付と時間表示形式を選択して下さい。

注意：ここに表記するフォーマットは表示形式を示しており、日付と時間の初期化に使用するものではありません。日付と時間の修正は日付と時間の表示内容を変更して[OK]で反映します。



NTPサーバーは'jp.pool.ntp.org'に設定して出荷しております。このDVRをネットワークに接続している場合、'NTPを使用する'にチェック(有効)を入れると時刻同期サーバーに'間隔'の周期で接続して、自動的に時刻を補正します。(デフォルトの間隔は"1日")このサーバーを使用する事により、DVR内の時計をほぼ正確に合わせる事が可能です。ただし、NTPサーバーの時刻よりDVR内の時計が進んでいる場合、NTPサーバーより進んだ時間の録画映像は上書きされるので失われます。



休日タブを押し[]ボタンを押して特定の日を指定して下さい。[]または[]ボタンを押して日付を変更/削除して下さい。休日はMENU>録画>スケジュールで曜日条件を休日とすることで休日の録画ips指定などに利用できます。

注意：休日の設定はお客様で設定して下さい。
設定を間違えますと誤作動の原因となります。
毎年アップデートが必要になります。

4-1-3. MENU>システム>ユーザー



ユーザータブを押して、新しい使用者の入力／追加を行って下さい。

オートログイン：オートログインオプションをOnかOffにして下さい。Onにした時にはオートログインするユーザーを指定して下さい。指定できるユーザーは下表で定義されているユーザーのみです。設定(変更)を有効にするには電源の再起動が必要です。

起動時に初期化完了時までライブ画面はマスク表示されていますがオートログインで'Admin'アカウントログインするとマスク表示は自動的に解除されます。

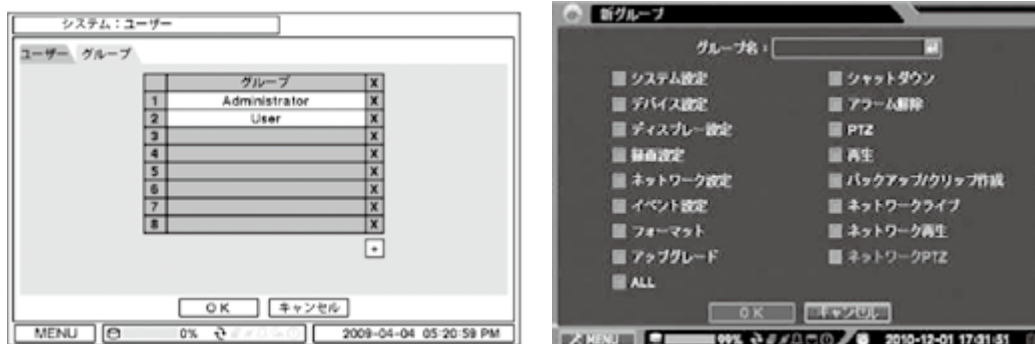
自動ログアウト：自動ログアウトオプションをOnかOffにして下さい。Onにした時にはログアウトするまでの時間(分)を指定して下さい。新しい使用者を加えるために[+]を押して下さい。既存の使用者を削除するには[-]を押して下さい。

使用者名：使用者名を入力

グループ：新しい使用者が属するグループを選択

パスワード：新しいパスワードを設定、またはパスワードを変更

注意：デフォルトパスワードは「1111」です。



ユーザー登録とアクセス権をシステムに設定して下さい。グループを押して、グループの追加や設定を行って下さい。

[+]を押して、新しいグループを加えて下さい。グループ名を入力し、グループのアクセス権を選択して下さい。既存のグループを削除するには、[-]を押して次に進んで下さい。

4-1-4. MENU>システム>簡易設定



簡易設定によって簡単に基本的な設定ができます。

4-1-5. MENU>システム>システムログ



システムログで、システムログの全リストを検索することができます。**再読み込み**ボタンを押して、ログリストをリフレッシュして下さい。

検索ボタンを使用し、ログリストを1ページずつ検索して下さい。

ログリストはテキスト形式において出力可能です。**出力**ボタンを押す前にUSBフラッシュメモリーがUSBポートに装着され認識されていなければ“出力”を開始できません。

認識されない場合は作業を止め、再びMENUから入り直して下さい。USBデバイスが正しく認識されている場合は、出力ファイル名をバーチャルキーボードで入力して下さい。“出力”が始まります。

システムログのUSB出力: フォントがUTF-8のCSV形式で出力されますのでPCに読み込む際に適切なフォントに変更して取り込みを行って下さい。

システムログの履歴内容(ログ情報)は、DVR本体内のフラッシュメモリー(不揮発)に記録されます。HDDを交換しても、それ以前の履歴を失うことはありません。

例) Excel2003でUTF 8⇒S-JIS変換にて取り込む方法。

USBポートにUSBフラッシュメモリーを挿入して出力します。
この時に指定したファイル名を覚えておいて下さい。



出力するときに指定したファイルがUSBフラッシュメモリー上にあることを確認します。



このファイルをダブルクリックしてExcelに読み込ませるとS-JISコードで読み込もうとしますので文字化けが起きます。この文字化けを回避するための手順を説明します。



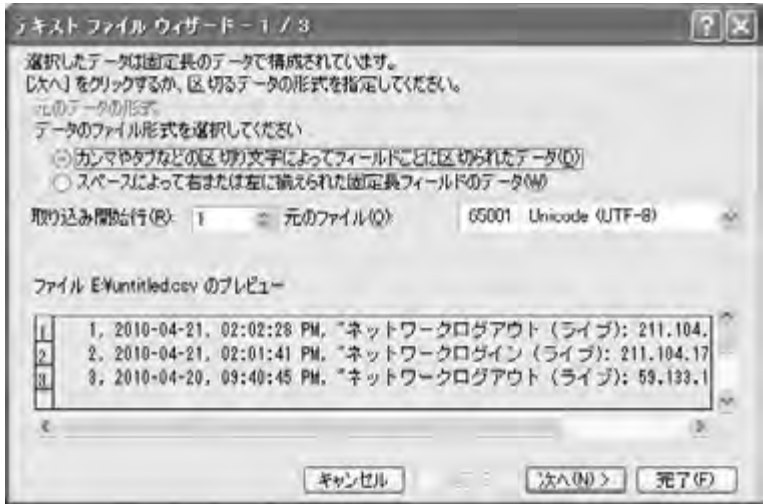
データ>外部データの取り込み>データの取り込みをクリックします。



ファイルの種類を“テキストファイル”に変更して、ファイルを開きます。



テキストファイルウィザードが開きます。“カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ”をチェックして、元のファイルを“65001:Unicode(UTF-8)”を選択し、**次へ**をクリックします。



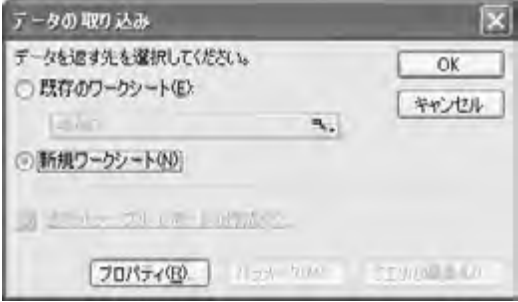
区切り文字で“カンマ”を選択して**次へ**をクリックします。



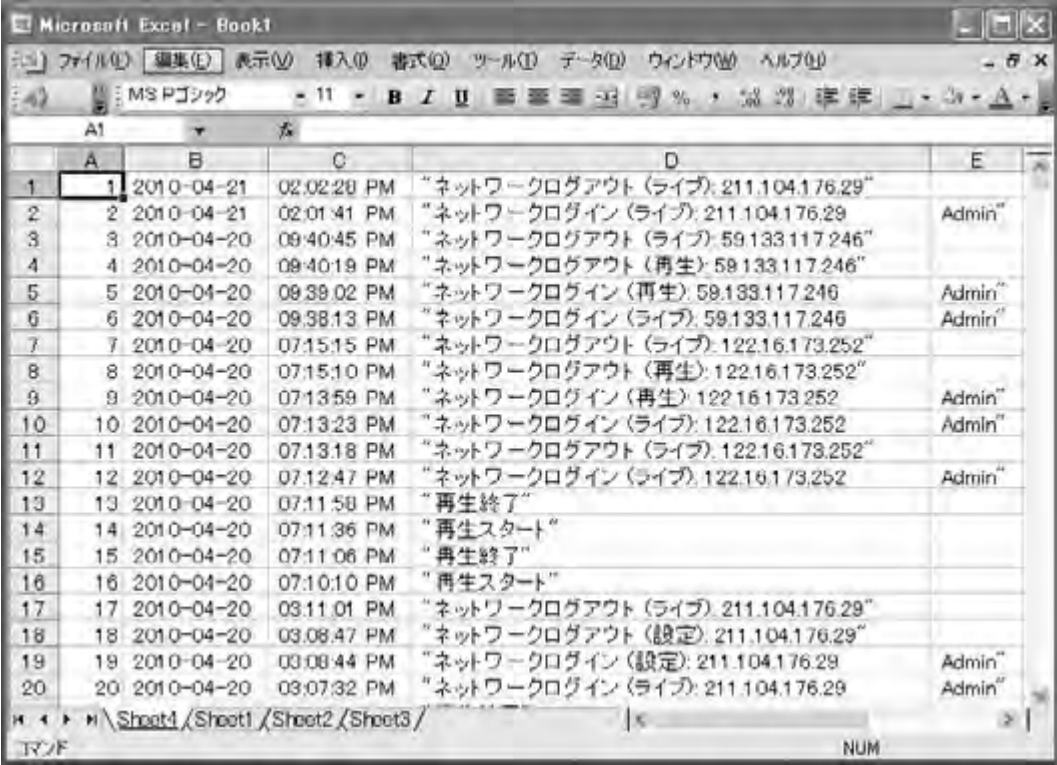
次へをクリックします。



新規ワークシートを指定してOKをクリックします。



UTF-8で正しく読み込むことが出来ます。




注意：説明はExcel2003でUTF-8を読み込む手順になりますが環境によって正常に読み込めない場合があります。別途UTF-8から文字コード変換するソフトウェアなどを使用してください。

4-2. デバイス

デバイスメニューでは、カメラ、音声、アラーム、コントローラー、およびRS232 & RS485 (テキストイン／PTZ／キーボード) のデバイス設定オプションを選択できます。

4-2-1. MENU>デバイス>カメラ



カメラの入力接続が無い場合は、チャンネル行のチェックボックスをチェックしない状態で画面の表示を無くすることが出来ます。タイトル欄のを押すとバーチャルキーボードを使用してカメラタイトルを変更することが出来ます。色の設定ボタンを押すと、明るさ・対比(コントラスト)・濃さ・色合いをそれぞれ±15段階で調整出来ます。



PTZ コントロール

PTZカメラが接続されたチャンネルを選んで下さい。マウスの右クリックにより、プロトコルメニューから接続するPTZカメラのプロトコルを選択します。
注意：PTZは1画面モードのみで動作制御することができます。

PTZを制御するには、マウスを使用して画面上のアイコンをクリックするかフロントキー、IRリモートコントローラーから以下の機能割当のあるボタンを押して下さい。

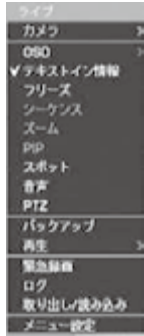
| | | |
|---|---|-------------|
|  |  | ズームアウト |
| |  | ズームイン |
| |  | 近距離で焦点を合わせる |
| |  | 遠距離で焦点を合わせる |
| |  | プリセット保存 |
| |  | プリセット呼出 |

PTZカメラを動かす場合は画面の各方向にある“△”をクリックします。また、その他の機能についてはアイコンを選択して操作して下さい。

PTZコンテクシャルメニュー

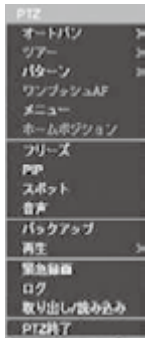
PTZコンテクシャルメニューは、PTZ画面でコントロールパネルのメニューボタンを押すかマウスを右クリックすることで表示されます。

- ①ライブコンテクシャルメニューのPTZを選択します。



- ②選択可能なPTZカメラのリスティングメニューが表示されます。
操作したいPTZカメラを選択します。

- ③PTZ画面になります。



- ④MENUボタンを押すか、マウスをクリックすることでPTZコンテクシャルメニューが表示されます。



デバイス>カメラでPELCO-D (N)を選択中の場合に限りOSDメニュー操作が行えます。



上下左右ボタンまたはマウスカーソルの▲▼で項目を移動し、▶◀ボタンで選択解除できます。



マスク設定

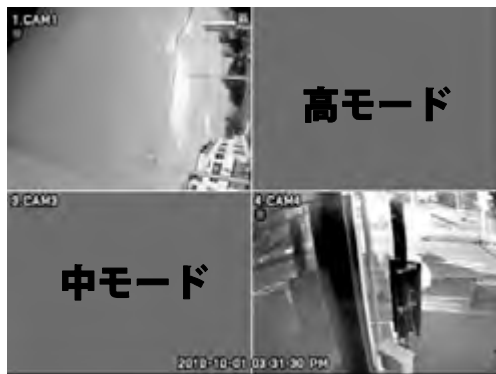
マスク設定は、モニター上のプライバシーを許容します。カバートがセットされていると、ライブイメージは表示されません。マスクはカメラによって曜日、時間、モードをスケジュール出来ます。Adminでログイン時、マスクは解除されて表示されます。ログアウト中はマスクモードに従って動作します。ビデオロスアイコンはマスクモードに依存せず表示されます。

中モード：スクリーン上にビデオ画像が表示されていなくても、OSDはスクリーン上に残ります。

高モード：ビデオ画像またはOSDのどちらもスクリーン上に表示されません。

注意： マスク 設定は録画データには影響しません。モニターの状態のみが変更されます。マスク設定でライブイメージを隠しても、そのカメラチャンネルが音声を有効にしている場合、その音声のリスニングを止めることは出来ません。表示のみに対して有効な機能です。マスク設定中のチャンネルで、Webモニタリングからの表示時はチャンネル映像が黒くなります。HDxViewerからの表示時は非活性化とステータスウィンドウにログ表示され、チャンネルを表示することが出来なくなります。

■ライブ映像



■Webビューワー



■HDxビューワー



4-2-2. MENU>デバイス>音声



音声録画のために、音声を選択して下さい。

MIC INチャンネルはプリアンプによる音量調節機能を備えており最小1～最大99(初期値50)の範囲で設定ができます。LINE INチャンネルに音量調節機能はありません。

4-2-3. MENU>デバイス>アラーム



アラーム継続時間：5秒から10分までのアラーム起動時間をセットします。

スケジュールからアラーム操作スケジュールの選択をします。アラームは日、時間、モード、入力(カメラ)の設定が出来ます。



を押してアラームを選択し、アラーム起動と共にBuzzerをセットして下さい。

アラームモード

ON：指定した開始～終了までアラームをONにします。

OFF：指定した開始～終了までアラームをOFFにします。

イベント：指定した形式のイベントを発生します。

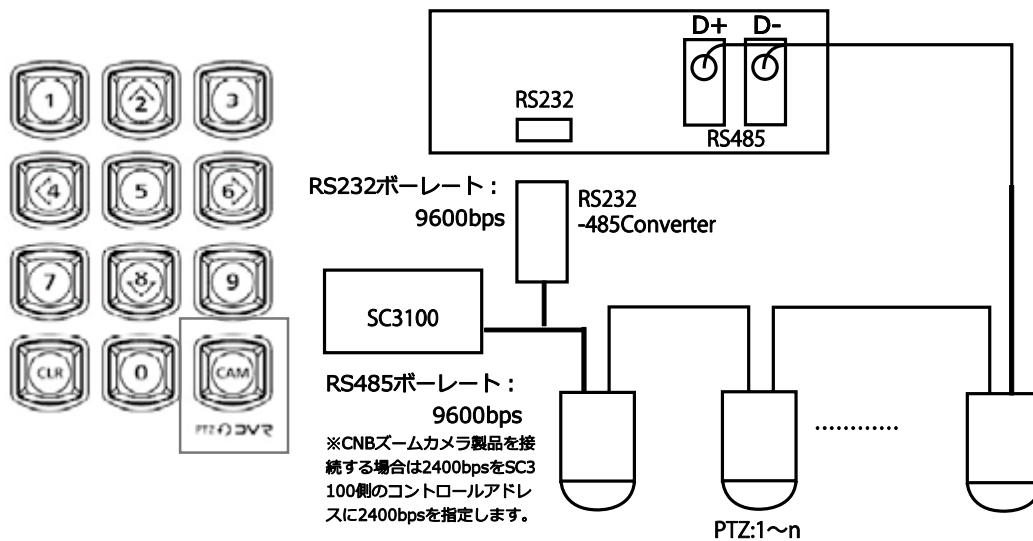
ただし、同一時間帯で異なるモードが指定された場合既に動作しているモードが優先となりますので、ご注意ください。

4-2-4. MENU>デバイス>コントローラー



リストからキーボードコントローラーを選択するためにを押すかマウスでクリックして下さい。別売のCNB-SC3100キーボードコントローラーを使用するためには、コントローラーモデルに“SC3100”を指定します。1台のキーボードコントローラーから異なったIDを割り当てても、複数のDVRを操作することは出来ません。“SC3100”は1台のDVR操作しか制御することは出来ません。SC3100コントローラーとしての接続は、9600bps、データ8bit、ストップビット1bit、パリティ無で用途がコントローラーの指定がMENU>デバイス>RS232&RS485に必要です。

システム接続 (RS485をキーボード設定する場合のPTZ接続方法)



P67. イベントPTZ機能を使用する場合、下記4-2-5で用途をPTZ定義した「いずれかのRS232&RS485チャンネル」が必要です。ファームウェア1.7.0からRS232でのコントローラー使用に対応しました。ネットワークからのPTZ操作、ローカルでのSC3100からのPTZ操作、DVR操作を行うためには上図のように接続します。SC3100でコントローラーモードとPTZモードを切り換えるには上左図のPTZ・DVRボタンを長押し（約2秒間）します。ピッとブザー音がしてモード遷移します。上図接続で動作させるには、SC3100のファームウェアが1.12以上である必要があります。詳細はSC3100取扱説明書をご覧ください。

4-2-5. MENU>デバイス>RS232 & RS485



各ポートのデバイスを選択するために☐を押すかマウスでクリックして下さい。

RS232：Text-In(テキストイン)デバイス、PTZ、キーボードコントローラーを指定します。

RS485：Text-In(テキストイン)デバイス、PTZ、キーボードコントローラーを指定します。

注意：PTZ、キーボード、コントローラー、テキストインデバイスは排他利用になります。一つのポートから同時に機能を指定して使用することは出来ません。

排他利用の制約により、「RS232でテキストイン・RS485でコントローラー」を使用するには、DVRからのPTZ制御やネットワーク接続越しでのPTZ制御が使用できないことが制約になります。

4-3. ディスプレイ

ディスプレイメニューから、OSDとモニターの選択のための設定オプションを表示します。

4-3-1. MENU>ディスプレイ>表示



言語：システム言語を選択して下さい。

☐を押して、利用可能な言語オプションを探して下さい。

ステータスバー消去：システムを使用しない時は、ステータスバーを隠すためにOn/Offと時間を選択して下さい。

表示位置：☐を使用して、表示位置を設定して下さい。
フリーズ：フリーズモードの時、フィールドまたはフレーム形式で画像を表示します。



表示レイアウト：映像入力(カメラ)表示の変更、または再設定が可能です。
表示レイアウトで表示位置番号とカメラCH番号を異なる割付("1"に"10.CAM10"のようにした時)とした場合、ローカルモニターでは1番の表示位置にCAM10が表示されます。これは分割画面に変えても1番の位置はCAM10になるということです。
ただし、遠隔表示の位置は変わりませんので、ご注意ください。



様々な解像度オプションは異なったタイプのモニターにもご利用可能です。VGAメニューからモニターの解像度を選択して下さい。




接続しているVGAモニターの表示可能な解像度を説明書で確認してから選択を変更して下さい。
表示出来ない画面モードを選択すると、モニターがサスペンドモードになったり、故障する恐れがあります。
表示できない画面モードを選択してしまってVGAモニターが表示範囲外(動作周波数範囲外)になっても、変更した画面モードを確認操作できなければ、一定時間経過で元の画面モードに復帰します。

PIPメニューから、PIP(ピクチャーインピクチャー)サイズと表示位置を選択できます。
ご希望のPIP表示のサイズと位置を選択して下さい。

4-3-2. MENU>ディスプレイ>メイン・スポット



イベントポップアップ：チェックした状態でイベントが生じると、フルスクリーンでカメラ画像が約1分間ポップアップし元の表示状態に復帰します。
シーケンシャル表示からイベントポップアップが複数のチャンネルで発生した場合は、最初の単画面イベントポップアップから4分割画面表示に切り替わり、イベントの発生量に応じて4/8/16CHと分割表示数が増えていきます(4ch機種の場合は4分割が最大分割数です。一度発生したチャンネルが再びイベントを生じても表示分割数はそれ以上増えません。)

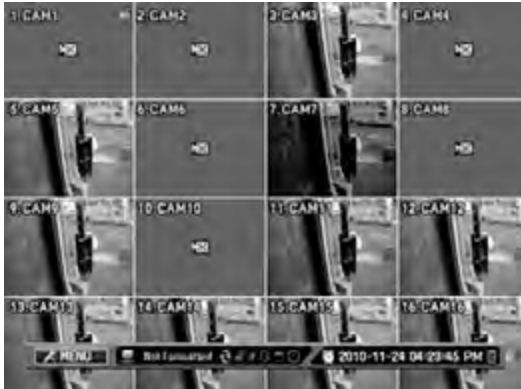
順に最新のイベントポップアップが表示されます。イベントポップアップが終了すると逆順で分割画面より消えていきます。一番最新(最後)のイベントポップアップが終了すると、そのチャンネルでシーケンシャル表示は自動的に解除され、イベントのあったチャンネルを表示し続けます。シーケンシャル表示動作は自動再開始されませんので、手動操作でシーケンシャル表示を再実行しなければなりません。分割画面からイベントポップアップした場合には、シーケンシャル表示と同じ動作経過後に、元の分割表示に復帰します。イベントポップアップ中のアイコン表示は  で表示されます。

シーケンス間隔：切替間隔モードでカメラの時間間隔を設定して下さい。この設定はイベントポップアップの切替時間ではなくシーケンシャル表示時の切替時間になります。



イベントポップアップ：イベントが生じると、スポットモニターにフルスクリーンでカメラ画像がポップアップします。SPOTボタン操作時に、マルチカメラ選択されたSPOTチャンネルを指定して‘シーケンス’を選択した場合は、指定したマルチカメラの表示をシーケンス間隔周期で順次切り換えて表示しますが、SPOTモニターでイベントポップアップが発生すると、画面自動切換は自動的に解除され最後にイベントポップアップした入力チャンネルの表示に変わります。再度、画面自動切換で表示するためにはSPOTボタンを操作して‘シーケンス切換’を指定し直す操作が必要です。

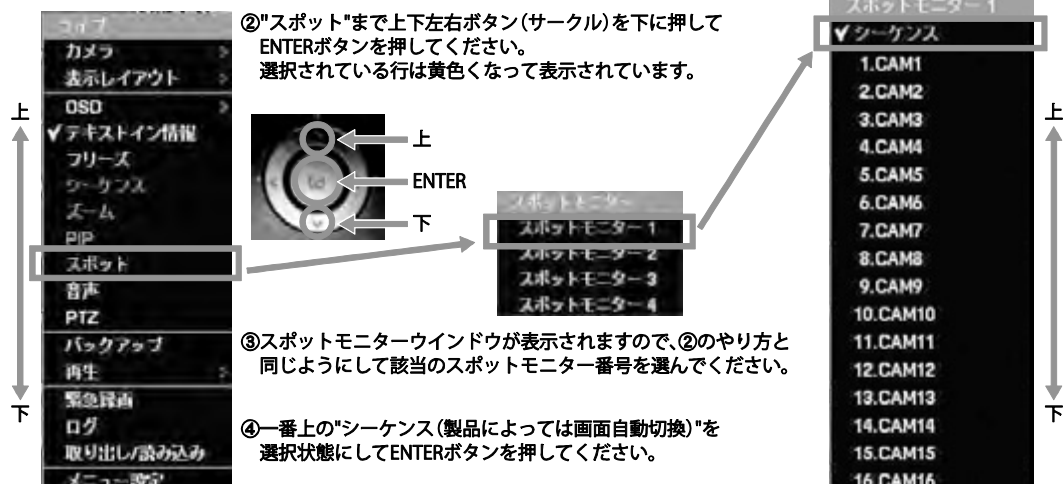
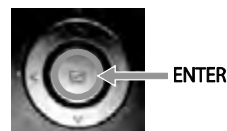
シーケンス間隔：切換間隔を設定するために、スポットモニターからカメラの時間間隔を設定して下さい。スポットモニターからカメラ表示オプションを選択して下さい。スポットアウトはフルで連続したカメラ表示をサポートします。ボタンを押して、スポットモニターからシングルまたはマルチカメラを切換表示設定して下さい。マルチカメラを選択しても分割画面で表示されるのではなくシーケンシャル表示で順番にスポットアウトからシーケンス間隔(秒)で指定した秒数ごとに順次切り換わります。



以下の作業手順でスポットモニターにシーケンス(順次転換)表示することができます。

左画面のようなMENUに入っていない状態で始めて下さい。

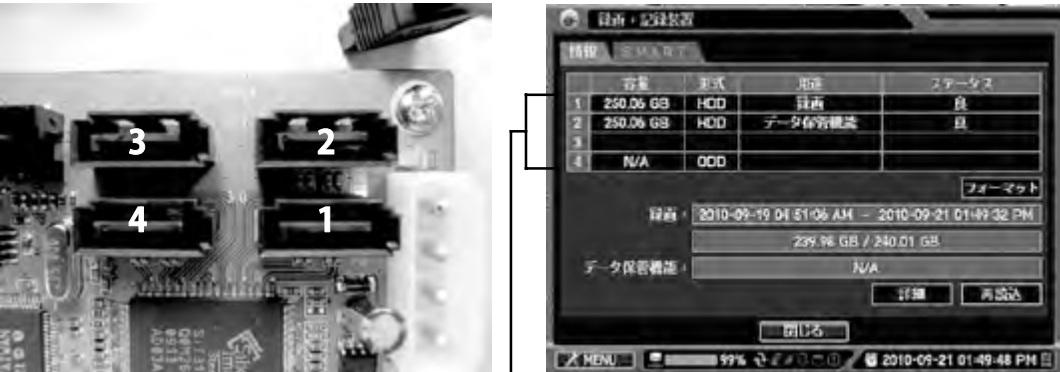
①ENTERボタン(サークルの中央)を押してコンテクシャルメニューを表示します。



4-4. 録画

録画メニューで録画設定オプションから記録装置、録画また録画ツールの選択ができます。

4-4-1. MENU＞録画＞記録装置



基板上の1～4に対応しています。

記録装置では、容量、形式、用途、ステータスなどの保存状態のインストール／接続を表示します。

フォーマット：フォーマットを押してHDDフォーマットを選択して下さい。

録画：録画期間とHDDに保存したデータを表示します。

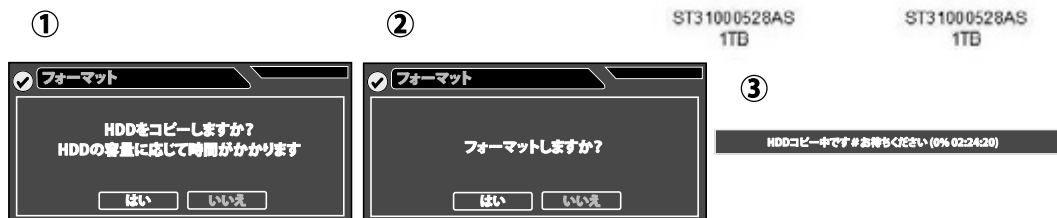
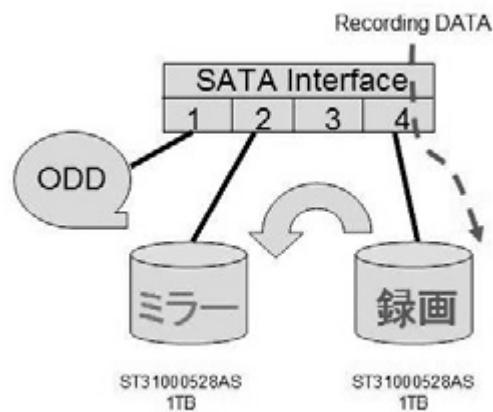
ミラーリング（HDE2412／HDS4824 の2機種はミラーリング機能は実装されておりません）：
ミラーリング機能には、2HDDが必要です。ミラーリングHDDは録画HDDと同じ容量である
必要があります。同一型番、同一仕様のHDDを使用しなければなりません。ミラーリング使用
オプションを選択して下さい。そして、用途で録画HDDとミラーリングHDDを選択して下さい。
全てのオプションを入力できたら、**フォーマット**をクリックして、ミラーリングを開始させて下さい。
ミラーリング使用にチェックを入れない（“使用しない”またはHDE2412／HDS4824の場合）
時には、搭載HDDが個別に録画用途となり、1 台目のHDDの記録容量が一杯になると、自動的に
2台目のHDDに録画が切り替り継続します。3台目のHDDをDVRに搭載した場合はミラーリングを
設定できません。



ミラーリング動作中にHDDに異常が発生するとシステム履歴に“ミラーリング off”が記録されます。MENU>イベント>システム>遠隔通知でHDDエラーやS.M.A.R.Tが有効になっているとエラーの内容がEメールで通知されます。

故障していないもう一つのHDDで録画は継続して動作しますが、早い時点でHDDの交換が必要です。HDxのミラーリングはソフトウェア方式でホットスワップによるHDD交換に対応しておりませんので、MENU>シャットダウンでシャットダウン操作を行い電源をOFFにしてから、HDD交換を行う必要があります。


故障したHDDを新品と交換して再通電し起動したら録画HDDとミラーリングHDDを選択してミラーリングを始動させて下さい。



ミラーリングを使用するが、ミラー内容をコピーする必要がない場合は①の表示で **いいえ** として②の表示で **はい** とするとHDDコピーを行わないでミラーリングフォーマットが実行されます。

ミラーリングフォーマット開始時に録画HDDとミラーリングHDDの間で、ミラー内容をコピーすると録画内容の同期をとることが出来ます。

ミラーリング運用中にHDDに異常が生じ、それを復旧する際に、元データの残っているHDDを改めて新しく追加したHDDでミラーリングを行う時に、元データを再同期することでミラーの再構築が可能です。



データ保管機能をミラーリングと一緒に使用することはできません。
フォーマット時の用途指定でデータ保管機能指定を解除してミラーリングを指定してフォーマット後でなければ機能を使用できません。



S.M.A.R.T.は、温度を含むHDD状態を表示しています。アップデートをクリックすると最新状態が分かります。この画面ではHDD状態を表示確認するのみです。遠隔通知やコールバックで状態通知を行うには、MENU>イベント>システムでの別途設定が必要になります。

またS.M.A.R.T.を利用してHDDの状態を調べてBuzzerを鳴らしたり、アラーム出力を利用してランプを点灯させたりする場合も同様に、アラームの別途設定が必要になります。

4-4-2. MENU>録画>録画



録画では、上書き、解像、スピード、録画品質などを含む一般的な録画オプションを選択できます。

上書き：上書きを選択しますと、HDDのデータがいっぱいになるとHDDデータを上書きします。

音声録画：音声録画を選択して、オーディオと共にビデオ画像を録画します。

緊急録画：フロントのE.RECボタンが押された時に緊急録画します。チェックがないと有効になりません。

解像度：録画解像度を選択して下さい。

『HDE2412/HDS4824の2機種では4個のカメラグループ(カメラCH 1~4, 5~8, 9~12, 13~16)の単位で解像度を設定することができます』

自動消去(日)：自動消去をonにすると、範囲を定めた日以外の古いデータは自動的に削除されます。上書きで録画可能な最大録画期間よりも指定した範囲日数が短い場合は範囲で定めた日数以上に録画期間が得られませんので、ご注意ください。

連続録画：連続録画のipsを設定して下さい。

イベント録画：イベント録画のipsを設定して下さい。

緊急録画：緊急録画モードのipsを設定して下さい。

注意：CIF以外でも30ipsを入力できますが、HalfD1やD1の場合は録画ipsが減り、それに伴い実際に動作する時のipsは表示に満たない場合がありますが、これは本製品の仕様となりますのでご了承ください。実際に録画しているipsはMENU>録画>その他の録画ステータスから確認できます。



イベントからイベント前録画時間、緊急録画時間、イベント録画時間を設定できます。

イベント前録画時間：イベント前録画時間を設定すると、イベントが起こる前の最大30秒間の映像を録画することができます。

緊急録画時間：緊急録画の際に5秒から30分、または無制限を選択する事によって録画持続時間を設定することができます。

イベント録画時間：イベント後に最大30分間の録画持続時間が設定できます。



スケジュールから、詳細指定された録画スケジュールは、日付、時間、モード、カメラ、録画オプションから設定できます。(モード指定[T]連続録画、[E]イベント録画となります)

新しいスケジュールを加えるために[+]を押して下さい。既存のスケジュールを取り除くには[-]を押して次に行って下さい。

初期設定値に戻す：初期設定値に戻すをチェックする為に、録画メニューからメイン録画設定を行って下さい。

【個別チャンネルの録画ipsを設定する方法】

HDF1212DVはP.12仕様表で120ips@CIF、60ips@HalfD1、30ips@D1となっています。

HDF1212DVは4カメラで合計ipsをシェアします。

MENU>録画：スケジュール設定で

| 曜日 | 開始-終了 | モード | カメラ | 設定(連続録画/イベント録画) |
|-----|-------------|---------|-----|-----------------|
| ALL | 00:00-24:00 | 連続・イベント | 1 | 30fps/30fps |
| ALL | 00:00-24:00 | 録画しない | 2-4 | 30fps/30fps |

CH2~4のカメラ入力を“録画しない”ことに
してブロック内の全ipsをCH1に
割り当てて30ips@D1録画を実現します。

「D1設定では合計30ipsでCH1:8ips/CH2:8ips/CH3:7ips/CH4:7ips」

「HalfD1設定では合計60ipsでCH1:15ips/CH2:15ips/CH3:30ips/CH4:30ips」

「CIF設定では合計120ipsでCH1:30ips/CH2:30ips/CH3:30ips/CH4:30ips」となります。

※各チャンネルの最大ips値は30になります。

このようにスケジュール設定から個別チャンネルに設定すると録画ipsを割り振ることで任意ips設定ができます。ただし、D1やHalfD1で録画ブロック内で特定のチャンネルに最大値30ipsを割り付けた場合には、録画処理と遠隔伝送処理に同一のコーデックチップを共有で使うハードウェアのため、録画に加えて更にネットワーク接続するとローカル録画ipsが実設定したips数値よりも低下するという状況(ハードウェア仕様による制約動作)が発生する場合がありますのでご注意ください。以下は、録画ipsをシェア動作するブロック範囲とそのブロック内で自動的に割り当てられたipsの状態、そのブロック内のipsを操作して割り当てを変更することができます。HDE2412DVでは8カメラで合計ipsをシェアしますが、4カメラipsが総合計ipsの半分を超えての設定は出来ません。

【HDS4848DV/HDE2424DV/HDF1212(DV/H)】

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 30 | 標準 | 0 |
| 2 | 30 | 標準 | 0 |
| 3 | 30 | 標準 | 0 |
| 4 | 30 | 標準 | 0 |

4カメラで合計120ipsをシェア

【HDS4824】16camera/240ips

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 15 | 標準 | × |
| 2 | 15 | 標準 | × |
| 3 | 15 | 標準 | × |
| 4 | 15 | 標準 | × |
| 5 | 15 | 標準 | × |
| 6 | 15 | 標準 | × |
| 7 | 15 | 標準 | × |
| 8 | 15 | 標準 | × |

8カメラで合計120ipsをシェア

【HDE2412】8camera/120ips

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 15 | 標準 | × |
| 2 | 15 | 標準 | × |
| 3 | 15 | 標準 | × |
| 4 | 15 | 標準 | × |
| 5 | 15 | 標準 | × |
| 6 | 15 | 標準 | × |
| 7 | 15 | 標準 | × |
| 8 | 15 | 標準 | × |

8カメラで合計120ipsをシェアしますが
1-4/60ips, 5-8/60ipsを超えられません。

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 15 | 標準 | 0 |
| 2 | 15 | 標準 | 0 |
| 3 | 15 | 標準 | 0 |
| 4 | 15 | 標準 | 0 |

4カメラで合計60ipsをシェア

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 8 | 標準 | × |
| 2 | 8 | 標準 | × |
| 3 | 8 | 標準 | × |
| 4 | 8 | 標準 | × |
| 5 | 7 | 標準 | × |
| 6 | 7 | 標準 | × |
| 7 | 7 | 標準 | × |
| 8 | 7 | 標準 | × |

8カメラで合計60ipsをシェア

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 8 | 標準 | × |
| 2 | 8 | 標準 | × |
| 3 | 7 | 標準 | × |
| 4 | 8 | 標準 | × |
| 5 | 8 | 標準 | × |
| 6 | 8 | 標準 | × |
| 7 | 7 | 標準 | × |
| 8 | 7 | 標準 | × |

8カメラで合計60ipsをシェアしますが
1-4/30ips, 5-8/30ipsを超えられません。

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 8 | 標準 | 0 |
| 2 | 8 | 標準 | 0 |
| 3 | 7 | 標準 | 0 |
| 4 | 7 | 標準 | 0 |

4カメラで合計30ipsをシェア

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 4 | 標準 | × |
| 2 | 4 | 標準 | × |
| 3 | 4 | 標準 | × |
| 4 | 4 | 標準 | × |
| 5 | 4 | 標準 | × |
| 6 | 4 | 標準 | × |
| 7 | 3 | 標準 | × |
| 8 | 3 | 標準 | × |

8カメラで合計30ipsをシェア

| カメラ | ips | 画質 | 音声 |
|------------|-----|----|----|
| 1, 2, 3, 4 | | | |
| 1 | 4 | 標準 | × |
| 2 | 4 | 標準 | × |
| 3 | 4 | 標準 | × |
| 4 | 3 | 標準 | × |
| 5 | 4 | 標準 | × |
| 6 | 4 | 標準 | × |
| 7 | 4 | 標準 | × |
| 8 | 3 | 標準 | × |

8カメラで合計30ipsをシェアしますが
1-4/15ips, 5-8/15ipsを超えられません。

4-4-3. MENU>録画>データ保管機能



データ保管機能では、スケジュール設定可能なデータアーカイビングを指定することができます。アーカイビングは録画元のHDDからデータ保管用に設定した下位HDDへ自動または手動でのデータバックアップを許可します。(HDE2412/HDS4824にはデータ保管機能は実装されておりません)

HDDやシステム異常による録画データの予想外な損失を防ぐことが出来ます。

データ保管機能を使用する：アーカイビングを使用する場合に選択します。

上書き：データ保管用に設定したHDDに上書き記録を行う場合に選択します。

上書きオプションを選択しなかった場合、HDDが一杯になった場合にはアーカイビングを停止します。

モード：リストから自動または手動が選択できます。



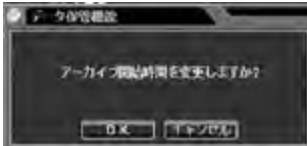
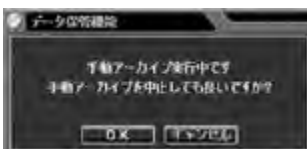
自動：自動アーカイビングを使用する場合に選択します。"スタート"にチェックをするか、"開始日時"を指定します。



手動：指定されたアーカイビングを行いたい場合に選択します。アーカイブを行いたい日付と時間のスケジュールを指定します。

注:HDDのいずれかが異常の場合にはアーカイビングは停止し、システムログにディスク異常として履歴が残ります。

欠陥のあったHDDは、録画・再生・データ保管のためにアクセスすることは出来ません。欠陥の状態でHDDが認識されない場合はNo HDDとなりますが、HDDが認識できる場合には読み取りのみでマウントされます。



データ保管機能をミラーリングと一緒に使用することは出来ません。フォーマット時の用途指定でミラーリング指定を解除してデータ保管機能を指定してフォーマット後でなければ機能を使用できません。

4-4-4. MENU>録画>その他



その他によって、HDD使用状態や、録画期間を計算できます。解像度、ips、カメラ台数、および品質を設定して[計算]ボタンを押すとインストールされたHDDのサイズによって録画期間が計算されます。GBサイズは、1日の録画に必要なHDDのサイズを示します。日また時間はインストールされたHDDサイズによって録画できる期間を示します。

注意：マニュアルでipsを変更できます。解像度の変更によってipsを変更する事は出来ません。

注意：各解像度のサイズー CIF:360X240、Half D1:720x240、D1:720x480

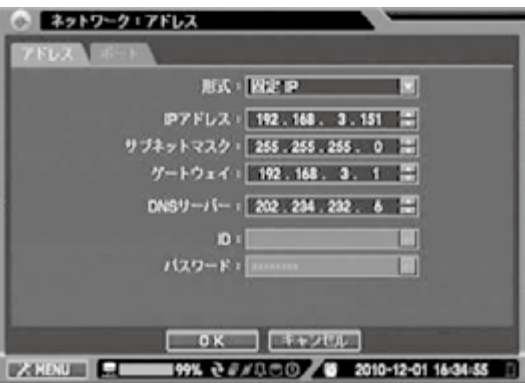


録画ステータスから、現在の録画オプションと状態を表示します。

4-5. ネットワーク

ネットワークメニューから、ネットワークアドレス、ダイナミックDNS、遠隔通知、および映像転送設定のネットワーク設定オプションをセットアップできます。

4-5-1. MENU>ネットワーク>アドレス



アドレスから、ネットワーク接続のために形式IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ またはDNSサーバーなどの情報を設定できます。

形式：固定またはDHCPのネットワークタイプを選んで下さい。

IPアドレス：[] ボタンを使用して、IPアドレスを入力して下さい。

サブネットマスク：[] ボタンを使用して、サブネットマスクを入力して下さい。

ゲートウェイ：[] ボタンを使用して、ゲートウェイを入力して下さい。

DNS：DNSサーバーのIPアドレスをセットアップして下さい。

ポート：システムへの外部アクセスのために適切なポート番号を選択して下さい。

- ーネットワークポート(デフォルト10101/tcp)：このポートはWebビューワーやHDxビューワーからの接続に必要です。データの伝送に使用されます。
- ーMobile Port(デフォルト10104/tcp)：このポートは別途iPhone-App Store/Andriod Marketで無償ダウンロード可能なiMON2アプリケーションからの3G/WiFi接続に使用します。データ伝送に使用されます。
- ーウェブポート(デフォルト80/tcp)：このポートはWebビューワーからのHTTP接続に使用されます。(ウェブポート範囲:80~32000/tcp)
- ーUPnPを使用する：UPnPは、パソコンに周辺機器を接続するときに動くプラグアンドプレイ(Plug and Play : PnP) をネットワークに拡張したもの。UPnP対応機器なら、新しくネットワークにつながったUPnP対応機器を検知し使えるように自動でセットアップされます。



UPnPを使用するには、ブロードバンドルーターがUPnP機能をサポートしていなければなりません。接続するブロードバンドルーターによって設定は異なりますので、詳細については、それぞれの製品に付属のマニュアルをご覧ください。

1.DHCP に設定した HDx DVR へのブロードバンドルーター内 DHCP サーバーに MAC アドレス固定が無い場合。

ネットワーク環境の再起動により HDx DVR の IP アドレスが変化した場合、HDx DVR 画面上に "UPnP 失敗 [No valid UPnP IGD]"



と表示して UPnP は失敗します。

この時「ネットワーク>アドレス>ポート UPnP を使用する ☒ UPnPを使用する」のチェックは外れた状態になっており再度設定が必要となります。このため遠隔設定の際に DHCP を利用する場合には、MAC アドレスによる割り当て IP アドレス値の手動固定がブロードバンドルーター内 DHCP サーバーに推奨とします。

2.DHCP に設定した HDx DVR へのブロードバンドルーター内 DHCP サーバーに MAC アドレス固定がある場合もしくは LAN 内 IP アドレスに変更が無かった場合。

通常に起動し UPnP に関するメッセージ表示は何もありません。
この時「ネットワーク>アドレス>ポート>UPnP を使用する ☒ UPnPを使用する」のチェックは有効のままの状態になっています。

3. 1.2. 何れの場合にも WAN 側 IP アドレスに変化があった場合

ダイナミック DNS 設定の更新状態によって DNS 名での HDx DVR へのアクセスは規定されます。(ダイナミック DNS の更新が行われるまでの間、DNS 名でのアクセスが滞る場合があります)

注意: デフォルトライブネットワークポートは10101/tcpですが、必要があれば1500から32000に変更することが出来ます。ポートナンバーを変更した後に、DVRは自動的に再起動します。
変更した場合、“再生”と“設定”のネットワークポートは自動的に設定値+1、設定値+2(例えば、ライブネットワークポートを10107とした場合は、再生が10108/tcp、設定が10109/tcpに割り当てられます。個別に設定できませんので、連続した3ポートを使用できる先頭のライブネットワークポートを指定して下さい)

注意: ユーザーはネットワーク接続のためにライブ・再生・設定の連続した3ポートとMobile(iPhone Viewer)ウェブの遠隔接続用ポート(合計5ポート)をルーターや類似装置で開ける必要があります。
注意: DNSを使用するためには、DNSアドレスを入力して下さい。

DNSサーバーを省略することは出来ません。お使いのブロードバンドルーターがDNS PROXY機能を持っている場合には、ブロードバンドルーターのLAN側IPアドレス値を指定すれば良いですが、無い場合にはISP(インターネットサービスプロバイダー)から指定されているDNSサーバーアドレスを登録して下さい。

4-5-2. MENU>ネットワーク>ダイナミックDNS



DDNS サービスは DVR 1 台につき 1 アカウントを無償でご利用いただけますが、機能を常時保証するものではありません。
確実に安定してサービスをお求めの場合には、ISP 提供の固定 IP アドレスサービス (IP1) 等をご利用ください。

ダイナミックDNSを使用する: ダイナミックDNSサービスを利用する場合はチェックボックスにチェックを入れて下さい。

DDNSサーバー: autoipset.com(固定)

ホスト名: ダイナミックIPまたはスタティックIPアドレスを関連付けるホスト名を入力して下さい。
(アルファベットまたは数字を使用。最大32文字まで)

ID情報使用する: autoipset.comを通してホスト名を管理する場合はチェックボックスにチェックを入れて下さい。

ID/パスワード: autoipset.comに登録したIDとパスワードを指定します。

アップデート: 登録された内容でアップデートします。

注意: autoipset.comでの登録、および管理の詳細に関してはAPPENDIXをご覧ください。

- ・DDNSサーバーへの情報更新周期は起動時点を基準に30分毎に更新します。
- ・DDNSサーバーへの情報更新が失敗した場合は10分毎に再試行します。

システム履歴のDDNSに'netfail'と'nohost'が表示される場合の動作の状況。

netfail: ネットワーク設定 (DVRだけでなく通信経路上の機器・設定) が間違いなどの事由でDDNSサーバーへの接続が出来ない場合。

nohost: DDNSサーバーへの接続は出来るが何らかの事由でホスト名が探せなかった場合。
(ホスト名が間違っているなどの場合)

autoipset.comを使用する上で更新パケットが使用するLAN→WANへの80/tcpをフィルタリング設定してはなりません。このポートを塞いだ場合、autoipset.comのアップデートに失敗します。

WEBモニタリングで使用するポート番号とautoipset.com更新に使用するポートは同一ではありません。

4-5-3. MENU>ネットワーク>遠隔通知



コールバックタブから、ローカルシステムで検出されたイベントを、同時に多数のクライアントサイト(リモートサイト)に通知できるように、リモートサイトのIPアドレスを設定して下さい。

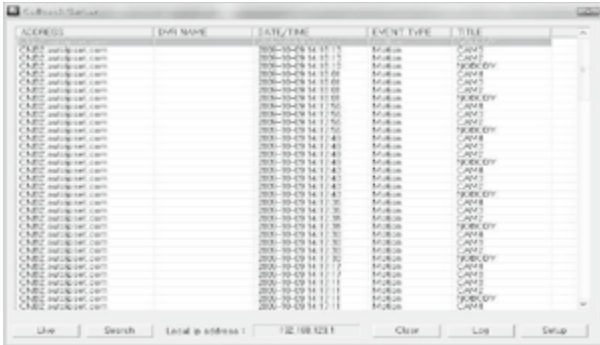
を押しますと、バーチャルキーボードがポップアップします。

コールバック間隔：イベント間でリモートサイトに送る時間間隔を設定するためにコールバック間隔を選択して下さい。

ポート：コールバックサーバーを導入したリモートサイトにDVRのイベント情報を送るために、UDPポート番号を設定する。(デフォルト：10110/udp)

注意：間隔が30秒として設定される場合、最初のイベントがリモートサイトに送られてから30秒間は他のイベントが発生してもアクションはありません。次の間隔に移った時に新たなイベントが生じた場合は、そのイベントがリモートサイトに送られます。

通知機能を使用するためのコールバックサーバープログラムはHDxビューワーのインストール時に同時インストールされます。



送信されるEメールの件名は固定設定で"DVR Eメール通知"となります。
送信者名は、システム:情報で設定したDVR名(DVR名が未設定の場合は"DVR")となります。

【メールヘッダーの例】

From: DVR<sendmail@gmail.com>
To: <test@test.org>
Subject: =?utf-8?B?RFZSIExjg6Hjg7zjg6vpgJrnn6U=?=
Date: Sun,27 Oct 2009 02:02:48 +0900
X-Mailer: Digital Video Recorder
Message-ID: <4c0b.1da5.fffff7a@mx.google.com>
Mime-Version: 1.0

Eメールから、イベントはテキストメッセージで登録したEメールアドレスに通知します。

Eメール間隔：メールでリモートサイトに送られる重要なイベント時間の間隔を設定するためにEメール間隔を選択します。

受信アドレス：受取人のEメールアドレスを入力下さい。

注意：間隔が30秒として設定される場合、最初のイベントがリモートサイトに送られてから30秒間は他のイベントが発生してもアクションはありません。次の間隔に移った時に新たなイベントが生じた場合は、そのイベントがリモートサイトに送られます。

SMTPサーバー：バーチャルキーボードを使用して、SMTPサーバーを入力して下さい。

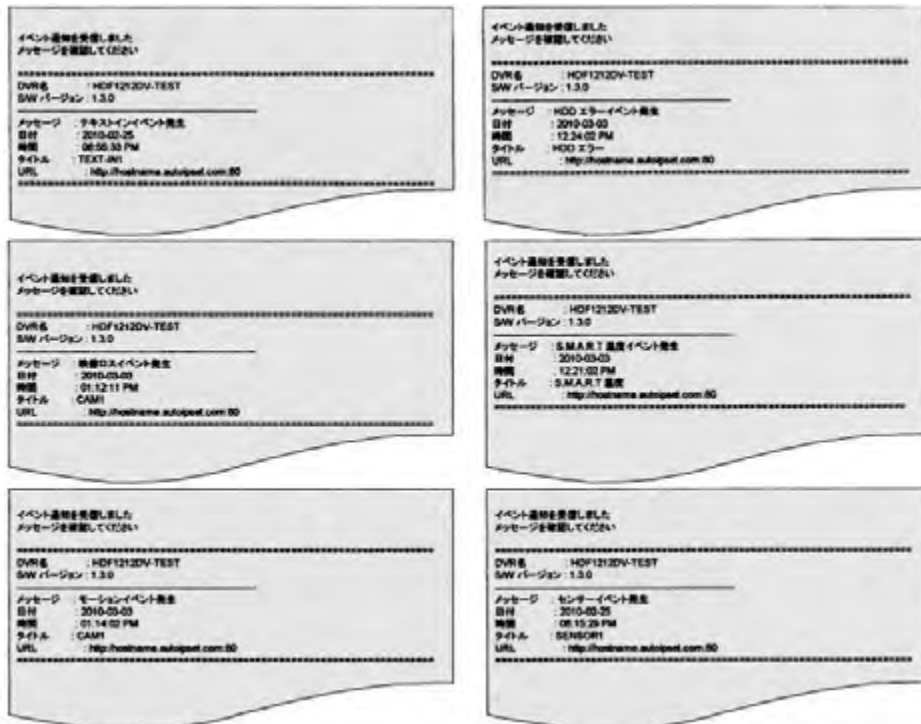
(最大32文字まで。@やFQDN入力可能)

システム管理からSMTPサーバー情報を得ることができます。

送信アドレス：emailを送るフォームにアドレス/名前を入力して下さい。

ID：AUTH-LOGINで使用するIDを入力して下さい。(最大32文字まで。@を含むFQDN入力には対応しません)

パスワード：AUTH-LOGINで使用するパスワードを入力して下さい。(最大16文字まで。入力制限はありません)



遠隔通知先として複数の送信先アドレスを指定すると同報通知となります。



SMTPサーバ設定は1サーバ設定のみになります。
※複数SMTPサーバを登録することは出来ません。

4-5-4. MENU>ネットワーク>映像配信



映像配信設定から、ipsと帯域幅制限でネットワークを制御できます。

注意：ネットワーク転送の最大ipsは16ch-DVRの時120ips、8ch-DVRの時60ips、4ch-DVRの時30ipsに制限されます。

また、ライブ選択しているカメラchは、ネットワーク接続しているときにハードウェアの制約により録画ipsが更に低下します。

4-6. イベント

イベントメニューから、センサー、モーション、ビデオロス、テキスト、システムと連動するアクションを設定できます。イベントログは、DVR本体内のHDDに記録されます。HDDを交換しますと履歴情報を失う場合がありますのでご了承ください。

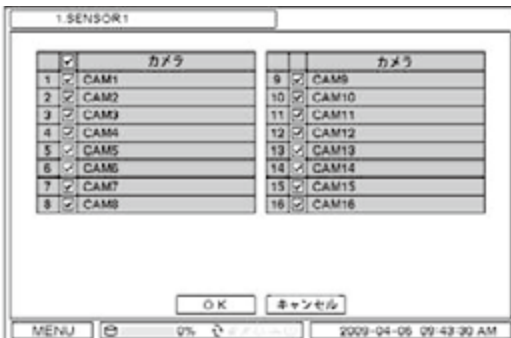
4-6-1. MENU>イベント>センサー



センサータブから、各センサーの動作形式を選択できます。☐ ボタンを使用して、センサー形式を選択して下さい。

NC：通常時に閉じている(導通)接点

NO：通常時に開いている(遮断)接点



録画タブから、各センサーはシングルとマルチカメラに連動できます。

☐ を押して、センサーに連動するカメラを選択して下さい。



アラームタブから、各センサーはシングルとマルチアラームに連動できます。

☐ を押して、センサーと連動するアラームを選択して下さい。



遠隔通知タブから、各センサーはシングルとマルチコールバックまたはEメール送信に連動できます。

☐ を押してコールバックまたはEメールアドレスに入って、センサーに連動させる項目にチェックをして下さい。

MENU>イベント>センサー>アラーム>センサー1（センサーシャットダウン機能）

ご注意：電源投入による起動後30秒間はセンサーシャットダウンは動作しません。



アラームタブからSENSOR1の場合のみセンサーシャットダウン機能が設定できます。

アラーム内容には“S”で表示されます。

SENSOR1以外のセンサー入力からは、Shutdownを選択することが出来ません。

この設定を有効にした状態で、SENSOR1イベントが発生すると、待機時間は無く直ぐにシャットダウンが実行されます。



この時、画面には MENU>シャットダウン を操作した場合と同じく画面に



と表示されます。

注意：本製品はシャットダウン操作を行うとアクセスは停止しますが、ハードディスク（HDD）自体の回転は継続します。回転は停止しません。

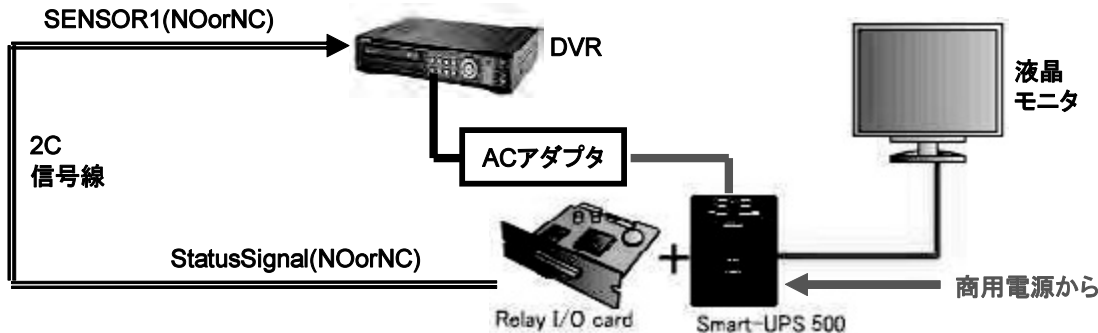
シャットダウン操作により、録画データの書き込みや表面検査などのHDDへのアクセスが停止するので電源OFFによってHDD内部の記録媒体を損傷する可能性を避けることが出来るようになります。



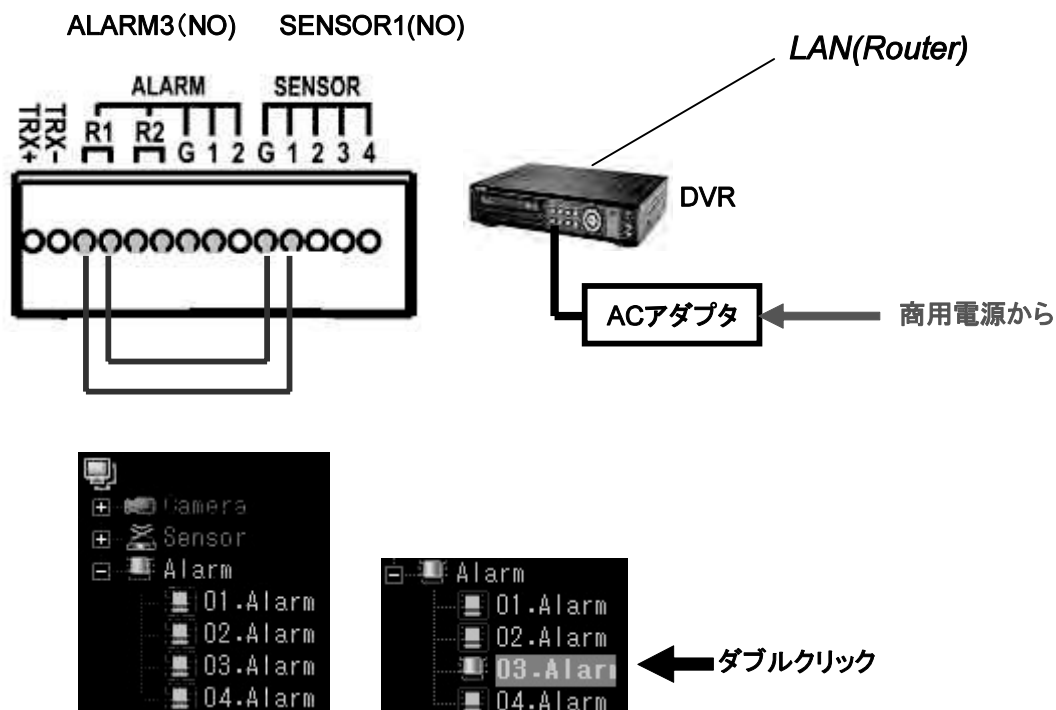
シャットダウン操作を行わずにHDDアクセスがある状態で電源をOFFにしますと、HDDの書き込みキャッシュに一時記憶されていたデータが記録媒体に書き込まれないなどの状態が発生し、HDD上のデータとDVRシステムの持つ情報に不整合が起こり、場合によりましてはHDDの故障原因となったり、起動時にHDDエラーを起こす要因となる場合があります。

UPS利用例

本製品はシャットダウン操作を行ってもコンセントが抜かれるか商用電源が切断されない限りは、HDD回転は継続し、画面も表示状態を継続します。UPSのバッテリー容量にはご注意ください。なお、UPSにつきましてはUPSメーカーのサポート窓口にお問合せください。



遠隔シャットダウン利用例

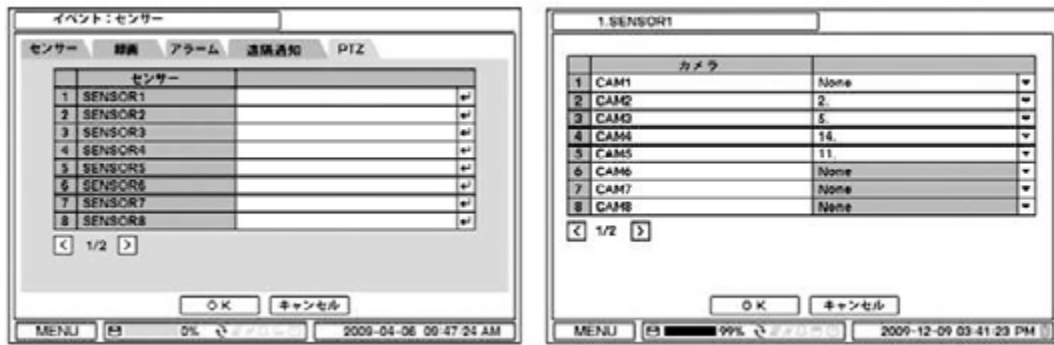


HDx Viewerで本機に接続して03.Alarmアイコンをダブルクリックして点灯状態にすると遠隔先のDVRでアラーム3（R1）が有効（接点閉）となり、SENSOR1が反応します。この操作でSENSOR1にShutdownが設定されているとDVRにシャットダウンが発生します。

HDx Viewerの表示上はログメッセージにて「（DVR名）サーバーと接続終了されました（サーバー終了）」となって画面上からの接続が断たれます。

ただし遠隔シャットダウン後、実際に停電が発生し復電した場合は自動的に起動が行われますが、停電が起こらなかった場合にはHDx DVRの設置場所でACアダプタコンセントの抜き差しによる電源再投入(商用コンセントからのコンセントプラグ抜き差し)が必要になります。

もし遠隔にて電源投入を行いたい場合には、他社より販売されておりますIPネットワークから電源をON/OFFできる機器などを利用すれば遠隔操作での電源再投入が可能です。弊社機器のみでの電源再投入は出来ませんのでご注意ください。



プリセット機能により、イベントからPTZカメラのプリセット呼出を行うことができます。イベントが生じると、PTZは所定のプリセット位置に動きます。

上記メニューのように、Sensor1はカメラ2、3、4、および5と連動するように設定します。

PTZをクリックしますと、PTZカメラと呼出をするプリセット番号(1~16までが指定可能、PTZカメラの全てのプリセットが使用できるのではありません)を設定できます。

PTZイベントはプリセットと関連し、センサー／モーション／ビデオロス イベントとのみ連動することができます。マルチイベントがカメラと同時に生じる場合、センサー>モーション>ビデオロスの順にイベントが優先されます。

4-6-2. MENU>イベント>モーション



感度: 低から最高までモーション感度を選択して下さい。

表示: モーションが検出された時のスクリーン上のモーションゾーンのOnまたはOffを表示します。

範囲: モーション検出のために領域を設定して下さい。

範囲のセットアップを押して、モーション検出の領域を定めて下さい。

ブロックは、モーション検出のための領域を示します。表示をOnにすると動きがあったブロックがライブ画面で白く点滅します。点滅の有無がモーション録画していることを表すものではありません。

ブロック選択: 矢印キーを使用して、ボックスを動かして下さい。個々のブロックを選択して、モーションゾーンを設定して下さい。数字キーを使用してブロックを選択または解除して下さい。(マウスを使用する際には、左のボタンを使用して下さい)

ブロッククリア: ボックスの中のブロックを全て選択しない。

全範囲選択: 画面上全体のブロックを選択する。

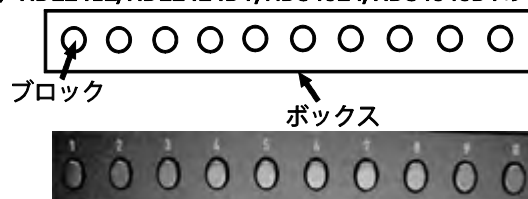
全消去: 画面上全体のブロックを選択しない。

例) HDF1212DVのブロック選択の場合




ブロックは左側から1・2・3・4の各数字ボタンに対応しています。

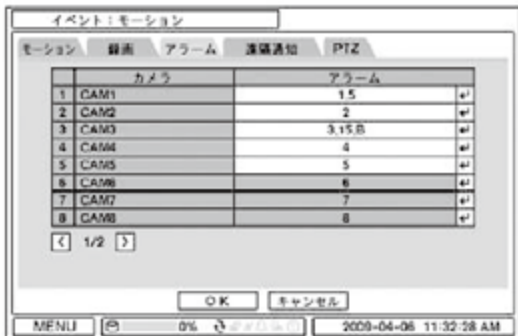
例) HDE2412/HDE2424DV/HDS4824/HDS4848DVの場合




ブロックは左側から各数字ボタンに対応しています。




記録から、各カメラは他のカメラからシングルとマルチモーション検出とともに連動できます。モーション検出と共に連動する為に  を押してカメラを選択します。



アラームから、各カメラとモーションはシングルとマルチアラームに連動できます。モーションイベントの為にカメラと連動するために  を押して、アラームを選択します。



遠隔通知では、各モーションカメラはシングルとマルチコールバックまたはメール送信に連動できます。モーションイベントのためのカメラを連動するために  を押してコールバックかEメールアドレスを入力して下さい。



プリセット機能により、PTZはモーションイベントからPTZカメラのプリセット呼出に連動できます。モーションが検出されるとPTZは所定のプリセット位置に動きます。

4-6-3. MENU>イベント>ビデオロス



ビデオロスタブから、ビデオの損失がある時、シングルまたはマルチカメラはイベント録画のための連動が設定できます。

☒を押して、ビデオの損失により連動させるシングルまたはマルチカメラを選択して下さい。



アラームタブから、ビデオの損失を伴う各カメラはシングルとマルチアラームに連動できます。

☒を押して、ビデオの損失のためカメラと連動するアラームを選択して下さい。



遠隔通知タブから、ビデオの損失を伴う各カメラはシングルとマルチコールバックまたはEメール送信に連動できます。

☒を押して、ビデオの損失のためカメラと連動するコールバックまたはEメールアドレスを入力して下さい。



プリセット機能により、PTZはビデオロスからPTZカメラのプリセット呼出に連動できます。ビデオロスが検出されると、PTZは所定のプリセットされている位置に動きます。

例えば、カメラ1が屋外通用口の外側からドアを映しています。このカメラ1から離れた位置にあるPTZカメラ10があります。このカメラ10でカメラ1のカメラ付近の映像をプリセット3で登録しておき、カメラ1のビデオロスにカメラ10のプリセット3を呼出す設定をしておくと、何らかの原因でカメラ1のビデオロスが発生すると、カメラ10にカメラ1にいたずらをしている人物が映るというような使い方ができます。

ビデオロスはシステム履歴には記録されますがイベント履歴には記録が残りません。モーションやセンサーなどのイベントでは映像と一緒にログを記録しますが、ビデオロスでは映像がないので、そのビデオロスを検出したイベントを記録しない仕様になっています。ただし、ビデオロスに連動して他のカメラCHを録画している場合は、イベント検索で連動設定したカメラCHの録画映像がビデオロスイベントとして、検索で表示されます。

4-6-4. MENU>イベント>テキスト



システムはPOS/ATM機からText Inを許可します。

注意：POS/ATM使用のため、システムはASCIIコードをサポートしなければなりません。

テキストイン形式：POS(固定)

開始コード：受信したトランザクションからテキストインとして処理する始めのコードを入力して下さい。

任意文字：始めの文字として任意文字を開始コードと見なします。

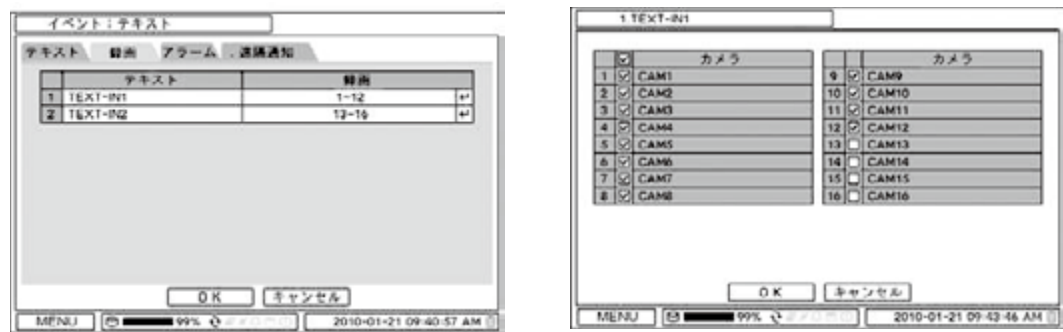
終了コード：受信したトランザクションからテキストインとして処理する終わりのコードを入力します。

CR+LF：キャリッジリターンとラインフィードを指定する場合にチェックします。

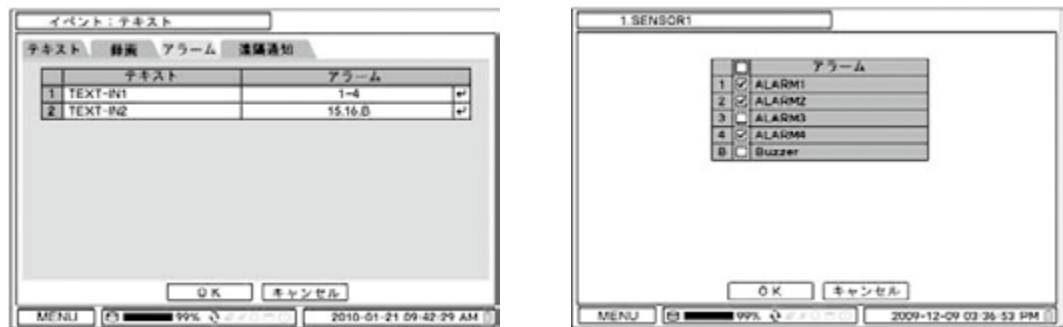
無視する文字：選択した単語を含め、記号列を無視する場合に指定します。

改行コード：デリミタ文字を指定します。

大文字／小文字の区分：大文字／小文字の区分をする。



遠隔通知タブから、テキストイベントはシングルかマルチアラームに連動できます。を押して、テキストイベントと連動するカメラを選択して下さい。



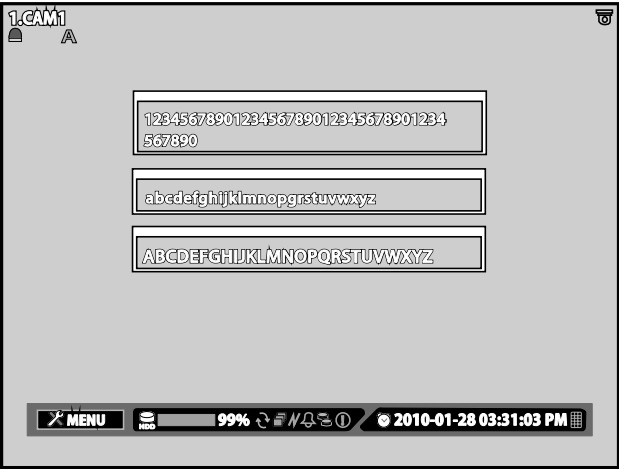
アラームタブから、テキストイベントはシングルかマルチアラームに連動できます。

を押して、テキストイベントと連動するアラームを選択して下さい。

Buzzerが選択されているとシステムはアラーム感知によりブザーが作動します。

テキストイン表示について

```
;TeraTermマクロで9600N81にてASCII文字列を10秒毎に送信する
settitle 'ASCII文字列送信'
while 1
send '1234567890123456789012345678901234567890' #13 #10
send 'abcdefghijklmnopqrstuvwxyz' #13 #10
send 'ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ' #13 #10
pause 10
endwhile
```



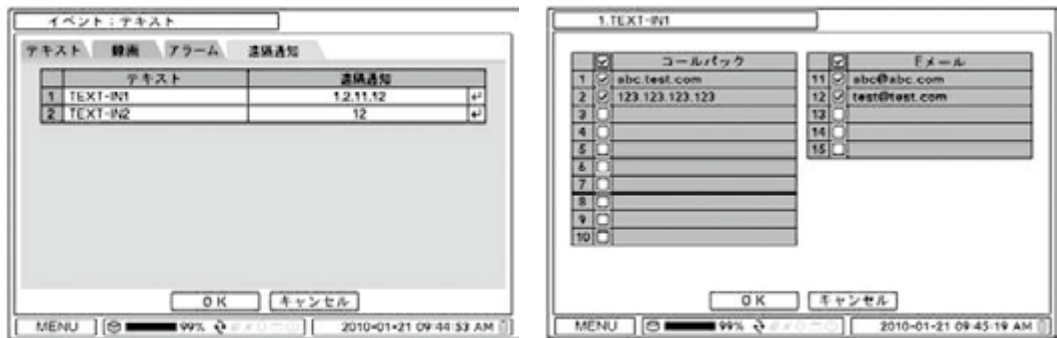
テキストイン機能を有効にしている場合に分割画面にしていると、RS232又はRS485でテキスト情報が送信されると、画面左上にAのアイコン表示が出ます。
テキストインで録画にしている全画面では受信したテキスト情報が開始コード～終了コードで区切られた一つのメッセージブロックとして四角枠で囲まれて表示されます。

“開始コード”～“終了コード”
例えば終了コードが<LF>であれば
メッセージブロック内で改行します。

“回線の限界”を受けるとメッセージブロックが更新されます。



- 注意：**テキストインはASCIIコード(半角英数字のみ)をサポートします。
- ※半角カタカナ、全角ひらがな・角カタカナ・漢字は文字化けします。
 - ※行あたりの文字数は文字ピッチにより可変します。
 - ※テキストイン表示は録画されませんが、トランザクションは記録されており、後で検索に利用できます。
 - ※コンテクシャルメニューのテキストインOSDをチェックしていない状態では、受信したテキストイントランザクションはオンスクリーン表示されません。



遠隔通知タブから、テキストイベントはシングルかマルチアラームに連動できます。テキストイベントと連動するコールバックまたはEメールアドレスをを押して指定します。

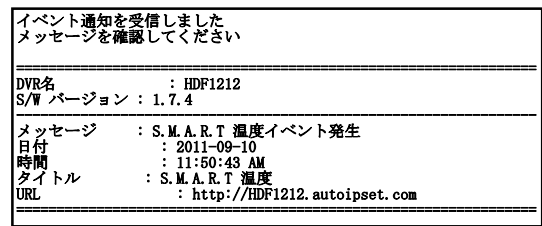
4-6-5. MENU>イベント>システム



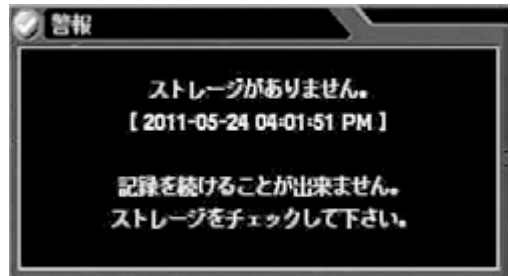
システムタブから、S.M.A.R.T機能の条件を設定します。S.M.A.R.T 限界温度は、ストレージの限界温度を指定します。HDD温度がプリセット温度を上回る時、次の設定によりユーザーに通知します。録画内容が指定%に到達した時に、次の設定によりユーザーに通知します。



ファームウェア1.7.4以降では、録画：記録装置のS.M.A.R.T.タブから各HDDの温度ステータスがイベント:システムのシステムタブで設定したS.M.A.R.T.限界温度設定での指定温度を超えると、システムログにHDD番号とその時点の温度情報をログに記録するようになりました。(ファームウェア1.7.0以前のバージョンでは“S.M.A.R.T.温度”とだけ記録されます)



但し、HDD不良については従来通り“HDD不良”とだけ記録されHDD番号は付加されません。不良HDDの特定は録画:記録装置の情報タブからHDDのステータスを確認して特定して下さい。また、遠隔通知によるEメール内容にもHDD番号と温度情報は付加されませんので、DVR本体のシステムログからご確認下さいますようお願いいたします。



ファームウェア1.7.0以降のバージョンでは、ストレージチェック機能が追加され、起動時に記録可能なHDDがないと警告表示を行い、ブザーが鳴動します。また、HDD交換などにより未フォーマットの新規HDDを初めて接続して起動した場合にも、記録可能なストレージが存在しないため、この表示が出ます。HDD不良の認識ではないのでご注意下さい。



アラームタブから、それぞれのシステムイベントをシングルとマルチアラームに連動できます。☒を押してそれぞれのイベントを連動させるアラームを選択して下さい。アラート (Alert) が選択されていますと、システムにより、画面上に警告メッセージがポップアップ表示されます。



遠隔通知タブから、各システムイベントはシングルとマルチコールバックまたはEメール送信に連動できます。☒を押してコールバックまたはEメールアドレスに入って、システムイベントを指定して下さい。S.M.A.R.T.による異常検出があった場合には、HDD(ストレージ)をできるだけ早く(通常24時間以内が推奨されます)交換して下さい。異常状態を放置・継続されますと故障に至る可能性が高まります。

4-7. ログアウト



DVR MENUの使用を終了します。MENUを使用する場合は再度ログイン操作する必要があります。
システム：ユーザー > オートログインでの設定をしている場合にはログインパスワードの入力を行わないで指定のユーザーでログインされた状態から開始されます。(3-5. ユーザー / 管理者のログイン参照)

4-8. シャットダウン



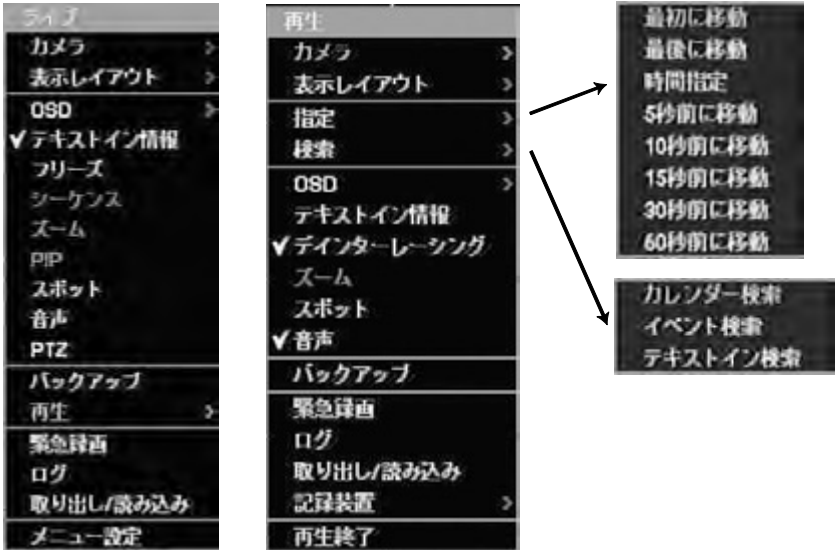
シャットダウンを選択して Enter キーを押すと、シャットダウンと RESTART を選択するダイアログが表示されます。

シャットダウンを選択した場合、シャットダウンが完了すると「システムを終了しても良いですか？」と再確認の表示があり「はい」でシステムの終了処理が開始され、正常に終了すると「システムは正常に終了しました」の表示が出たままの状態となります。
AC コンセントからプラグを抜くことができます。

RESTART を選択した場合には、システムの再起動が行われます。
再起動後の操作はログアウト後の動作に同じとなります。
システム：ユーザー > オートログインでの設定をしている場合にはログインパスワードの入力を行わないで指定のユーザーでログインされた状態から開始されます。
オートログイン指定がされていない場合は、MENU に入るためには「3-5. ユーザー / 管理者のログイン」手順に従ってログイン操作が必要になります。

5. 録画再生

システムは、録画データを探すために様々な再生検索メニューを提供します。
マウスで右クリックをするか、またはフロントパネルで再生ボタンを押して下さい。



「デインターレーシング」機能は動画再生時のジャギーやノイズを軽減します。
(8ch、16chに対応)

【デインターレーシングOFF(チェックなし)】



【デインターレーシングON(チェックあり)】



OFF



ON

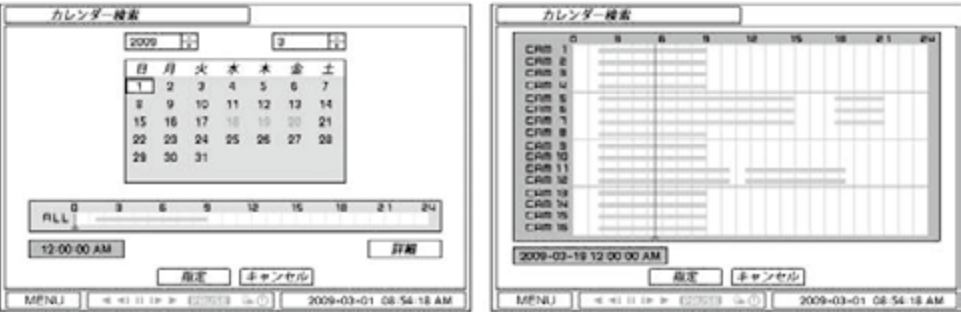
※HDF1212DV(4ch)にはデインターレーシングの再生コンテクシャルメニュー表示はありませんが、
機能は常時有効になっております。

5-1. 時間設定



日付／時間項目で録画データの位置を指定します。
[移動] ボタンを使用して、時間/日付を設定して下さい。
“最初に移動” “最後に移動”は最初と最後のデータ位置に移動します。
ご希望の設定を入力して[OK]を押すと再生が始まります。
最初に移動：最初の録画データに移動
最後に移動：最新の録画データに移動

5-2. カレンダー検索



カレンダー検索は、表示する数字(日付)によって簡単なグラフィカル検索を提供します。
選択されたデータはハイライトされます。データを選択すると、上図の録画時間表を表示します。
表の始めの数は24時間形式で時間枠を表します。また、左側のタイトルはカメラ番号を示します。
カラーバーは選択した録画データの全情報を示します。インディケーター(線)を動かして、
選択したデータの特定期録画時間を選択して下さい。[詳細]を押すと録画データの詳細表示が行えます。
ご希望の設定を入力して[指定]を押すと再生が始まります。

5-3. イベント検索



イベント検索は録画したイベントリストから簡単な検索方法を提供します。特定のデータを見つけるためにデータとイベントタイプを選択して下さい。

時間：時間を押すと日付リストのセクションから日付を選択できます。

イベント：Allを押してトップリストのセクションからイベント検索オプションを表示

All：全てのイベントのシステム表示

モーション：システム表示、全てのイベントはモーションに関連

センサー：システム表示、全てのイベントはセンサーに関連

ビデオロス：システム表示、全てのイベントはビデオロスに関連

テキストイン：システム表示、全てのイベントはテキストインに関連

緊急：システム表示、全てのイベントは緊急録画に関連

一度イベントの特定リストを得たら、上下ボタンを使用してログにハイライトを付け選択し、イベントデータを再生して下さい。

『ライブコンテクシャルメニュー>ログからのログ検索について』

ライブコンテクシャルメニュー>ログから表示されるログは、システムタブ（情報>システムログ）とイベントタブ（上記イベントログ）の2種類が表示されています。

システムログは時系列で年月日時分秒を時系列で表示するログですが、イベントログは該当の年月日のイベントを表示しています。このため、過去の日付のイベントログを検索するには大見出しである[時間]をクリックして日付リストを呼出、該当の日付を選択します。すると、該当の日付にて発生したイベントが時系列データとしてリスト表示されますので上下操作で選択するか、[イベント：All]をクリックしてイベント種類を選択して、リストを更に絞り込む作業から該当のイベントが調べられます。



ライブコンテクシャルメニュー



システムログ



イベントログ



時間でイベント検索したい日付を指定




イベント：タイプでイベントを指定



検索によって得られたリスト（例）

5-4. テキストイン検索



テキストイン検索は開始から終了までの範囲のテキストインランザクションログから指定したワードでの検索を行います。検索結果として日時とログを表示します。内容の右側  アイコンを押すと録画された時点を表示して一時停止状態になります。

テキストイン形式：テキストインのためにモデル形式を選択

開始：検索開始のために開始時間を設定、または最初のデータから検索の為に始点を選択

終了：検索終了のために終了時間の設定、または最後のデータから検索の為に終点を選択

テキスト検索：単語を含めて、テキストデータを検索する為に、あらゆる単語を入力

すべての検索情報を入力して、テキストイン検索を開始するためにOKを押して下さい。



例えば左図のようなレシート出力をするPOSとテキストインで接続している場合に“magazine”を含むテキストイン検索を行うものとします。

テキストイン表示はスーパーインポーズ録画されませんがトランザクションログを記録しています。



①HDDからの再生を指定します。



②テキストイン検索を指定します。

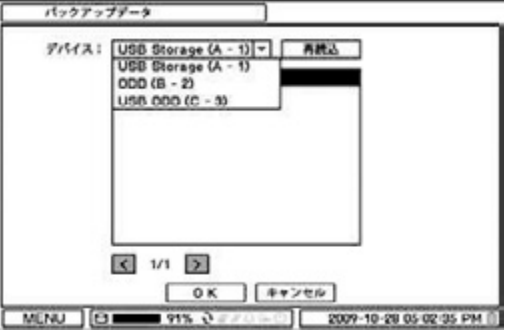


③検索したいWORDを指定します。
(例えばmagazineのように)



④ 'magazine' を含むログが抽出されますので、右端のReturnボタンを押すとその時刻の画面が一時停止表示されます。

5-5. バックアップデータ再生



バックアップメディアからバックアップファイルをDVRで再生できます。バックアップファイルの登録されたメディアを挿入し、DVRから再生を行いたいファイル名を選択して下さい。

5-6. プレイバックコントロール



R.Play：逆再生

Step Backward：先のイメージに行く

Pause：フリーズまたは現在のイメージの停止

Step Forward：次のイメージに行く

Play：標準速度でデータを再生

後方または前方へ再生速度を制御するために、◀または▶を繰り返し押して下さい。

再生速度はx32まで上げる事が可能です。

6. クリップ作成・バックアップ

6-1. バックアップ



DVR MediaPlayer

「なしの場合」





untitled.strg

「ありの場合」



untitled4.exe

バックアップから、USBデバイスにバックアップするために録画データを選択できます。システムに接続するUSBデバイスのタイプを選択するためにUSBデバイスを押します。バックアップをするためにボタンを使用して、データと日付期間のデータを選択して下さい。選択期間の全ての録画データのバックアップをするために、カメラ番号を選択します。録画した音声とビデオデータと共に選択したオーディオをバックアップします。ステータスはデバイスの容量がバックアップのために準備されることを示し、またバックアップの進み具合をプログレスバーで表示します。



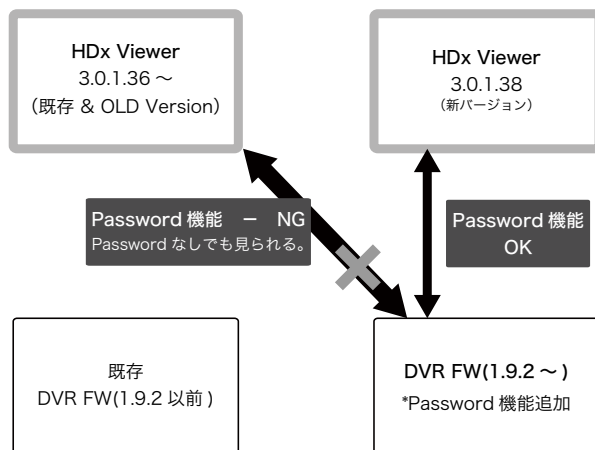
DVR MediaPlayer(.exe)形式で保存されたファイルはマルチカメラバックアップを許容し、録画再生するために特定コーデックのインストールは必要ありません。DVR MediaPlayer(.exe)形式で保存されたファイルをダブルクリックすると、Internet Explorer ウィンドウ上で自動的に再生されます。この機能はInternet Explorer 7.0 以上でのみサポートされます。(Internet Explorer 9.0では DirectDraw ActiveXコントロールが不具合を起こし警告メッセージを表示し正常に表示が行えない場合がございます。Internet Explorer 9.0 へのアップグレードは推奨されません。)

STRG形式で保存されたファイルはバックアップビュープログラムを使用して再生します。
(6-15、バックアップビュー参照)



ファームウェア1.7.0からSTRG形式のデータファイルはバックアップビューにアプリケーションの関連付けが行われました。STRG形式のデータファイルアイコンをダブルクリックするとバックアップビューが自動的に起動します。

パスワード：バックアップデータを暗号化するパスワードです。
ソフトウェアキーボードの全文字の組み合わせによって最大 8 桁のパスワード文字列を設定できます。(大文字小文字は区別されます) DVR Media Player にチェックを入れた場合 (exe 形式)、入れない場合 (STRG 形式) の両方で再生画面に入る前にパスワードダイアログが表示され、正しいパスワードが入力されない限り再生は行われません。



Backup Viewer (HDx Viewer 付属ソフトウェア) で再生する場合には、HDx Viewer 3.0.1.38 以上に付属の Backup Viewer を使用しなければなりません。

HDx Viewer 3.0.1.37 以下に付属の Backup Viewer を使用した場合は、パスワードの有無に関わらず再生できてしまいます。

HDx Viewer 3.0.1.38 は以下のサイトからダウンロードできます。
<http://www.tenpo.co.jp/download/>

- 注意：**バックアッププロセス中にクライアントプログラムを使用し、システムを遠隔操作からモニター／再生しますと、バックアッププロセスは遅くなります。
- 注意：**データバックアップが処理されている間、バックアップメディアを取り外したりしないで下さい。バックアッププロセス中に、バックアップメディアを取り外したりしますと、メディアまたはシステムへの重大な故障をもたらす危険性があります。
- 注意：**バックアップが完全に終わるまでは、ODDドアの開け閉めをしたりODDから記録メディアを取り外したりしないで下さい。

6-2. 簡易バックアップ

再生モードが正常に作動している場合、バックアップボタンを押すと簡易バックアップウィンドウが表示されます。デバイス、ファイル名、音声を選択して、再生やバックアップのため **スタート** を押して下さい。簡易バックアップアイコンは処理の間、画面上に表示されます。

バックアップボタンをもう一度押して、簡易バックアップを停止または終了させて下さい。

簡易バックアップでのファイル保存形式はバックアップと同様にSTRG形式とDVR Media Player(.exe)形式になります。

注意：データバックアップが処理されている間、バックアップメディアを取り外したりしないで下さい。
バックアッププロセス中に、バックアップメディアを取り外したりしますと、メディアまたはシステムへの重大な故障をもたらす危険性があります。

注意：インスタントバックアップの処理中は、再生速度は通常より遅くなります。

6-3. クリップ作成



PC上で再生出来るシングルチャンネルのバックアップファイルを作成するために、クリップ作成を使用します。再生時のライブまたは停止モードの時、ポップアップメニューからクリップ作成オプションを選択して下さい。

クリップ作成のためにバックアップオプションを選択して下さい。 **スタート** ボタンを押して、クリップ作成を行って下さい。クリップ作成で作成したファイル(m4v形式)はQuick Timeプレーヤー(バージョン7.6.5での動作を確認しております)を使用して再生できます。



注意：Windows Media Playerプログラムでクリップ作成
ファイルを再生することはできません。

- バックアップデータをとりたいカメラ番号を確認して下さい。
- 音声データを同時にバックアップする場合は、音声オプションを選択して下さい。
- バックアッププロセスを開始するために開始ボタンを選択して下さい。
- ステータスによってバックアッププロセスを確認できます。
- データファイルの容量によりバックアップに長時間かかる場合があります。

.....
<制限事項> 4GBを超えてファイルを作成することが出来ません。選択時間範囲の作成過程で容量が4GBに達した場合、記録開始時間と(4GBに達した)記録終了時間を表示して作成プロセスは停止します。選択時間範囲の必要記録容量を判別する機能はありませんので、4GB制限により取得出来なかった範囲は別途以降の時間範囲を指定して作成を再度実行してください。



7. ネットワーク監視

7-1. Webビューアー

Internet Explorer経由でDVRのセットアップ、ライブウェブモニタリング、プレイバック機能へのアクセスが可能です。遠隔監視での同時アクセス数は、ライブ4アカウント、再生2アカウント、設定1カウントになります。

動作環境

| | 最低限要求仕様 | 推奨要求仕様 |
|--------|-----------------|---------------|
| OS | Windows 2000 以上 | Windows XP 以上 |
| CPU | Pentium 4 以上 | Core 2 以上 |
| メインメモリ | 512MB 以上 | 2GB 以上 |
| ビデオカード | 必要 (CPU共用は不可) | Radeon7000 以上 |
| ビデオサイズ | 128MB 以上 | 128MB 以上 |
| 画面サイズ | 1024 × 768 | 1280 × 1024 |

7-1-1. Login

Internet ExplorerのアドレスバーへDVRのIPアドレスもしくはDDNSホスト名を入力すると、Remote Monitoring Systemへアクセスが可能です。

例) ウェブポートがデフォルト値で無い場合 r 211.104.176.143:ウェブポート

例) 211.104.176.143:8080

ポート番号のチェックは MENU>ネットワーク>アドレス>ポート で可能です



ライブもしくはプレイバック機能を利用するためには、DVRのログイン画面でID、パスワード、ポート番号を入力しなければなりません。

- **ID** : DVRの管理者IDもしくはユーザーID (デフォルトID : 管理者もしくはユーザー)
- **Password** : DVRの管理者もしくはユーザーのパスワード (デフォルトパスワード : 1111)
- **Port Number** : DVRのポートナンバー (デフォルト値 : 10101)

※ポート番号に関する詳細は、MENU>ネットワーク>アドレス>ポートをご参照ください。





- **Live** : ライブウェブモニターを実行します。
- **Playback** : DVRの記録データの検索と再生を実行します。

7-1-2. Live

ユーザーはライブウェブモニターとDVRの構成にアクセスできます。



DVRで音声を有効にしているチャンネルを選択状態にした時、Remote Monitoring Systemを動作させているPCのスピーカーからライブの入力音声がかかります。

-  : 1つのチャンネルビューモード
-  : 4分割ビューモード
- Setup: DVR構成を変更(管理者のみ)
-  : 1つのチャンネルビューモードで表示チャンネルを変更
-  : 4分割ビューモード










7-1-3. Playback

ユーザーはDVRの録画データを検索、また再生できます。



DVRで音声を有効にしているチャンネルを選択状態にしても、録画音声は遠隔接続では再生できません。

-  : 逆高速再生(×2、4、8、16、32)
-  : 高速再生(×2、4、8、16、32)
-  : 選択した日時のデータの始めに移動
-  : 一時停止
-  : 逆再生
-  : 再生
-  : 選択した日時のデータの終わりに移動
-  : 1フレームの逆再生
-  : 1フレームの再生

7-1-3-1. カレンダー検索

ユーザーはカレンダーから録画データを検索するために、特定の時間を選択できます。



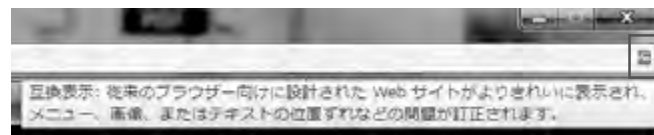
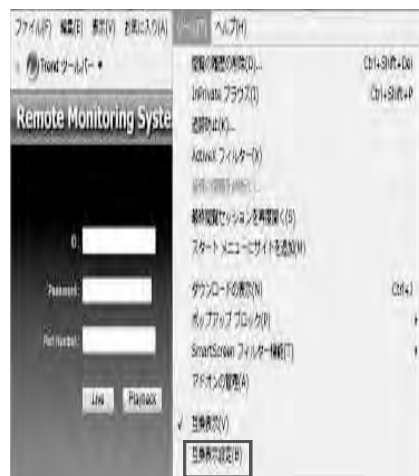
画像を見て録画データがカレンダー上にある場合、日付が赤く表示されます。

さらに、選択された日付は、黄色でマークされます。

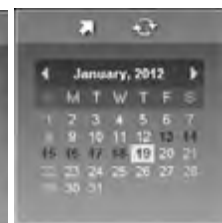
- 、 : 月/年の変更
- : 特定の時間を入力して、データを検索
- : DVRの録画データ情報をリフレッシュ

Internet Explorer9使用時のカレンダー表示異常対策

Internet Explorer9の問題によりカレンダーの曜日が正しく表示されない場合があります。この場合は、ブラウザページ右上の互換表示アイコンをクリックするかツール>互換表示設定でautoipset.comを互換表示するWebサイトとして登録する必要があります。



異常表示



正常表示

7-1-3-2. イベント検索

ユーザーはイベント検索機能から録画イベントデータを検索できます。

ユーザーがイベントボタンをクリックすると、イベント検索ウィンドウが出てきます。

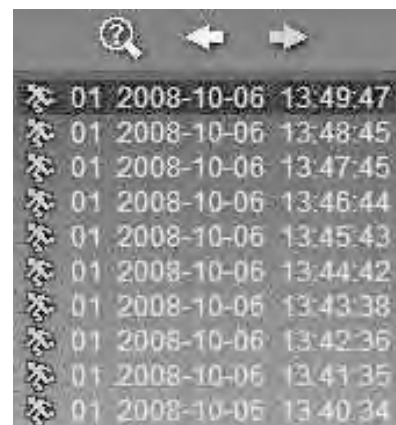
次に、ユーザーは日付を選択して、OKボタンをクリックして下さい。

そして、イベントリストからチェックしたいイベントを選択できます。



、 : イベントリストページの変更

: 異なった日付からのイベント再検索



注意：低パフォーマンスビデオカードを使用されると、Webビューアーは適切に映像を表示しません。

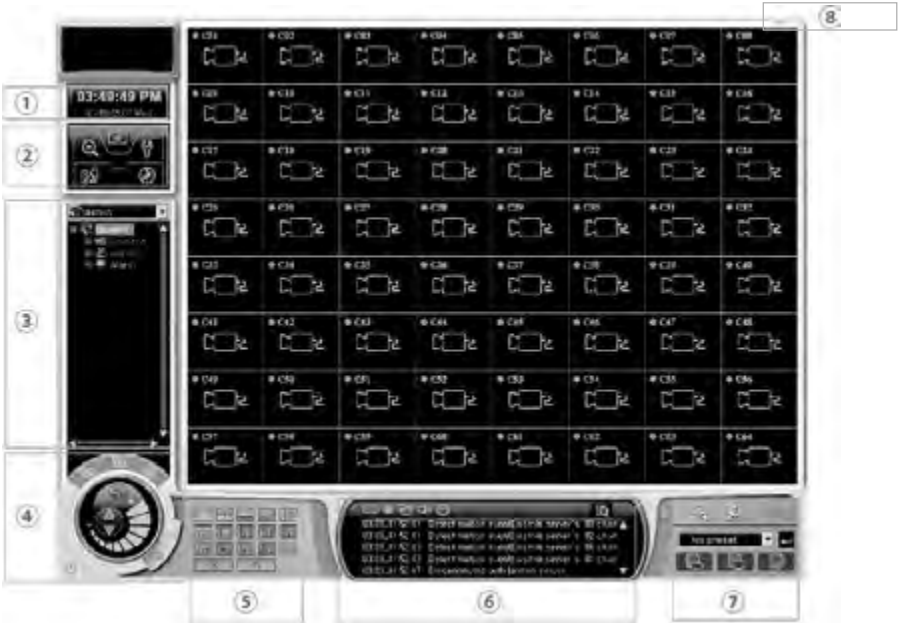
7-2. HDxビューワー

HDxビューワーの詳細は別途「HDx Viewer Software User's Manual (Ver.x.x.x)」をご参照ください。
本取扱説明書に含まれる内容は基本的な使用方法に限定しております。HDxビューワーはネットワークを通して、最大16台のHDx DVRを統合監視できます。HDxビューワーはDVRシステムに接続した最大64チャンネルのビデオ画面(HDxViewerの導入PCがデュアルモニタ仕様である場合は128画面可能)とPTZ制御プリセット設定、検索(ローカル/遠隔) Eマップなどの各種管理機能を表示することが出来ます。
※遠隔操作での同時アクセス数は、ライブ4アカウント、再生2アカウント、設定1アカウントになります。

動作環境

| | 最低限要求仕様 | 推奨要求仕様 |
|-----------|-----------------|---------------|
| OS | Windows 2000 以上 | Windows XP 以上 |
| CPU | Pentium 4 以上 | Core 2 以上 |
| メインメモリ | 512MB 以上 | 2GB 以上 |
| ビデオカード | 必要(CPU共用は不可) | Radeon7000 以上 |
| ビデオサイズ | 128MB 以上 | 128MB 以上 |
| 画面サイズ | 1024 × 768 | 1280 × 1024 |
| ディスプレイモード | YUY2 | YUY2 |

※ カラーフォーマットの初期化はYUY2になっています。現状市販のパソコンでは、通常この設定で問題ありません。



- ① 現在の日付、時刻が表示されます。
- ② 検索、スクリーンキャプチャー、セットアップ、E-マップで使用します。
- ③ HDxビューワーに登録されているDVRのリストが表示されます。
- ④ プログラムの終了、サーバーの接続と切断、管理、およびPTZコントロールで使用します。
- ⑤ 分割画面の選択に使用します。
- ⑥ HDxビューワーが検出したログを表示します。
- ⑦ シングルチャンネルプレーヤー、ネットワーク録画と再生、編集とプリセットの切り替えに使用します。
- ⑧ 画面を最小化します。

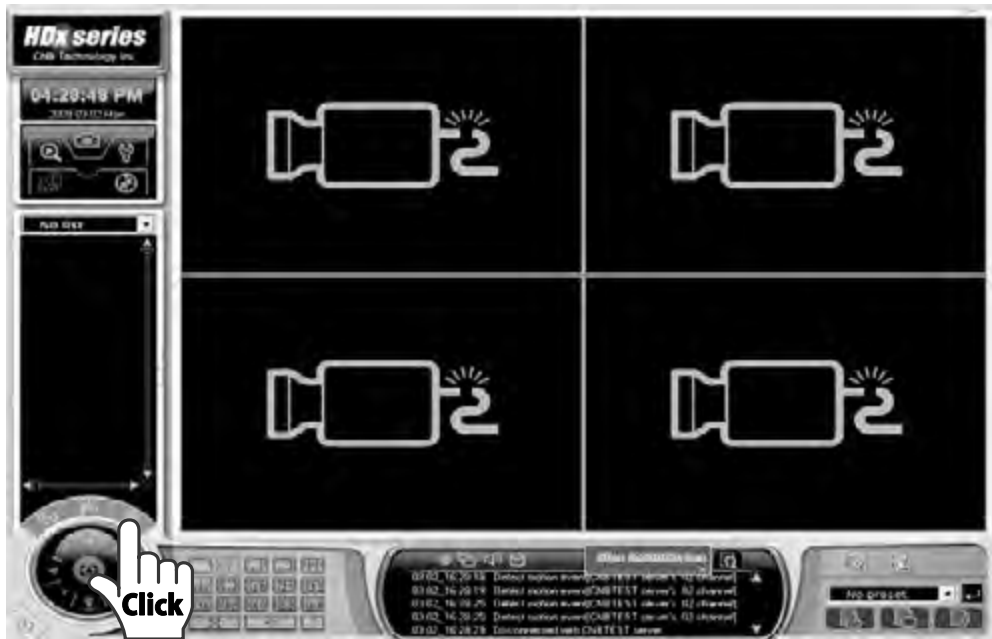
7-2-1. クイックスタート

7-2-1-1. ライブ

ユーザはHDxビューワーと共にライブモニタリングができます。

1. コンピューター上にHDxビューワープログラムをインストールして、デスクトップのHDxビューワーアイコンをダブルクリックし、プログラムを起動して下さい。

2. サーバリストメニューをクリックして下さい。



3. サーバリスト管理ウィンドウでサーバー情報を入力して、“追加”をクリックして下さい。



サーバー名前：使用したいサーバー名を入力して下さい。

サーバーアドレス：DVR IPアドレスかDDNSホスト名を入力して下さい。

(DVRメニューアドレスかDDNSのDVR IPアドレスかDDNSホスト名を確認できます)

接続ポート：DVRアクセスポート番号を入力して下さい。(デフォルトポートナンバー：10101)

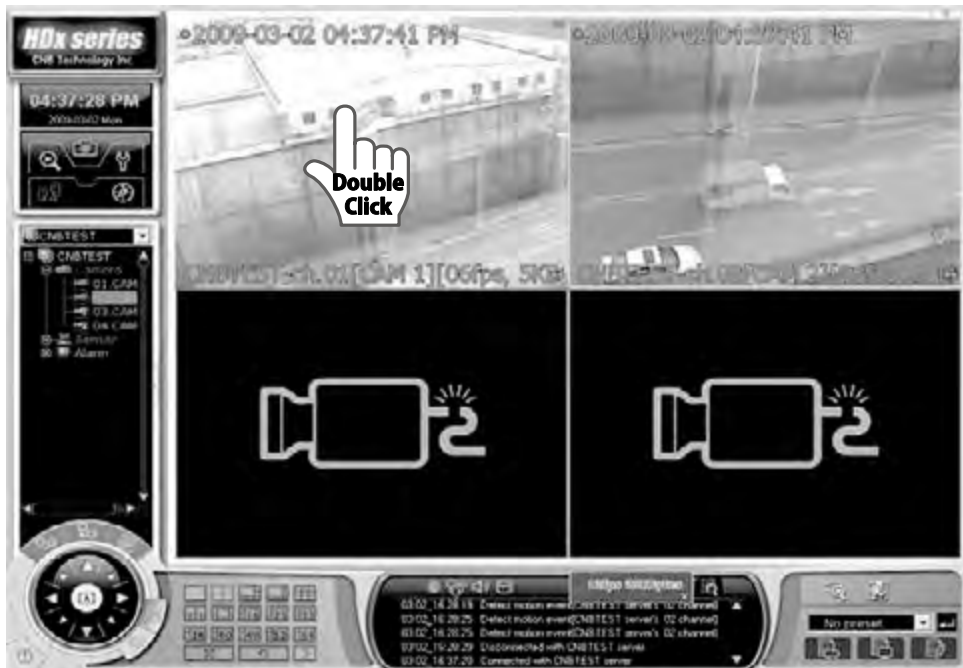
ユーザーID：DVRログインID-デフォルトと同じユーザーIDを入力して下さい：admin

ユーザーパスワード：DVRログインパスワードを入力して下さい-デフォルト：1111

4. サーバリスト上のDVRを選択して、次に“接続”ボタンをクリックして下さい。



5. 以下のライブモニターのように、表示されている分割画面表示から1画面表示に変更するには、1画面表示にしたいカメラ番号の画面をダブルクリックして下さい。

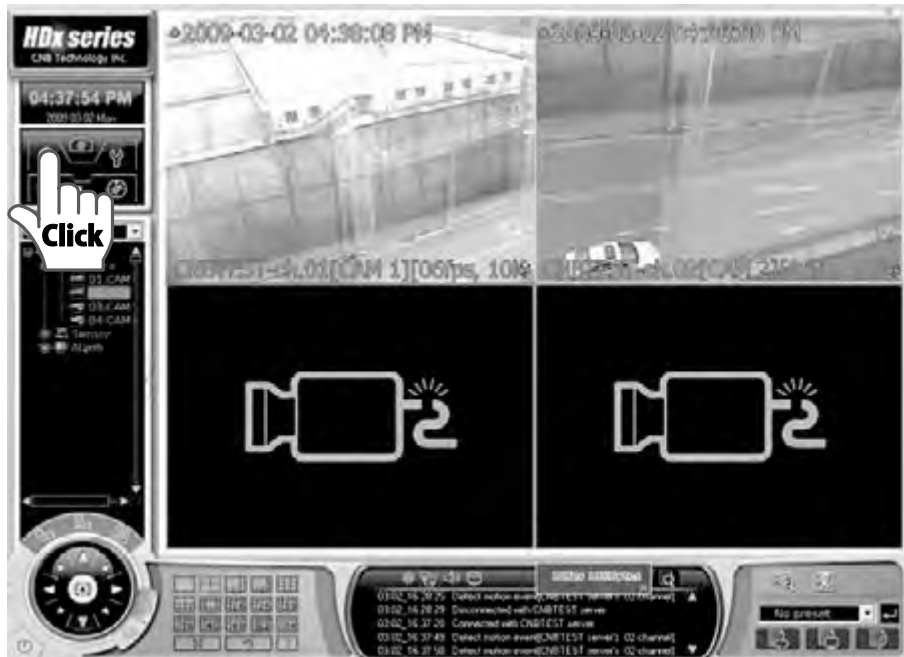


DVRで音声を有効にしているチャンネルを選択状態にした時、HDxビューワーを動作させているPCのスピーカーからライブの入力音声がかかります。

7-2-1-2. 検索

ユーザーはDVRに録画されたビデオを検索また再生することができます。

1. DVRへアクセスした後に検索ボタンをクリックして下さい。



2. 遠隔選択からDVRサーバーを選択して、“確認”ボタンをクリックして下さい。



3. 検索するために日付、時間、分などを選択して下さい。



4. プレイボタンをクリックして録画されたビデオをご覧頂けます。
5. ライブボタンをクリックしてライブモニタリングモードに戻して下さい。



DVRで音声を有効にしているチャンネルを選択状態にした場合、画面左上部には

#(カメラch番号)-時:分:秒 Audio IN
と表示され、録画音声を遠隔再生できます。
音声入力が無効になっているカメラchにはAudio INの表示は付きません。
音声再生が途切れたり、再生出来ない場合は1画面表示にして下さい。ネットワークの状態によって、正しく再生できない場合があります。



7-2-2. セットアップ

ユーザーはHDxビューワーからDVR構成をネットワーク越しに設定できます。

1. DVRへのアクセス後にセットアップボタンをクリックして下さい。



2. 遠隔でセットアップするためにDVRサーバーを選択して下さい。
次に、“確認”ボタンをクリックして下さい。



3. ユーザーはDVR本体での操作と同じグラフィカルユーザーインターフェースを利用してDVR構成を設定できます。[X]ボタンをクリックするか [X] をクリックして、セットアップウィンドウを閉じる事が出来ます。



7-2-3. サーバーリスト表示






サーバー名、IPアドレス、カメラ、およびセンサー登録が
HDxビューワーに表示されます。サーバー（接続とイベント）と
デバイス（カメラ、センサー、およびアラーム）の状態を表示します。



7-2-4. プログラムの終了／ボリューム／PTZコントロール／サーバー接続／切断



PTZ方向制御ボタン：
ボタンをクリックすると、その方向に
少しだけ旋回などの動作をします。
クリックし続ける（押したままにする）と
離すまで動き続けます。

| | |
|---|---|
|  | プログラム終了ボタン： ボタンをクリックすると、HDxビューワーを閉じる認証ウィンドウが動作します。 プログラム終了、システム終了、システム再起動から動作を選択します。 |
|  | 接続ボタン： ボタンをクリックしますと、サーバーリストから選択されたサーバーへ接続します。 |
|  | 切断ボタン： ボタンをクリックしますと、サーバーリストから選択されたサーバーを切断します。 |
|  | サーバーリスト管理ボタン： ボタンをクリックすると、サーバ管理ウィンドウが表示します。 |
|  | PTZコントロールボタン： ボタンをクリックするしますと、PTZコントロールウィンドウが起動します。 |



サーバーリスト管理ボタン：
ボタンをクリックすると音量が上下します。



サーバーリスト管理ボタン：
ボタンをクリックするとオーディオ出力します。



サーバーリスト管理ボタン：
ボタンをクリックするとオーディオ出力をミュートします。

7-2-5. 分割画面、全画面表示、および切り換え

ダブルクリックしますとデザインに応じたレイアウトで画面表示することが出来ます。
表示位置は個別にプリセット登録することが出来ます。(次項 7-2-6 参照)

7-2-6. イベントログ画面

テキストフォームによりサーバー接続の状態を表示します。



| | |
|--|---|
| | 左から録画動作のステータス、ネットワーク接続、ハードディスクのステータス |
| | ネットワークの現在状態を示します。 |
| | ビューイベントボタン： ボタンをクリックしますと、イベントログビューアーが作動します。 |

7-2-7. シングルチャンネルプレーヤー、ネットワーク録画、プリセット



| | |
|--|--|
| | シングルチャンネルプレイヤーボタン： チャンネルを選択後にボタンをクリックしますと、シングルチャンネルのウィンドウが起動します。 |
| | ネットワーク録画ボタン： ボタンをクリックしますと、 '作動状態' アイコンを変更し、HDxビューワーがインストールされたPCシステムにビデオを保存します。 |
| | プリセットを設定後に“プリセットへ移動”ボタン をクリックしますと、現在のHDxビューワーに適用されます。 |
| | プリセットへ移動ボタン： ボタンをクリックしますと、現在のスクリーンがプリセットスクリーンに変更します。 |
| | プリセット切り換えボタン： ボタンをクリックしますと、登録済みのプリセットをスイッチング表示します。 |
| | プリセット編集ボタン： ボタンをクリックしますと、プリセット編集ウィンドウが起動します。 |
| | プリセットスクリーンボタン： ボタンをクリックしますと、プリセット追加ウィンドウが起動します。 |

7-2-8. 権限確認

HDxビューワーを使用するために認証ウィンドウで使用者を制限することが出来ます。

ログオン、ログオフ、プログラムの終了、プログラムの最小化、システムオフ、システムリスタートを
作動させることができます。

セットアップのシステムセットアップの中の ☒ ログオン/オフ機能使用 ボタンをチェックしプログラムを
スタートさせますと、権限認証ウィンドウが有効になります。

☒ ログオン/オフ機能使用 ログオン/オフ ボタンがクリックされると、"プログラムシャットダウン"
ボタンがチェックされる時に権限認証ウィンドウが起動します。



- ① ログオン、ログオフ、プログラムシャットダウン、プログラムの最小化のようなコマンドを選択できます。
- ② IDリストの選択と共に、ユーザIDを選択できます。ログオンウィンドウでHDxビューワーセットアップの
システムセットアップで ☒ ログオンのウィンドウでユーザーリスト表示 "ショーユーザーリスト" のチェックを
つけますと、手動IDボタンでIDを入力できます。
- ③ ユーザーIDの入力パスワード
- ④ ボタンをクリックしますと、キーボードが 作動します。
- ⑤ ボタンをクリックしますと、コマンドリストのコマンドが作動します。存在しないID、間違ったIDや
パスワードを選択しますとコマンドは作動しません。
- ⑥ ボタンをクリックしますと、コマンドは作動せず、また権限認証ウィンドウは終了します。

7-2-9. スクリーンキャプチャー



現在のビデオと出力(保存または印刷)のキャプチャーが行えます。



画面キャプチャでWatermarking(改竄防止)にチェックを
いれて保存したバックアップ画像・映像は、製品付属CDに
収録されている付属ユーティリティ「VerifyWMx.exe」にて
改竄確認を行うことが出来ます。VerifyWMAはAVI動画画像用で、
VerifyWMBはBMP画像用です。以下の例は、静止画像に
レタッチし改竄確認した場合で、改竄箇所が指定色で
マークされModifyとして
表示されます。



7-2-10. サーバリスト

マウスを右クリックしてメニューを選択できます。



① 接続されたDVRのみ見ます

ボタンをクリックしますと、サーバリストの接続サーバーのみのリストを示します。

② 名前で見ます／アドレスで見ます／IPで見ます

各ボタンをクリックしますと、リストが名前、アドレス、およびIPアドレスになります。

③ 接続／接続解除

各ボタンをクリックしますと、サーバーの接続／切断をします。

サーバーの接続状態によって、以下のように変わります：

接続 → 接続

接続解除 → 接続解除

④ 全部接続／全部接続解除

各ボタンをクリックしますと、サーバリストに登録された全てのサーバーに対して接続／切断します。

⑤ カメラを見ます／カメラを見ることを中止します

各ボタンをクリックしますと、選択したカメラの映像を表示／消去します。

カメラを見ます。 → カメラを見ます。

カメラを見ることを中止します。 → カメラを見ることを中止します。

⑥ カメラ録画／カメラ録画中止

各ボタンをクリックしますと、ビデオ録画の有／無ができます。

録画状態に従って、以下のように変わります：

カメラ録画 → カメラ録画

カメラ録画中止 → カメラ録画中止

⑦ アラームオン／アラームオフ

各ボタンをクリックしますと、アラームを作動／解除できます。

アラーム作動状態に従って、以下のように変わります。


アラームオン(ON) → アラームオン(ON)

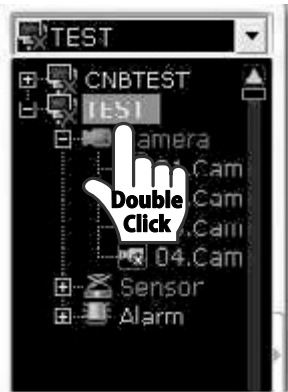
アラームオフ(OFF) → アラームオフ(OFF)


⑧ サーバー登録情報

ボタンをクリックしますと、サーバー登録情報を表示します。

7-2-10-1. サーバー接続

- 1)  接続されていないサーバーをダブルクリックします。




- 2) 接続変更のアイコン()を完了させます。

7-2-10-2. サーバー切断

- 1) 接続サーバーをクリックして下さい。
- 2) 切断するために切断ボタンをクリックして下さい。



- 3) 接続キャンセルすると、アイコンの形が変わります。()

7-2-10-3. 全サーバー接続




- 1) メニューのサーバーリストからマウスの右クリックによって示された、“全部接続”をクリックして下さい。




- 2) 接続サーバーのアイコンが変わります。
- 3) メニューから“全部接続解除”をクリックしますと、全てのサーバーが切断されます。

7-2-10-4. ビデオ監視


1) 接続サーバーのカメラをダブルクリックしますと、カメラの映像を監視できます。

-  : カメラから映像が供給されています。
-  : カメラから映像が供給されていません。
-  : ビデオはHDxビューワーがインストールされるシステムに記録されています。

7-2-10-5. ビデオ監視しない

- 1) メニューのビデオとカメラ上でマウスの右クリックによって示される“カメラを見ることを中止”をクリックして下さい。(ツリーコントロールでカメラアイコンをダブルクリックして下さい。)
- 2) カメラのビデオは隠され、またアイコンが変化します。()
ドラッグアンドドロップで監視ビデオの解除を行えます。

7-2-11. サーバーリストの使用

サーバーリストのボタン  をクリックしますと、サーバーリスト管理ウィンドウが作動します。サーバー名、IPアドレス(サーバーの)、接続方法、およびサーバーの状態情報がサーバーリスト管理ウィンドウに表示されます。

リストにサーバーを追加または削除することができ、HDxビューワーと共に他のシステムで運用中のサーバーリストをインポートやエクスポートを使用して移動させることもできます。



7-2-12. シングルチャンネルプレイヤー


“シングルチャンネルプレイヤー”ボタンをクリックしますと、シングルチャンネルプレイヤーウィンドウが作動します。フルモーション、静止画キャプチャー、PTZコントロール、ライブスクリーン、およびフルスクリーンを選択可能です。



7-2-13. プリセット

“プリセット追加”ボタンをクリックしますと、現在のスクリーン状態を保存できます。(クリックしますと追加プリセットウィンドウが作動しプリセットが追加されます)“プリセット編集”ボタンをクリックしますと、プリセットセットアップウィンドウが作動し、編集/追加/消去ができます。“スイッチング”ボタンをクリックしますと、プリセットを切り替えて表示します。

7-2-14. セットアップ

“セットアップ”ボタン()をクリックしますと、セットアップ選択ウィンドウが作動します。



セットアップ選択の“ローカル”または“遠隔”をクリックすることにより、HDxビューワーセットアップのサーバーセットアップを選択できます。“遠隔選択”ボタンをクリックしますと、現在接続されたサーバーが選択されます。“確認”または“取消”をクリックすることによりセットアップの開始と中止を行えます。

7-2-14-1. ローカルセットアップ

“セットアップ”ボタンをクリックしますと、セットアップ選択ウィンドウが作動します。サーバーが接続できないと、HDxビューワーセットアップウィンドウが作動します。“ローカル選択”をクリックした後に“確認”をクリックすると、HDxビューワーセットアップウィンドウが作動します。システム管理者(admin)のみがセットアップできます。

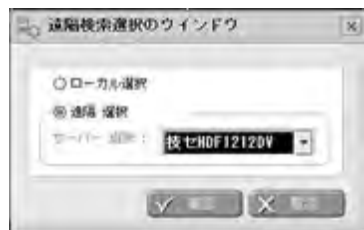
7-2-14-2. リモートセットアップ

“セットアップ”ボタンをクリックしますと、セットアップウィンドウが作動します。接続できるサーバーが無い場合、HDxビューワーセットアップウィンドウが作動します。

セットアップするためにサーバーを選択し“遠隔選択”にチェックを入れて“確認”ボタンをクリックするとリモートセットアップウィンドウが作動します。システムを設定することができます。リモートセットアップとイニシャル画面のカメラ、スケジュール録画、ビデオイベント、センサー、アラーム、記憶装置、ネットワーク、ユーザー、およびメールをシステム管理者(admin)だけがセットアップを実行できます。

7-2-15. 検索

“検索”ボタンをクリックしますと、遠隔検索選択が作動します。



“遠隔選択”ボタンをクリックして現在接続されたサーバーを選択します。“確認”ボタンをクリックしますと検索ウィンドウが作動します。“取消”ボタンをクリックしますと検索は中止されます。



検索ウィンドウでは、カレンダー上の日付をマークしてから、再生選択ゾーンで特定の時間(赤帯の位置)をクリックして“再生”ボタンをクリックして下さい。“Live”ボタンをクリックしますと検索は中止されます。



検索からAVI保存で作成したAVIファイルには音声記録されません。

従来のバージョンでは、ライブ接続されているDVRのみ検索より遠隔再生することのできる仕様でしたが、バージョン3.0.1.36よりライブが非接続状態であっても、検索で指定したサーバーを直接接続することができるようになりました(サーバーの登録は従来と同じく必要です)。これにより従来は検索再生だけを行う場合でも、ライブと検索で個別の通信セッションが張られてしまうためサーバーとの通信が非常に重たいという状況がありました。ただし、ライブ接続をした後で検索を行う運用では従来通りの動作となりますのでご注意ください。

7-2-16. バックアップビューワー

バックアップビューワープログラムでバックアップデータを再生できます。



バックアップビューワープログラムを実行する前にバックアップのSTRG形式データを保存するHDDやODD、USBフラッシュメモリーを接続しておいて下さい。

HDxViewer3.0.1.36でインストールされるバックアップビューワープログラムから、HDxDVRから取り外したHDDをWindows-PCに直接接続して再生する機能が追加搭載されました。Windowsのディスクアドミニストレーターから認識されるHDxDVRのHDDは以下のようなファイルシステム構造がフォーマットにより作成されています。



このHDDのパーティション領域はLinuxベースの独自方式ファイルシステム領域ですが、Linuxファイルを探るアプリケーションによって内部録画データや独自DBにアクセスは出来ません。またファイル構造の公開も致しておりません。



このボタンを使用しますと、ユーザーはバックアップデータをロード出来ます。ユーザーがファイルのロードに成功すると以下のようにバックアップデータの録画された日付がカレンダー上にマークされます。再生するためには、このマークされた日をクリックします。



HDxViewer3.0.1.36でインストールされるバックアップビューワープログラムの場合には、このボタンを押すとPCにHDxDVRから取り外したHDDが接続されている場合には左のような確認ウインドウが表示されます。HDxDVRのHDDが接続されていない場合か、ここで[いいえ]を選択しますと、従来のバックアップビューワープログラムと同じようにSTRG形式ファイルを指定する画面に移動します。[はい]を選択しますとHDxDVRから取り外したHDDを探索してアクセス可能なHDD上のデータロード

に成功すると以下のようにバックアップデータの録画された日付がカレンダー上にマークされます。再生するためには、このマークされた日をクリックします。



この色はバックアップデータが存在する日付を示します。



ユーザーが選択した日付を示します。

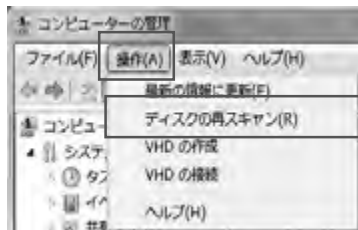


ユーザーがバックアップしたデータファイルに含まれている記録されたカメラ番号がマークされます。
(灰色表示データが存在しているカメラを示し、水色表示がユーザーにより選択されたカメラを表しています)

ユーザーがカメラ番号の1つを選択すると、記録されたイメージの最初がメイン画面に示されます。
また、記録された時間範囲は、以下のように再生選択ゾーンに表示されます。

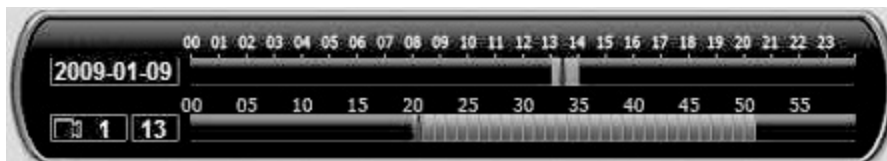
STRG形式データファイルはマルチカメラバックアップを許可していますが、バックアップビューワーを使用しての再生は1 指定カメラ毎にしか行えません。マルチカメラでの再生が必要な場合は、DVR Media Player (.exe) 形式でのバックアップ再生をご利用ください。

【注意】 HDxDVRから取り外したHDDを再生できない場合



HDxDVRから取り外したHDDに正常にアクセスできない状態、つまり外したHDDの物理的破損や論理的欠損(HDDエラー)によって探索出来なかった場合、アクセスに失敗したというメッセージを表示する場合があります。このように表示された場合には、Windowsディスクアドミニストレータに認識された領域がないことが考えられます。
このような場合には、PCからのSATAケーブルとSATAパワーケーブルの接続を見直してみたり、ディスクアドミニストレータから“操作>ディスクの再スキャン”を実行してみてHDxDVRのHDDが正しく認識されていることを確認し直してください。WindowsVistaの場合には実行時に右クリックして“管理者として実行”をしなければディスク領域にアクセスできない場合があります。
なおHDDをWindows-PCに接続し、HDD領域を初期化してしまったり、パーティション構造を故

意、不注意によって書き換えてしまった場合にはHDxDVRの録画データを欠損もしくは失います。このようになってしまうと、そのHDDを如何なる手段でも再び読み込むことは不可能になりますので操作にはご注意下さい。



ユーザーは再生選択ゾーンで検索する特定の時間を選択できます。



イメージ保存ボタン

ボタンをクリックしますと、現在の再生イメージがキャプチャーされ画像ウィンドウに表示されます。

CIF解像度の場合：352×240 ピクセル

HalfD1解像度の場合：704×240 ピクセル

D1解像度の場合：704×480 ピクセル

でのイメージ保存が行われます。



AVIに保存するボタン

動画ビデオファイルとして現在のビデオを保存できます。

- 用法：1. ビデオ再生でAVIに保存を開始したい場所でAVIボタンを押して下さい。
2. ユーザーはAVIに保存したいビデオの終わりまでビデオを再生して下さい。
3. ユーザーが再生速度を増しても、AVIファイルは通常通り保存されます。
4. ユーザーが停止ボタンをクリックしますと、保存されるAVIプロセスは終了します。

AVI保存中は“AVIに保存するボタン”が水色表示され、画面下部に表示される保存先ファイル名が白文字と赤文字で交互に点滅します。

音声付チャンネルをAVI保存しても、作成されたAVIファイルに音声は付きません。



印刷ボタン

ボタンをクリックしますと、現在のスクリーンに印刷リストと印刷実行ウィンドウが追加されます。



プリントビューボタン

ボタンをクリックしますと、印刷ウィンドウが作動します。



音量調節ボタン

DVRで音声録音を有効にしているチャンネルを選択状態にした場合、バックアップビューワプログラムでの録画音声をSTRG形式バックアップファイルでもHDxDVRからの取り外しHDDでも音声再生が可能です。

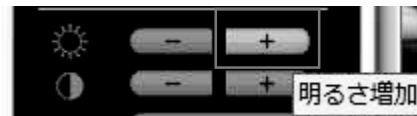
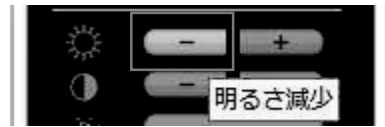
画面サイズボタン

ボタンの-/+で縮小/拡大が調節できます。



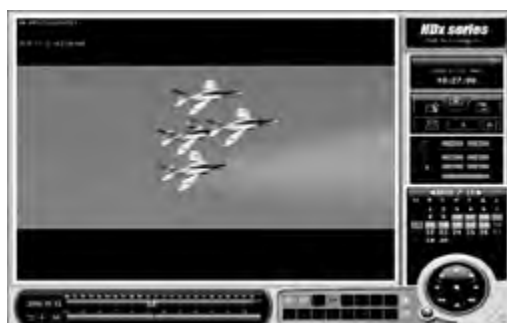
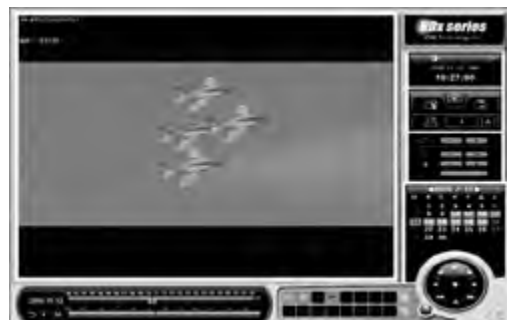
画面明るさボタン

ボタンの-/+で暗く/明るくが調節できます。




画面コントラストボタン

ボタンの-/+でコントラスト減少/コントラスト増加が調節できます。



画面デフォルト値ボタン

ボタンを押すと調節した画面状態をデフォルト値に戻すことができます。

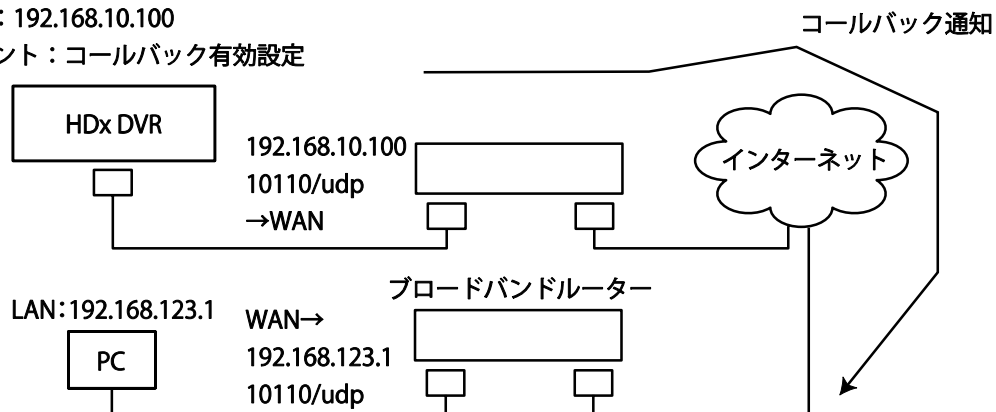
再生速度可変ボタンを押すと、押すたびに 1x, 2x, 4x, 8x, 16x, 32x と最大 32 倍速再生までをサポートします。

7-3. コールバックサーバー

HDxシリーズはDVRで発生する全てのイベントをリモートサイト上で動作するコールバックサーバープログラムに対して通知する遠隔通知機能を提供します。

LAN：192.168.10.100

イベント：コールバック有効設定



通知機能を使用するためのコールバックサーバープログラムはHDxビューワのインストール時に同時インストールされます。

| ADDRESS | DVR NAME | DATE/TIME | EVENT TYPE | TITLE |
|--------------------|----------|---------------------|------------|--------|
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:13 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:13 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:10 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:01 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:01 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:01 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:18:01 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:56 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:56 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:56 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:56 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:49 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:49 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:49 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:49 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:43 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:43 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:43 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:43 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:36 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:36 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:36 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:36 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:30 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:30 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:30 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:30 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:17 | Motion | CAM4 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:17 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:11 | Motion | CAM3 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:11 | Motion | CAM2 |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:11 | Motion | NOBODY |
| CNR2 autoipset.com | | 2009-10-09 14:17:11 | Motion | CAM4 |

At the bottom of the window, there are buttons for 'Live', 'Search', 'Local ip address: 192.168.123.1', 'Clear', 'Log', and 'Setup'.

7-3-1. 遠隔通知設定

指示に従って、通知機能を設定して下さい。

1. DVRの設定設定 MENU>ネットワーク>遠隔通知



2. リモートサイトのIPアドレス(または、ドメイン名)とポート番号を入力して下さい。



コールバック通知の通信に使用するデフォルトポートは10110番のUDPポートになります。
 (TCPポートではありませんので、ご注意ください。なお、コールバック通知はUDP/IPで送信されます。
 UDPはパケットロスを検知できませんので、取りこぼしが発生します。
 UDP/IP自体が受信を保証しない通信手段ですので、取りこぼしにより発生した直接的ならびに
 間接的な問題・障害につきまして弊社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい)

3. DVRセットアップ MENU>イベントと遠隔通知はそれぞれのイベントタイプにより機能します。



4. 以下の例では、モーションイベントに遠隔通知を設定している状態です。

DVR設定 MENU>イベント>モーション>遠隔通知

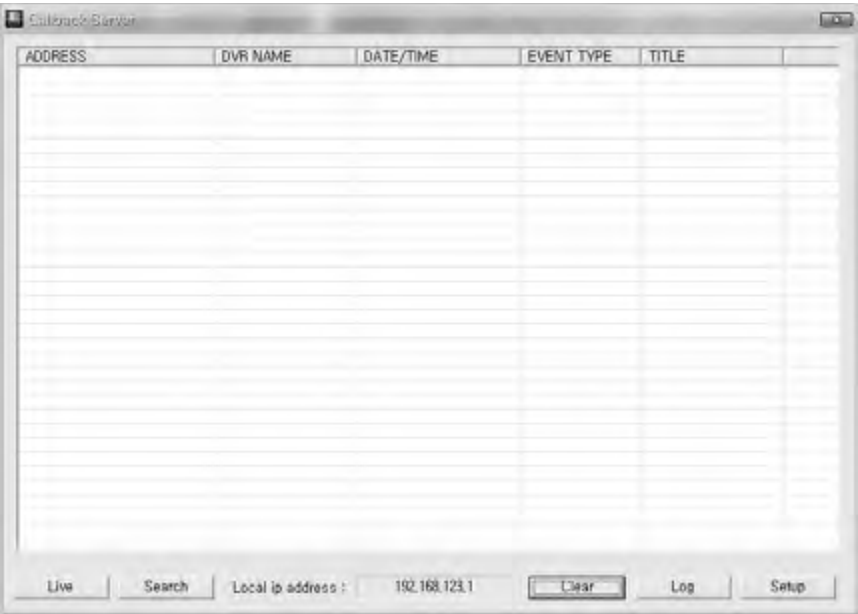


5. カメラ番号を選択して、コールバックの通知先を設定して下さい。またリモートサイトを
確認して下さい。

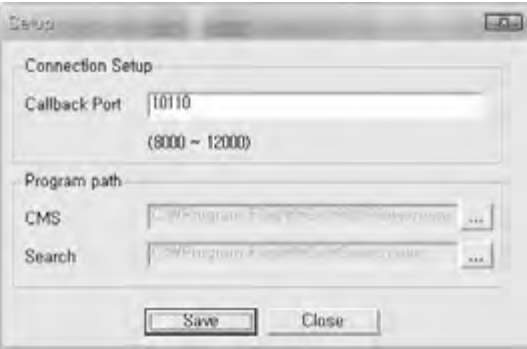


7-3-2. 設定 (Set up)

DVRからのコールバック通知を受け取るために、ユーザーはコールバックサーバプログラムを設定して下さい。



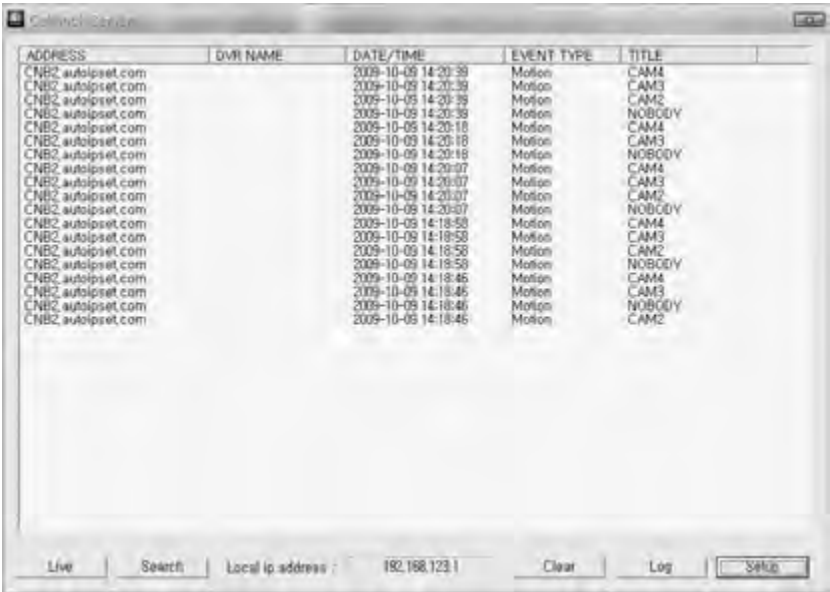
Setup (設定)：コールバックサーバの動作に必要な情報を構成して下さい。



コールバックポートと全てのプログラムパス (Path) を設定して下さい。

7-3-3. 機能

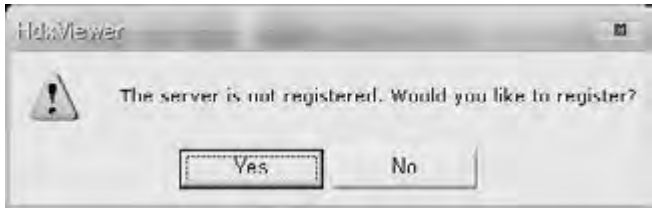
DVRからのコールバック通知を受け取るために、ユーザーはコールバックサーバプログラムを設定して下さい。



Live(ライブ)：イベント遠隔通知が送られたDVRのライブモードに接続します。
HDxビューワパス(Path)は、HDxビューワソフトウェアを起動してライブモードに接続するために設定して下さい。

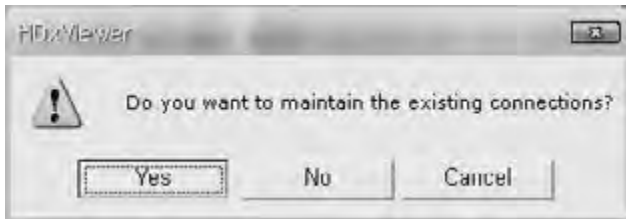


遠隔通知を受けたDVRがHDxビューワーのサーバーリストに登録されていない場合は、登録のためにサーバーリスト管理ウィンドウがポップアップします。

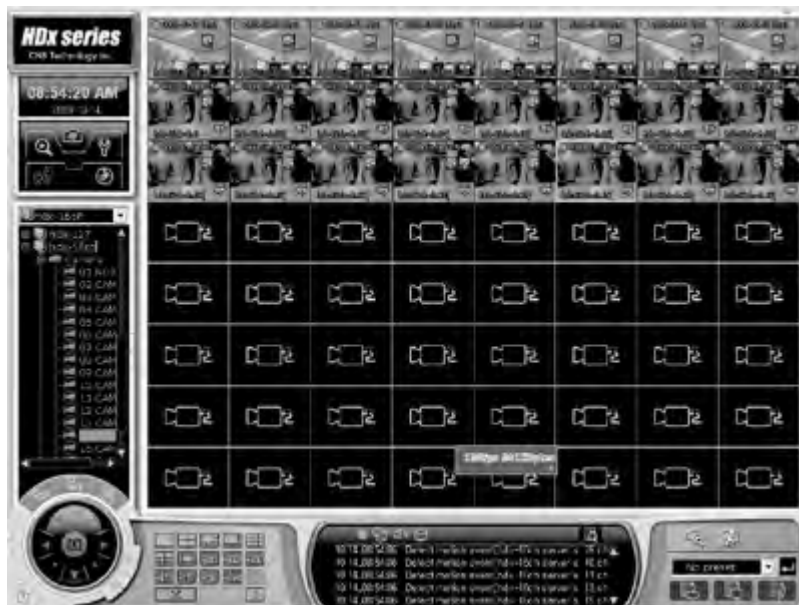


サーバー管理ウィンドウにサーバー名、IDとパスワードを入力して下さい。
また、“追加”ボタンをクリックして下さい。

HDxビューワーが既に他のDVRと接続されている場合、ユーザーは既存の接続を維持するかどうかを選択して下さい。



既存の接続を引き続きご使用になる場合、HDx ビューワー表示レイアウトは64チャンネルビューに変わります。そして、新たに加えられたDVRのカメラ映像表示は既存のカメラの直後に続けて表示されます。



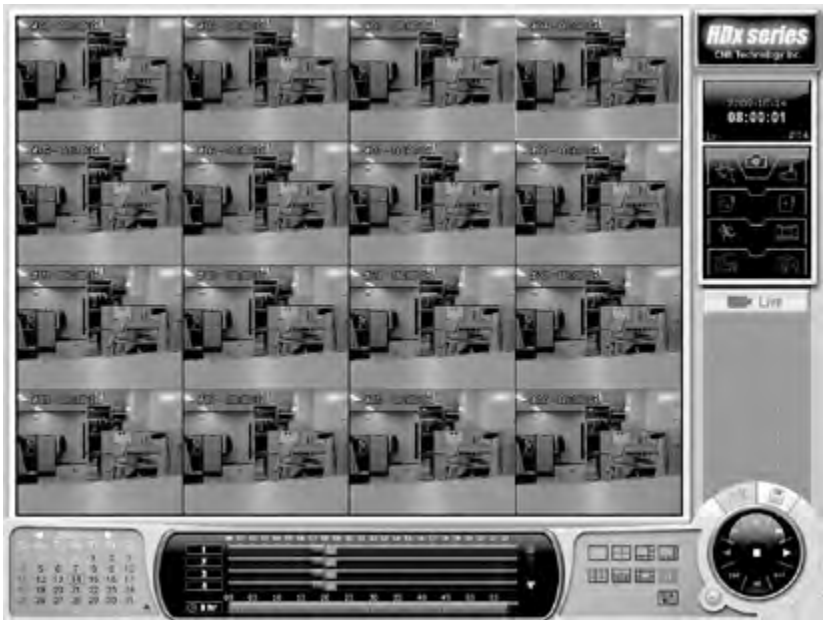
既存の接続を切断する場合は、HDxビューワーは全ての既存の接続を切断します。そして、HDxビューワーは新たに接続したDVRのカメラ映像表示を行います。



Search (検索) : HDxビューワー検索プログラムが起動してイベントの起こった時間まで移行します。
 “検索” ボタンをクリックした後に、接続設定ウィンドウがポップアップします。

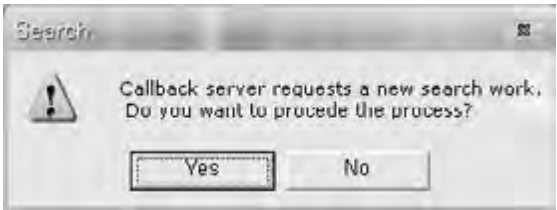


DVRのIDとパスワードを入力してから、“接続” ボタンをクリックして下さい。



イベント、遠隔通知が起こった時、検索プログラムが自動的に起動して、イベント遠隔通知の発生時間に移動します。

検索プログラムが既に開いていると、以下のメッセージウィンドウがポップアップします。

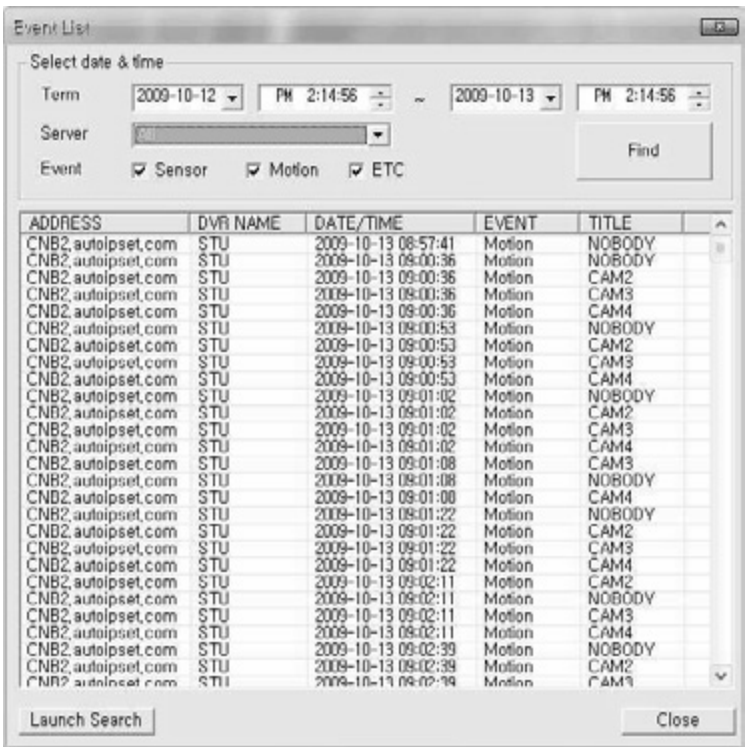


“Yes”を選択すると、新しい検索が始まります。

ローカルIPアドレス：コールバックサーバーがインストールされた、IPアドレス

クリア：リスト上のイベントを全て削除

ログ：受け取ったイベントログの検索



ユーザーは時間、サーバー名、またはイベントリストのイベントタイプからイベントを検索することが出来ます。ユーザーがリスト上のイベントをダブルクリックすると、検索プログラムを通してイベント発生時の録画内容を確認できます。

APPENDIX

A-1. DDNS (Dynamic Domain Name Server)

DDNSはダイナミックIPまたはスタティックIPアドレス (IP カメラ、DVR、およびWeb Server) を示すホスト名を作成します。また、ホスト名を作成しDVRのダイナミックIPアドレスで動作するアップデートメカニズムを提供します。

autoipset.comに登録した後、お申し込みなしでDDNSサービスをご利用できます。

A-1-1. autoipset.comにお申し込み後、ダイナミックDNSサービスを利用

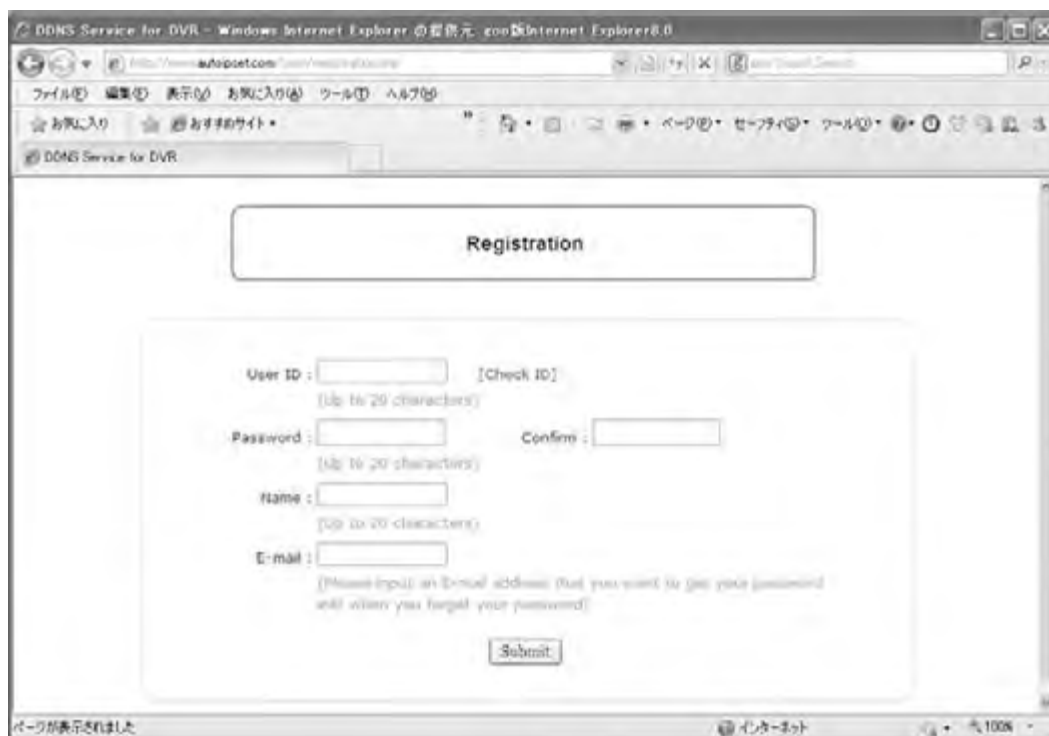
1. autoipset.comにお申し込み下さい。

Internet Explorerプログラムを起動させ、Internet Explorerのアドレスバーに
<http://www.autoipset.com>を入力して下さい。

以下のようにダイナミックDNSサービスに関してのウェブページをご覧になれます。



autoipset.comにお申し込みをするために「Registration」をクリックして下さい。

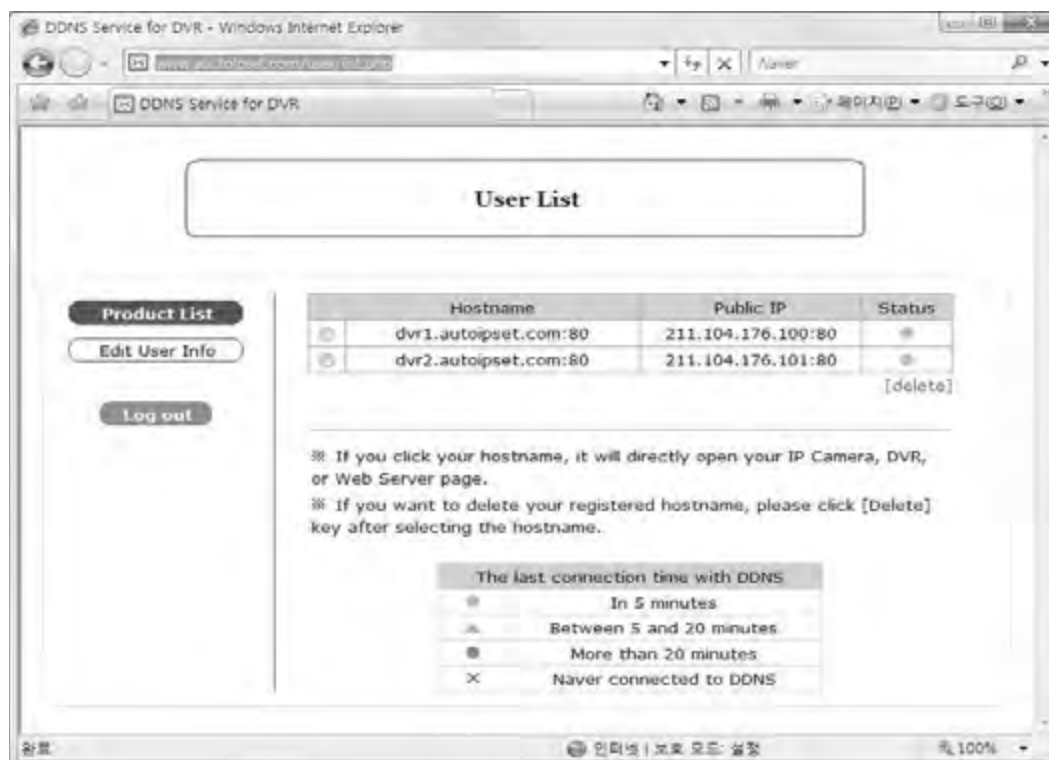


空欄に正確な情報を入力し“Submit”ボタンを押して下さい。決定する前にユーザーIDが使用されていないことを確認するために“Check ID”をクリックして下さい。

2. ログイン

IDとパスワードを入力しログインして下さい。

ログインした後に、以下の製品リストのような登録されたDVRのリストが表示されます。



3. ダイナミックDNS 登録・更新

DVRの以下のルートから、ダイナミックDNSメニューを選択して下さい。
DVR>MENU>ネットワーク>ダイナミックDNS



まず始めに、ご使用になりたいホスト名を入力してUse IDのチェック・ボックスをクリックして下さい。
次にautoipset.comに登録したIDとパスワードを入力して、“アップデート”ボタンをクリックして下さい。
最後に“DDNS:アップデート成功”のメッセージが表示されたら、全ての登録手続が終了します。

4. ダイナミックDNS マネジメント

| Status | Specification |
|--------|-------------------------------|
| | 最後にアップデートしてからの経過時間が5分以内 |
| | 最後にアップデートしてからの経過時間が5分以上、20分以内 |
| | 最後にアップデートしてからの経過時間が20分以上 |
| | アップデート履歴なし |

5. 登録の削除ダイナミックDNS

| | Hostname | Public IP | Status |
|--|-----------------------|--------------------|--------|
| | dvr1.autoipset.com:80 | 211.104.176.100:80 | |
| | dvr2.autoipset.com:80 | 211.104.176.101:80 | |

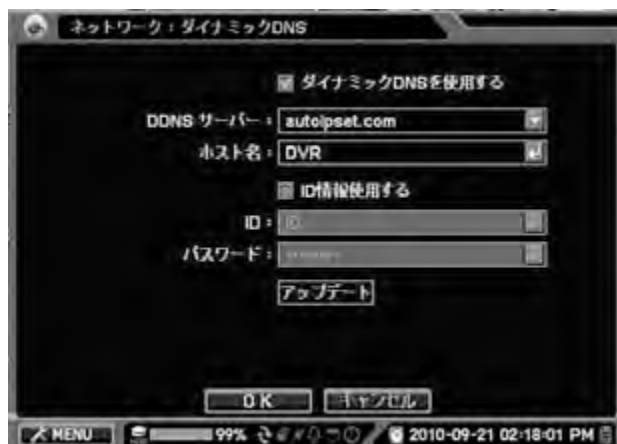
[delete]

削除したいDVR ホスト名を選択して、次に“Delete”ボタンをクリックして下さい。

A-1-2. autoipset.comにお申し込みせずに、ダイナミックDNSサービスを使用

DVRの以下のルートから、ダイナミックDNSメニューを選択して下さい。

DVR>MENU>ネットワーク>ダイナミックDNS



ご使用になりたいホスト名を入力し、次に“アップデート”ボタンをクリックして下さい。

“アップデート成功”のメッセージが表示されたら、すべての登録手続きが終了します。


B. スマートフォン(iPhone / Android)での閲覧について

当 DVR には、iPhone と Android プラットフォームのために作られた iMon2 アプリケーションがあります。利用される場合は、スマートフォンから App Store や Google play にアクセスして iMon2 をダウンロード、インストールしてください。インストール後、スマートフォンから 3G(LTE)回線及び Wi-Fi を通じて DVR のライブ / 再生 / セットアップが可能になります。

iMon2 ではセットアップ画面にもアクセスすることが出来るため、離れた場所から、その DVR のアラームログを見ることもできます。また、Push Nortification(プッシュ通知)機能を利用することにより、iMon2 アプリを常時起動しておくことなく、DVR 上のモーション動作、アラーム動作、システムアラーム動作の情報を、プッシュ通知イベントとして受け取れるようになります。

< iPhone > Android 編は P.113 〜をご覧ください。


1. インストール設定

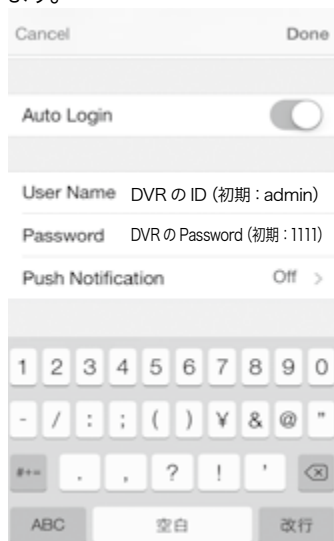
- ① App Store() を起動後、imon2 と入力し検索します。
- ② iMon v2 が表示されたら、無料 ボタンをクリックします。
- ③ インストールボタンをクリックします。



- ④「開く」ボタンをクリックします。
- ⑤右上の+ボタンをクリックします。
- ⑥ Name,Address,Live port(変更時)を入力します。



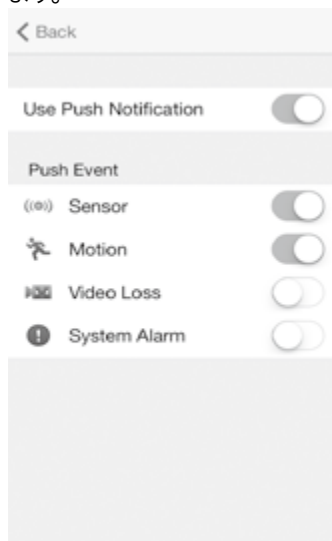
- ⑦自動ログイン*を利用する場合は、Auto Login を ON()にして、User Name・Password を入力します。



*自動ログイン

接続時の User Name、Password の入力を省略できます。


- ⑧ Push 通知*を利用する場合は、⑦の画面で Push Notification をクリックし、通知項目を ON にします。



*Push 通知

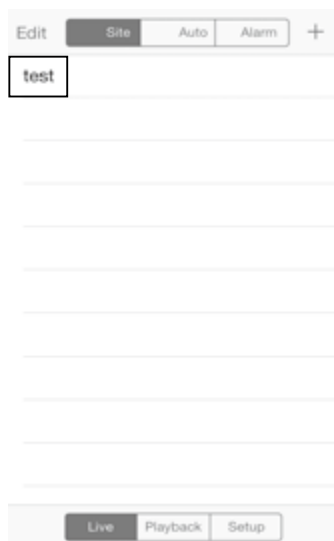
選択した項目でイベントが発生すると、以下の様に表示されます。

- ⑨すべての入力が終わったら画面右上の Done をクリックします。




2. ライブ表示

- ①画面下のメニューが Live になっていることを確認後、登録した Name をクリックします。



- ② DVR のカメラ名が表示されます。

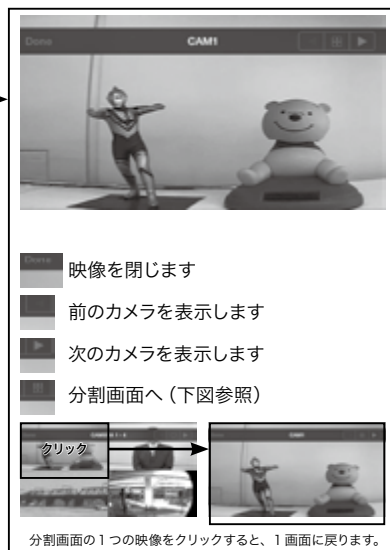
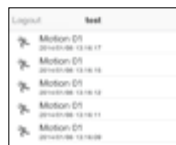


次ページに続きます

② 各ボタンの説明

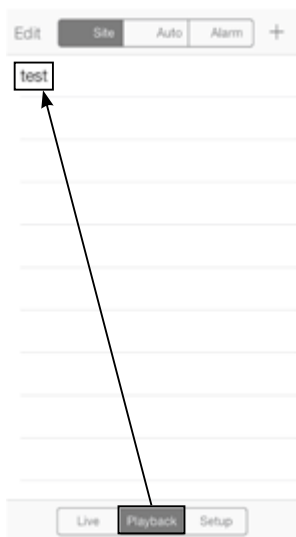


- (1) Logout 前の画面に戻ります
- (2) CAM1 カメラ名
- (3) イベントが表示されます
(イベント設定がされている時のみ)
- (4) アラーム通知操作ができます



3. プレイバック (録画) 表示

- ①画面下のメニューから Playback を選択後登録した Name をクリックします。



- ②録画されている日付が表示されます。※イベントはイベント録画をしている場合のみ表示されます。

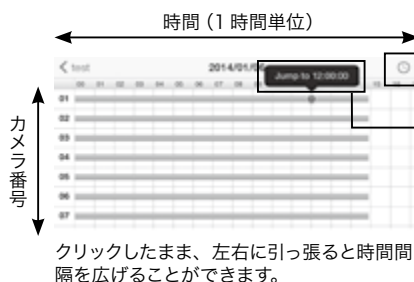


(1) イベント検索

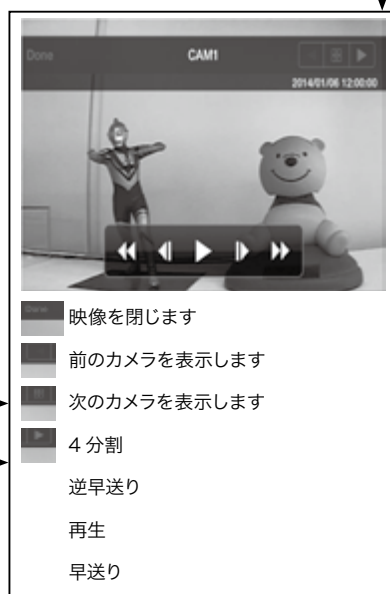
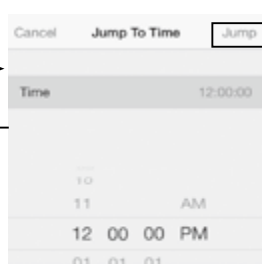


(2) 日時検索(方法が2通りあります)

- a.【タイムバー検索】以下の画面から、表示するカメラと時間を選択し、その場所を長くクリックします。その後、"Jump to ~"と表示されたら、そこをクリックします。



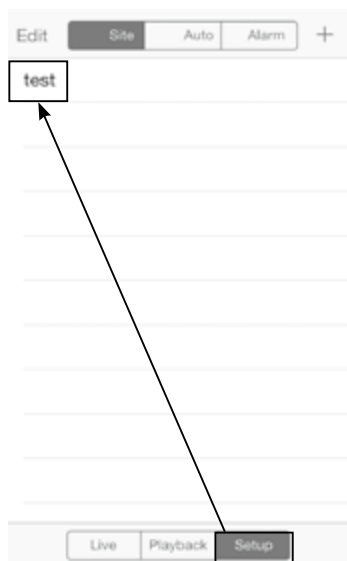
- b.【時刻検索】画面右上の ⌚ マークをクリックして、時間選択を表示します。その後、表示したい時間を選択し、画面右上の Jump をクリックします。



4. 設定


DVR の設定変更が行えます。(確実な録画を行うため、不必要な設定変更はおこなわないでください。)

- ①画面下のメニューから Setup を選
択後登録した Name をクリックし
ます。 ② DVR の設定画面が開きます。



< Android >


1. インストール設定

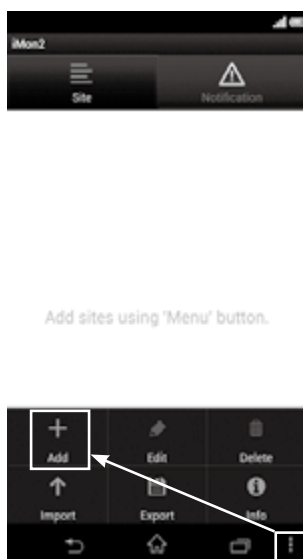
- ① Play ストア () を 起 動 後、iMon2 と入力し検索します。 ②インストールボタンをクリックします。 ③アプリの権限に問題なければ、同意するボタンをクリックします。



- ④開くボタンをクリックします。



- ⑤右下の  ボタンをクリック後、Add ボタンをクリックします。



- ⑥ Name、Address、port(変更時のみ)を入力します。



⑦自動ログイン*を利用する場合は、Auto Login を ON(☒) にして、User Name、Password を入力します。

*自動ログイン
接続時の User Name、Password の入力を省略できます。

⑧ Push 通知*を利用する場合は、7.の画面で Push Notification を ON して通知する内容を√します。

*Push 通知
選択した項目でイベントが発生すると、以下の様に表示されます。

⑨すべての入力が終わったら画面右下の Save ボタンをクリックします。

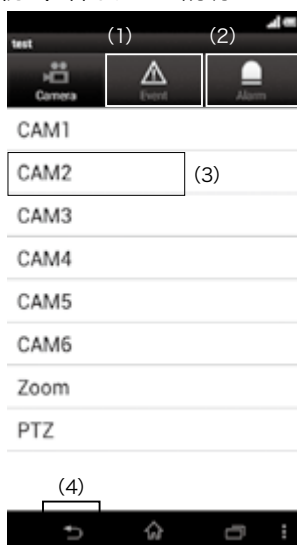


2. ライブ表示

- ①登録した Name をクリックします。 ② DVR のカメラ名が表示されます。 ③選択したカメラが表示されます。



③ (続き) 各ボタンの説明



- (1) イベントが表示されます
(イベント設定がされている時のみ)

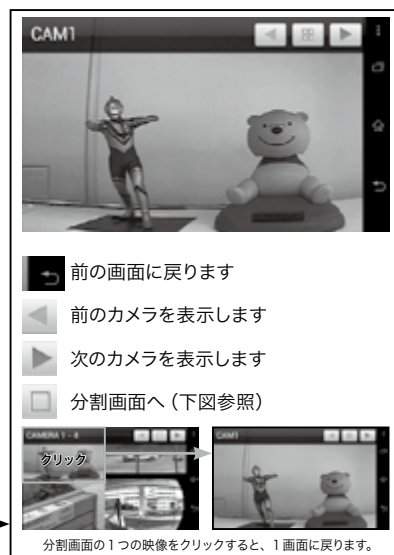


- (2) アラーム通知操作ができます



- (3) クリックすると、
右のような画面になります

- (4) DVR の接続を切ります



3. プレイバック (録画) 表示

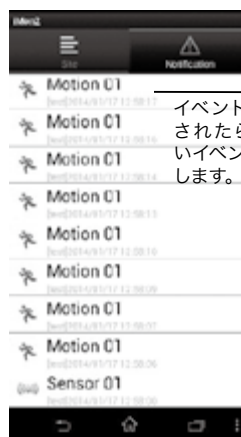
①画面下のメニューから Playback を選択後登録した Name をクリックします。



②録画されている日付が表示されます。
※イベントはイベント録画をしている場合のみ表示されます。



(1) イベント検索



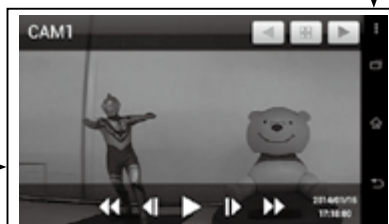
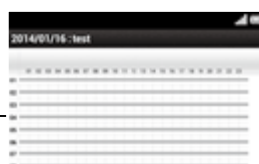
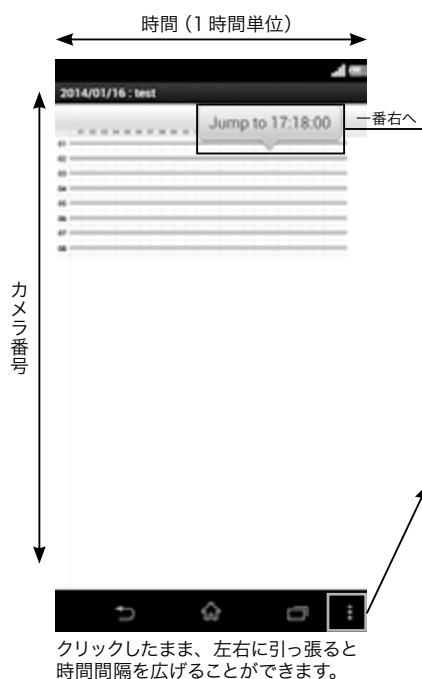
イベント検索が表示されたら、表示したいイベントをクリックします。

- イベントの絞り込みができます
- DVR の接続を切ります

(2) 日時検索(方法が2通りあります)

a.【タイムバー検索】以下の画面から、表示するカメラと時間を選択し、その場所を長くクリックします。その後、"Jump to ~"と表示されたら、そこをクリックします。

b.【時刻検索】画面右下の [時刻設定] をクリック後、"Jump To ~"をクリックします。その後、表示したい時間を選択し、Jump ボタンをクリックします。



- 前の画面に戻ります
- 前のカメラを表示します
- 次のカメラを表示します
- 逆早送り
- 再生
- 早送り
- 4 分割になります (下図参照)



分割画面の 1 つの映像をクリックすると、1 画面に戻ります。

4. 設定

DVR の設定変更が行えます。(確実な録画を行うため、不必要な設定変更はおこなわないでください。)

- ① 画面下のメニューから Setup を選択後
登録した Name をクリックします。
- ② DVR の設定画面が開きます。



HDS4848DV録画時間計算値（HDS4848DV搭載計算機能による1TB搭載時の録画時間）

■CIF（360 x 240）

（例：11d15h=11日15時間）

| 各カメラあたり | 1ips x16ch | 2ips x16ch | 3ips x16ch | 4ips x16ch | 5ips x16ch | 6ips x16ch | 7ips x16ch | 8ips x16ch | 9ips x16ch | 10ips x16ch | 15ips x16ch | 30ips x16ch | |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 解像度 | 画質 | 16ips | 32ips | 48ips | 64ips | 80ips | 96ips | 112ips | 128ips | 144ips | 160ips | 240ips | 480ips |
| CIF | 最高 | 59d16h | 29d20h | 19d21h | 14d22h | 11d22h | 9d22h | 8d12h | 7d11h | 6d15h | 5d23h | 3d23h | 1d23h |
| CIF | 高 | 79d15h | 39d19h | 26d12h | 19d21h | 15d22h | 13d6h | 11d8h | 9d22h | 8d20h | 7d23h | 5d7h | 2d15h |
| CIF | 標準 | 143d6h | 71d15h | 47d18h | 35d19h | 28d15h | 23d21h | 20d11h | 17d21h | 15d22h | 14d7h | 9d13h | 4d18h |
| CIF | 中 | 239d20h | 119d14h | 79d15h | 59d16h | 47d18h | 39d19h | 34d2h | 29d20h | 26d12h | 23d21h | 15d22h | 7d23h |

■Half D1（720 x 240）

（例：11d15h=11日15時間）

| 各カメラあたり | 1ips | x16ch | 2ips | x16ch | 3ips | x16ch | 4ips | x16ch | 5ips | x16ch | 6ips | x16ch | 7ips | x16ch | 8ips | x16ch | 9ips | x16ch | 10ips | x16ch | 15ips | x16ch |
|---------|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 解像度 | 画質 | 16ips | 32ips | 48ips | 64ips | 80ips | 96ips | 112ips | 128ips | 144ips | 160ips | 240ips | | | | | | | | | | |
| HD1 | 最高 | 29d20h | 14d22h | 9d22h | 7d11h | 5d23h | 4d23h | 4d6h | 3d17h | 3d7h | 2d23h | 1d23h | | | | | | | | | | |
| HD1 | 高 | 39d19h | 19d21h | 13d6h | 9d22h | 7d23h | 6d15h | 5d16h | 4d23h | 4d10h | 3d23h | 2d15h | | | | | | | | | | |
| HD1 | 標準 | 71d15h | 35d19h | 23d21h | 17d21h | 14d7h | 11d22h | 10d5h | 8d22h | 7d23h | 7d3h | 4d18h | | | | | | | | | | |
| HD1 | 中 | 119d14h | 59d16h | 39d19h | 29d20h | 23d21h | 19d21h | 17d1h | 14d22h | 13d6h | 11d22h | 7d23h | | | | | | | | | | |

■D1（720 x 480）

（例：11d15h=11日15時間）

| 各カメラあたり | 1ips | x16ch | 2ips | x16ch | 3ips | x16ch | 4ips | x16ch | 5ips | x16ch | 6ips | x16ch | 7ips | x16ch | 8ips | x16ch | 9ips | x16ch | 10ips | x16ch | 15ips | x16ch | 240ips |
|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 解像度 | 画質 | 16ips | 32ips | 48ips | 64ips | 80ips | 96ips | 112ips | 120ips | | | | | | | | | | | | | | |
| D1 | 最高 | 14d22h | 7d11h | 4d23h | 3d17h | 2d23h | 2d11h | 2d3h | | | | | | | | | | | | | | | |
| D1 | 高 | 19d21h | 9d22h | 6d15h | 4d23h | 3d23h | 3d7h | 2d20h | | | | | | | | | | | | | | | |
| D1 | 標準 | 35d19h | 17d21h | 11d22h | 8d22h | 7d3h | 5d23h | 5d2h | | | | | | | | | | | | | | | |
| D1 | 中 | 59d16h | 29d20h | 19d21h | 14d22h | 11d22h | 9d22h | 8d12h | | | | | | | | | | | | | | | |

※解像度指定時の最大ips

| 解像度 | 最大ips |
|-----|--------------|
| CIF | 480ips (MAX) |
| HD1 | 240ips (MAX) |
| D1 | 120ips (MAX) |

（注） F/W Version 1.7.0による録画時間計算値で録画時間を保証するものではありません。
旧版または以降リリースされるF/W Version、録画条件によって録画時間が変動する場合がございます。

HDE2424DV録画時間計算値（HDE2424DV搭載計算機能による1TB搭載時の録画時間）

■CIF (360 x 240)

(例：11d15h=11日15時間)

| 各カメラあたり | 1ips x8ch | 2ips x8ch | 3ips x8ch | 4ips x8ch | 5ips x8ch | 6ips x8ch | 7ips x8ch | 8ips x8ch | 9ips x8ch | 10ips x8ch | 15ips x8ch | 30ips x8ch |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 解像度 | 8ips | 16ips | 24ips | 32ips | 40ips | 48ips | 56ips | 64ips | 72ips | 80ips | 120ips | 240ips |
| CIF | 最高 | 119d14h | 59d16h | 39d19h | 29d20h | 23d21h | 19d21h | 14d22h | 13d6h | 11d22h | 7d23h | 3d23h |
| CIF | 高 | 159d6h | 79d15h | 53d2h | 39d19h | 31d20h | 26d12h | 19d21h | 17d16h | 15d22h | 10d14h | 5d7h |
| CIF | 標準 | 286d12h | 143d6h | 95d12h | 71d15h | 57d7h | 40d22h | 35d19h | 31d20h | 28d15h | 19d2h | 9d13h |
| CIF | 中 | 479d17h | 239d20h | 159d6h | 119d14h | 95d12h | 79d15h | 59d16h | 53d2h | 47d18h | 31d20h | 15d22h |

■Half D1 (720 x 240)

(例：11d15h=11日15時間)

| 各カメラあたり | 1ips x8ch | 2ips x8ch | 3ips x8ch | 4ips x8ch | 5ips x8ch | 6ips x8ch | 7ips x8ch | 8ips x8ch | 9ips x8ch | 10ips x8ch | 15ips x8ch |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 解像度 | 8ips | 16ips | 24ips | 32ips | 40ips | 48ips | 56ips | 64ips | 72ips | 80ips | 120ips |
| HD1 | 最高 | 59d16h | 29d20h | 19d21h | 14d22h | 11d22h | 9d22h | 8d12h | 7d11h | 6d15h | 5d23h |
| HD1 | 高 | 79d15h | 39d19h | 26d12h | 19d21h | 15d22h | 13d6h | 11d8h | 9d22h | 8d20h | 7d23h |
| HD1 | 標準 | 143d6h | 71d15h | 47d18h | 35d19h | 28d15h | 23d21h | 20d11h | 17d21h | 15d22h | 14d7h |
| HD1 | 中 | 239d20h | 119d14h | 79d15h | 59d16h | 47d18h | 39d19h | 34d2h | 29d20h | 26d12h | 23d21h |

■D1 (720 x 480)

(例：11d15h=11日15時間)

| 各カメラあたり | 1ips x8ch | 2ips x8ch | 3ips x8ch | 4ips x8ch | 5ips x8ch | 6ips x8ch | 7ips x8ch |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 解像度 | 8ips | 16ips | 24ips | 32ips | 40ips | 48ips | 56ips |
| D1 | 最高 | 29d20h | 14d22h | 9d22h | 7d11h | 5d23h | 4d6h |
| D1 | 高 | 39d19h | 19d21h | 13d6h | 9d22h | 7d23h | 5d16h |
| D1 | 標準 | 71d15h | 35d19h | 23d21h | 17d21h | 14d7h | 10d5h |
| D1 | 中 | 119d14h | 59d16h | 39d19h | 29d20h | 23d21h | 17d1h |

※解像度指定時の最大ips

| 解像度 | 最大ips |
|-----|--------------|
| CIF | 240ips (MAX) |
| HD1 | 120ips (MAX) |
| D1 | 60ips (MAX) |

(注) F/W Version 1.7.0による録画時間計算値で録画時間を保証するものではありません。
旧版または以降リリースされるF/W Version、録画条件によって録画時間が変動する場合がございます。

HDF1212DV録画時間計算値（HDF1212DV搭載計算機能による1TB搭載時の録画時間）

■CIF（360 x 240）

（例：11d15h=11日15時間）

| 各カメラあたり | 1ips x4ch | 2ips x4ch | 3ips x4ch | 4ips x4ch | 5ips x4ch | 6ips x4ch | 7ips x4ch | 8ips x4ch | 9ips x4ch | 10ips x4ch | 15ips x4ch | 30ips x4ch |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 解像度 | 画質 | 4ips | 8ips | 12ips | 16ips | 20ips | 24ips | 32ips | 36ips | 40ips | 60ips | 120ips |
| CIF | 最高 | 143d6h | 98d22h | 75d10h | 61d0h | 51d4h | 44d1h | 38d17h | 34d12h | 28d8h | 19d15h | 10d4h |
| CIF | 高 | 143d6h | 114d14h | 95d12h | 81d20h | 71d15h | 63d16h | 57d7h | 47d18h | 44d1h | 31d20h | 17d8h |
| CIF | 標準 | 143d6h | 124d15h | 110d7h | 98d22h | 89d16h | 81d20h | 75d10h | 69d22h | 65d4h | 61d0h | 46d6h |
| CIF | 中 | 143d6h | 130d13h | 119d14h | 110d7h | 102d8h | 95d12h | 89d16h | 84d8h | 79d15h | 59d16h | 36d17h |

■Half D1（720 x 240）

（例：11d15h=11日15時間）

| 各カメラあたり | 1ips x4ch | 2ips x4ch | 3ips x4ch | 4ips x4ch | 5ips x4ch | 6ips x4ch | 7ips x4ch | 8ips x4ch | 9ips x4ch | 10ips x4ch | 15ips x4ch | 30ips x4ch |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 解像度 | 画質 | 4ips | 8ips | 12ips | 16ips | 20ips | 24ips | 32ips | 36ips | 40ips | 60ips | |
| HD1 | 最高 | 71d15h | 49d9h | 37d17h | 30d11h | 25d14h | 22d0h | 19d8h | 17d6h | 15d13h | 14d4h | 9d19h |
| HD1 | 高 | 71d15h | 57d7h | 47d18h | 40d22h | 35d19h | 31d20h | 28d15h | 26d1h | 23d21h | 22d0h | 15d22h |
| HD1 | 標準 | 71d15h | 62d7h | 55d3h | 49d9h | 44d19h | 40d22h | 37d17h | 34d23h | 32d13h | 30d11h | 23d2h |
| HD1 | 中 | 71d15h | 65d4h | 59d16h | 55d3h | 51d4h | 47d18h | 44d19h | 42d3h | 39d19h | 37d17h | 29d20h |

■D1（720 x 480）

（例：11d15h=11日15時間）

| 各カメラあたり | 1ips x4ch | 2ips x4ch | 3ips x4ch | 4ips x4ch | 5ips x4ch | 6ips x4ch | 7ips x4ch | 8/8/7/7ips (4ch) |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|
| 解像度 | 画質 | 4ips | 8ips | 12ips | 16ips | 20ips | 24ips | 30ips |
| D1 | 最高 | 35d19h | 24d16h | 18d20h | 15d5h | 12d19h | 11d0h | 9d16h |
| D1 | 高 | 35d19h | 28d15h | 23d21h | 20d11h | 17d21h | 15d22h | 14d7h |
| D1 | 標準 | 35d19h | 31d3h | 27d13h | 24d16h | 22d9h | 20d11h | 18d3h |
| D1 | 中 | 35d19h | 32d13h | 29d20h | 27d13h | 25d14h | 23d21h | 21d17h |

※解像度指定時の最大ips

| 解像度 | 最大ips |
|-----|--------------|
| CIF | 120ips (MAX) |
| HD1 | 60ips (MAX) |
| D1 | 30ips (MAX) |

（注） F/W Version 1.7.0による録画時間計算値で録画時間を保証するものではありません。
旧版または以降リリースされるF/W Version、録画条件によって録画時間が変動する場合がございます。

FCCの承諾通知：

本機器はFCC規制パート15クラスA、デジタル機器の規制基準に従いテストされ準拠しております。
本機器はこの規制に従い工業地域や商業地域での使用を前提として設計されております。
機器内部では高周波が発生しておりますので、マニュアルに従わずに取り付けたり使用された場合は無線通信に有害な妨害が発生します。本機器を住宅地に設置したり使用して有害な妨害が発生した場合は、お客様の責任で対策して下さい。

警告：変更や改造を加えて使用された場合、規制基準には準拠しなくなりますので、問題発生時には全てお客様ご自身の責任となります。このクラスのデジタル装置は、カナダの設備規則に関する必要条件を満たしています。

WEEE (Waste Electrical & Electronic Equipment)

商品の正しい処分法 (適切なヨーロッパ連合と他の欧州諸国での分別収集システム)



このマークは、製品または印刷物上にあり、他の家庭用の廃物と一緒に処分するべきではない事を示します。廃物処分による環境また人体への害を出来る限り防ぐために、他のタイプの廃物またリサイクルの分別にご協力下さい。

家庭ユーザーは、環境面で安全な再生処置の詳細のために、この製品を購入した小売業者または地方自治体オフィスにご連絡下さい。

産業使用者は供給者にご連絡を取り、購買契約に関する条件を確認して下さい。
処分のために他の商業廃物にこの製品を混ぜるべきではありません。

ROHS Compliance



保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された内容により修理、または交換致します。

※修理は、お買い上げの販売店に必ずこの保証書を添えてご依頼下さい。

※この保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

| | |
|--------|-------------|
| 形式： | シリアルNo： |
| 保証開始日： | 年 月 日 より1年間 |
| お客様 | 貴社名 |
| | ご住所 |
| | 電話番号 |
| 販売会社 | 会社名 |
| | |

保証規定

○次のような場合は、保証期間内でも対象外となります。

- ・本保証書のご提示が無い場合
- ・本保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合
- ・火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障
- ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取り扱いが不適当な為生じた故障
- ・接続している他の機器に起因して生じた故障
- ・取扱説明書に記載の使用方法又は注意に反するお取り扱いによって生じた故障
- ・弊社以外の作業業者による、改造、調整、部品交換などをされた場合
- ・消耗品の交換

※HDDの損傷につきましては、保証の対象外です。

本保証書は、日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

本保証書は、保証書の規定に明示の期間無償修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の有償修理などについてもお受けいたします。尚、修理によって交換された製品及び部品は株式会社店舗プランニングにその所有権が移転します。詳しくはお買い上げの販売店あるいは株式会社店舗プランニングにお問い合わせ下さい。

※本製品及び本製品の取扱説明書の内容の一部又は全部を弊社の許諾なしに複製する事は出来ません。本製品を運用した結果の他の影響につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。

本製品は将来改良の為予告無く変更する場合があります。

本製品、又はこの機器をシステムの一部としてご利用になる製品を販売される場合は弊社までご相談下さい。

輸入元 株式会社 店舗プランニング

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモモトビル2F

TEL：03-3378-4901 FAX：03-3378-4906

メモ

ネットワーク設定

| 項目 | 設定値 |
|-------------------------|----------------|
| グローバルアドレス (固定IPアドレス) | . . . |
| ローカルIPアドレス | . . . |
| DDNSアドレス | .autoipset.com |
| サブネットマスク | . . . |
| ゲートウェイ | . . . |
| ネットワークパスワード | |
| 備考 | |

ルーター設定

| 項目 | 設定値 |
|-------------------------|-------|
| ID | |
| パスワード | |
| グローバルアドレス (固定IPアドレス) | . . . |
| ローカルIPアドレス | . . . |
| サブネットマスク | . . . |
| ゲートウェイ | . . . |
| 備考 | |

ルーターID(初期値)例：admin , administrator , root

autoipset.com 設定 (<http://www.autoipset.com>)

| | |
|---------|--|
| USER ID | |
| パスワード | |

販売代理店